

みやぎの先人集 第二集

未来への架け橋

教師用指導資料―道徳実践事例集―



宮城県教育委員会
平成31年1月

はじめに

みやぎの子供たちに先人の「志」を

東日本大震災から間もなく8年目となり、各学校の教職員の努力及び関係の皆様のおかげにより、本県教育の復興の歩みが着実に進んでいることに改めて感謝申し上げます。

今年度から宮城県の震災復興計画の「発展期」となります。みやぎの創造的復興を実現するためにも、未来を担う人づくりが求められており、その柱となるのが本県独自の「志教育」です。子供たちが震災からの復興や地域に貢献できる人材として健やかに成長していくことができるよう、小学校、中学校、高等学校の全時期を通じて「志教育」を推進していくとともに、日常の授業実践を充実させていくことが必要です。新学習指導要領においても、子供たちには社会や世界に向き合い関わり合い、自らの人生を切り拓いていく資質・能力が求められているということが示されています。また、今年度からは「特別の教科 道徳」（小学校）の全面実施や新学習指導要領の移行期間となり、その趣旨を踏まえた不断の授業改善が求められているところでもあります。

平成30年3月に発行した「みやぎの先人集第2集『未来への架け橋』」には、志を持ちくみやぎの郷土を拓いた先人たちが、子供の頃に描いた夢や、他者を思い貢献しようという「志」を果たすまでの道のりが描かれています。そこには、人と【かかわる】、よりよい生き方を【もとめる】、そして社会での役割を【はたす】という、社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めていく先人の姿があります。子供の頃に、こうした先人の生き方や考え方に触れ、先生や友達と一緒に考えを深める時間を持つことは、子供たちの心の中に志の芽を育てることにつながると考えております。

本冊子には、「みやぎの先人集第2集『未来への架け橋』」が、「特別の教科 道徳」の時間等において一層の活用が図られるよう、指導する際に参考となる指導例を掲載しました。子供たちが先人の生き方や考え方を学び、自ら夢や志を持つことができるように、小・中学校のみならず、高等学校、特別支援学校等での指導にもお役立ていただきますようお願いいたします。

今後ますます各学校ならではの志教育が展開され、みやぎの子供たちが高い志を持って一歩ずつ力強く歩みを進めていけるように、この指導資料集が多くの先生方に活用されることを願っております。

平成31年1月

宮城県教育委員会教育長 高橋 仁

目 次

○ 「みやぎの先人集第2集『未来への架け橋』	
教師用指導資料について	1
○ 相澤 幸四郎	2
○ 石ノ森 章太郎	6
○ 及川 平治	10
○ 小野寺 久幸	14
○ 加藤 きん	18
○ 神永 昭夫	22
○ 後藤 桃水	26
○ 小室 達	30
○ 齋藤 眞	34
○ 佐藤 忠太郎	38
○ 佐藤 忠良	42
○ 佐藤 基	46
○ 白鳥 省吾	50
○ 鈴木 哲朗	54
○ 園部 秀雄	58
○ 高橋 英吉	62
○ 高橋 長十郎	66
○ 只野 文哉	70
○ 千葉 あやの	74
○ 千葉 亀雄	78
○ 永澤 才吉	82
○ 日野 藤吉	86
○ 布施 辰治	90
○ 星 泰三郎	94
○ 牧野 富三郎	98
○ 松山 京子	102
○ 水上 不二	106
○ 宮城 新昌	110
○ 谷津 はつね	114
○ 吉野 作造	118

「みやぎの先人集第2集『未来への架け橋』」教師用指導資料について

本冊子は、「みやぎの先人集第2集『未来への架け橋』」の道徳科等における一層の活用を図るために、各学校で授業づくりを行う上で参考となる学習指導略案を掲載した教師用指導資料です。

作成委員が各学校で授業実践を行い、検討会を経て、参考となる学習指導略案を作成しました。新学習指導要領の趣旨を踏まえ、多面的・多角的に考えることのできる発問の工夫や、「考え、議論する道徳」を目指した学習指導過程の作成に努めました。

本冊子に掲載している学習指導略案を参考にしながら、児童・生徒の実態に応じた授業づくりを行い、各学校や地域の特色を生かした実践となることを願っています。

本資料の特徴と活用の仕方

- 「みやぎの先人集第2集『未来への架け橋』」の30話分の学習指導略案が掲載されています。1話につき4ページで構成されています。
- 対象は小学校5・6年生から中学校1年生とし、作成委員が授業実践を行った学年の指導略案となっています。対象学年によって授業者が工夫を加えて実践するようにお願いします。
- 「資料分析と活用」には、筋の流れや発問の意図を記載していますので、資料の構成を把握するのに役立ててください。
- 「志教育との関連」を記載していますので、道徳及び志教育の年間指導計画の立案・修正に役立ててください。
- 「指導上のポイント」には、資料提示の方法や学習形態、発問構成、教材・教具の工夫等、実践に役立つ留意点が記載されています。
- 「板書計画」や「ワークシート」の例も記載していますので、授業実践の参考にしてください。なお、「ワークシート」は義務教育課ホームページにも掲載しますので、そのまま印刷して使用できます。
- 小・中学校では、道徳教育の全体計画や道徳科年間指導計画に「みやぎの先人集第2集『未来への架け橋』」を位置付け、実践後は朱書きするなど、一層の自校化を図るように工夫をお願いします。

小学校第5学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 自然愛護 ○D-(19) 自然愛護
 ・C-(16) 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度
- 2 資料 「相澤 幸四郎 - 郷土の自然を守る -」
 (出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p. 1 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

郷土の自然を守ろうと努力した「相澤 幸四郎」の生き方に触れることを通して、郷土の自然を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
30年前とはすっかり変わった伊豆沼の様子を見て、幸四郎はもやもやした気持ちになる。	人間の都合で、沼や林がどんどん小さくなっている。このままで、いいのだろうか…。	人々が生きていくためには仕方がないとは思いつつも、愛するふるさとの美しい自然が壊されていくことを悲しむ気持ちに共感させる。	○すっかり変わってしまった伊豆沼を見て、幸四郎はどんなことを思ったのでしょうか。
環境問題の講演に聴き入り、伊豆沼の自然を守るために自分ができることは何か、必死に考える。	伊豆沼の自然を守り、そこに住む人たちと生き物たちがともに幸せに暮らせるふるさとにしたい。	伊豆沼の自然を守るために自分ができる行動を思い付き、やる気をみなぎらせている幸四郎の気持ちに気付かせる。	○今自分にできることが見えてきた幸四郎は、どんなことを考えていたのでしょうか。
白鳥のえさまきの新聞記事を見て、伊豆沼の自然を守るために自分にできることを思い付く。	白鳥がたくさん来るようになれば、関心が集まる。人々の目も伊豆沼の生き物やその自然に向けられていくにちがいない。		
雨の日も風の強い日も毎日根気強く白鳥にえさをまき続けた。	警戒心の強い白鳥たちは、まったく見向きもしませんでした。それでも、幸四郎たちは根気強く毎日えさまきを続けた。	えさを食べてくれない白鳥たちの様子にくじけることなく、根気強く毎日えさをあげ続けた幸四郎の強い気持ちに気付かせる。	◎雨の日も風の強い日も、毎日根気強くえさをまき続けている幸四郎はどんな気持ちだったのでしょうか。
えさをついばみ始めた白鳥を見て中学生とかたをたたき合っただけで喜んだ。	かたをたたき合っただけで喜ぶ中学生たちの様子を、幸四郎は目を細めて見つめていた。	努力の末、白鳥がやっとえさをついばみ始めたことを喜ぶ幸四郎の思いに共感させる。	○喜ぶ中学生たちの様子を、目を細めて見ている幸四郎はどんなことを思ったのでしょうか。
伊豆沼は、今もお豊かな自然を残し、白鳥の飛来地として世界的にも有名になった。	幸四郎が愛した伊豆沼は、今や世界有数の水鳥の飛来地としてだけでなく、貴重な動植物の生息地として世界的に知られるまでになっている。	幸四郎の志が受け継がれ、現在も伊豆沼の美しい自然を守る活動が続けられていることに気付かせる。	

(3) 志教育との関連

- 幸四郎の志を受け継ぎ、伊豆沼の自然や生き物を守り続けてきた人々の努力について考える活動を通して、自分がこれからどのような生き方をしていくか考えさせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 10分	<p>1 本時のねらいとする価値に触れる。</p> <p>○ 自然を守る人はどのような人だと思いますか。</p> <p>2 本時の学習の見通しを持つ。</p> <p>○ ふるさとの自然を守ろうとした相澤幸四郎の気持ちや行動を考え、自分ができることを考えましょう。</p>	<p>◆ 事前に「自然を守る人」とはどのような人だと思うかアンケートを取る。その結果を提示することで、本時で学ぶ価値について方向付けを図る。また、資料は事前に読ませておく。</p> <p>◆ 四季折々の伊豆沼の美しい景色の写真を見せる。この美しい自然が長年に渡って守られてきたものであることを知らせる。</p> <p>◆ 今から60年以上前は、現在の百分の一ほどしか白鳥が飛来していなかったことを知らせる。</p>
展開 前段 20分	<p>3 資料を読んで話し合う。</p> <p>○ すっかり変わってしまった伊豆沼を見て、幸四郎はどんなことを思ったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悲しい。 ・ 人間の勝手な行動で自然が減った。 ・ 大切な思い出も壊された。 <p>○ 今自分にできることが見えてきた幸四郎は、どんなことを考えていたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白鳥など、伊豆沼の自然を守りたい。 ・ みんなに伊豆沼について考えて欲しい。 ・ 早く行動に移そう。 <p>◎ 雨の日も風の強い日も、毎日根気強くえさをまき続けている幸四郎はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何としてもえさを食べてもらいたい。 	<p>◆ 幸四郎は幼いころから美しい伊豆沼の自然を身近に感じ、伊豆沼からの恵みを受けて育ったことを押さえる。</p> <p>◆ 戦後、日本全国で食料確保のため、沼を干拓して田畑を増やした現状があることを紹介する。</p> <p>◆ 伊豆沼の自然を守りたいと思いながらも、10年間具体的に行動できずもやもやしていたことを押さえる。講演会をきっかけに行動を起こすことになるのだが、その原点は「ふるさとの自然を守ることは、ここに住むみんなのためにもなる。」という思いからだったことに気付かせる。</p> <p>◆ 伊豆沼の自然を守るために自分に何ができるか必死に考えた幸四郎の気持ちを押さえる。</p> <p>◆ 伊豆沼の水が全面結氷したことを知らせ、当時の写真を提示する。また、厳しい寒さの中、氷を割る苦労や大変さについて伝える。</p> <p>◆ 根気強くえさをまく幸四郎の思いを感じ取ら</p>

<p>展開前段 20分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白鳥が来るようになれば、人々の関心も少しずつ向いてくるはずだ。 ・ 伊豆沼にたくさんの白鳥を定着させたい。それが自然を守ることにつながる。 ・ ふるさとの自然を取り戻したい。 <p>○ 喜ぶ中学生たちの様子を、目を細めて見ている幸四郎はどんなことを思ったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頑張ってよかった。これで人々の関心が伊豆沼に向かうだろう。 ・ これからもえさまきを続けよう。 	<p>せるために、幸四郎の気持ちをワークシートに書かせる。</p> <p>◆ やっと願いが通じた喜びを感じ取らせる。</p>
<p>展開後段 10分</p>	<p>4 幸四郎の行動や生き方から学んだことを、これからの自分にどう生かすかについて考える。</p> <p>○ 幸四郎の行動や生き方を知り、自分が身の回りの自然を守るために何ができるか考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の身の回りの自然環境や問題について知る。 ・ 自然環境について書かれた本などを読む。 ・ ブラックバスの駆除や自然観察会、生き物調査などに参加する。 ・ ゴミ拾いのイベントに参加する。 	<p>◆ 今よりも自然環境をよくする方法や今よりも悪くしない方法を考えさせる。</p> <p>◆ 人も動植物も幸せに暮らすにはどうしたらよいか考えさせる。</p> <p>◆ ワークシートに記入した後、友達と全体で話し合い、友達の考えを聞く中で自分の考えを広げられるようにする。</p> <p>* ふるさとの自然を守ろうと努力した幸四郎の生き方を知り、自分の身の回りの自然を守るために何ができるか考えることができる。 (発言、表情、ワークシート)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>5 現在の伊豆沼の問題を知らせるとともに、伊豆沼・内沼環境保全財団の方の話を紹介する。</p>	<p>◆ 伊豆沼・内沼環境保全財団の方の話を紹介することで、解決すべき問題は変わっても、現在も幸四郎の思いが受け継がれ努力している方がいることを知らせる。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 郷土の自然を守ろうと努力した「相澤 幸四郎」の生き方に触れることを通して、郷土の自然を大切にしようとする気持ちを持つことができる。

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 よさを生かして ○A-(4) 個性の伸長
・A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志

- 2 資料 「石ノ森 章太郎 - まんがの王様 -」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p. 5 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

自分の好きなことを追求しながらまんがを描き続けた「石ノ森 章太郎」の生き方から、自分のよさを積極的に伸ばして、将来に生かしていこうとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
本の好きな章太郎は、手塚治虫の発表したまんがに心を奪われ、自分でもまんがを描くようになった。	手塚治虫の描くまんがは映画のように今にも動き出しそうだ。まんがはすばらしい。 自分でもまんがを描きたい。	夢中になることを見付け、挑戦してみようとする章太郎の気持ちを考えさせる。	
高校2年の時には、手塚治虫のアシスタントを頼まれるようになり、高校在学のままプロデビューを果たした。	自分の描いたまんがが認められてうれしい。 新聞記者や映画監督、小説家へのあこがれも捨て切れない。 まんが家を続けながら、生活費と学費を稼ぎ、大学を目指そう。	好きなまんがの世界で認められた喜びや将来への期待感を考えさせる。	○好きなまんがの才能が認められ、プロデビューを果たした章太郎は、どんな気持ちだったのでしょうか。
いつも締切りに追われ、まんがを描くだけで精一杯の生活になった章太郎は、まんがをやめ、世界旅行に行くことを決意する。	締切りに追われるだけの生活で、やりたいことができていない。このままでは、人生がまんがに飲みこまれてしまう。 本当にしたかったことは何なんだろう。 もうぼくのまんがを喜んでくれる姉もいない。ぼくはだれのために描いているんだろう。 まんがから足を洗おう。	夢見ていた生活とかけ離れた現実の厳しさや辛さ、やりたいこととやらなければならないこととの間で悩む章太郎の心情を考えさせる。	○まんがの締切りに追われるだけの生活に迷いを抱える日々の中で、章太郎はどんなことを考えていたのでしょうか。
帰国後、自分のよさを生かす仕事について考え直し、プロとしての再出発を果たした。	大変なときはいつも逃げてきた。 自分は姉を喜ばせるためだけにまんがを描いてきたのではない。 自分はやっぱりまんがが好きだ。自分のよさは、やはりまんがを描くことで生かされるのではないだろうか。 どこまでできるか、自分の力をもう一度試したい。	自分のよさや好きなことを見つめ直すことで、やっぱりまんがの道で力を試したいと決めた章太郎の思いを考えさせる。	◎「もう一度まんが家としてやってみよう」と決めるまでに、章太郎はどんなことを考えたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- 自分の好きなことや、やりたいことを追求していく章太郎の姿から、自分のよさを生かしていくことの難しさと大切さに気付くことができるようにさせる。【もとめる】
- 自分の仕事に迷いながらも、様々な経験を自分の好きなことや仕事に生かしていく章太郎の生き方に共感させ、自分の将来について考えることができるようにさせる。【はたす】

(4) 学習指導過程

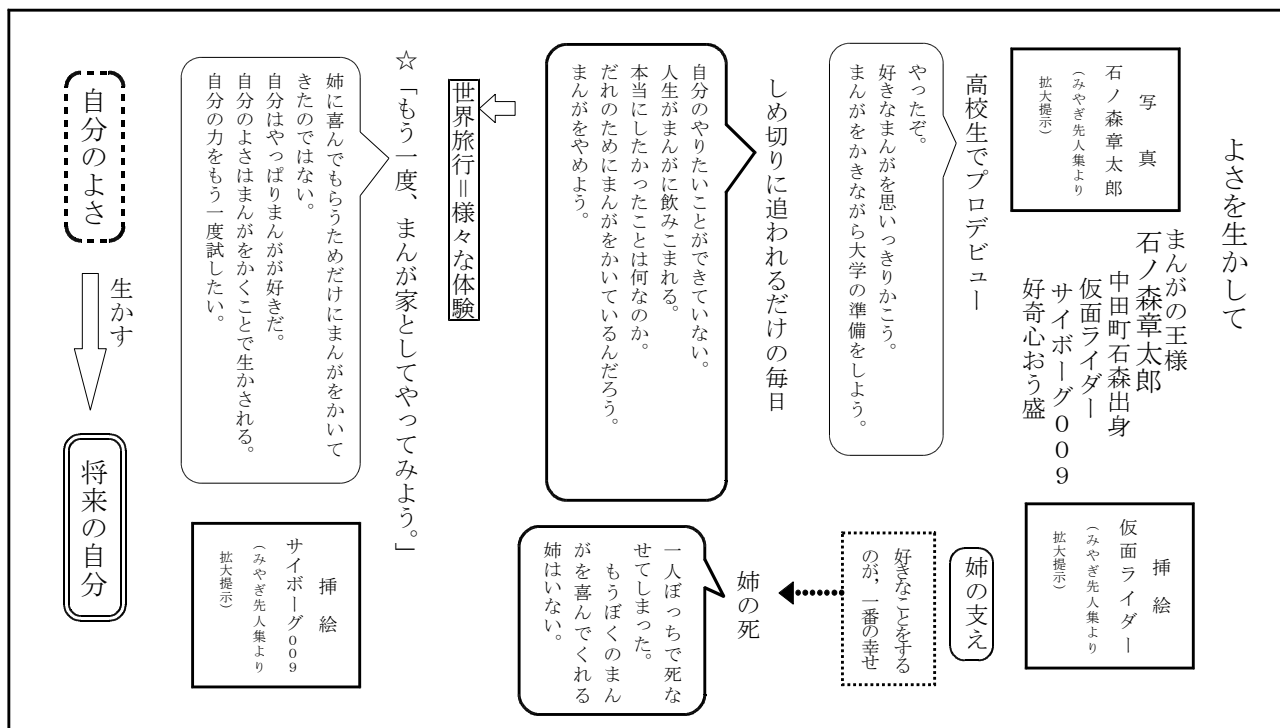
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 10分	<p>1 自分のよさや好きなことについて、発表し合う。</p> <p>○ 自分のよさはどんなことだと思いますか。</p> <p>2 本時の資料「石ノ森章太郎」についての説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中田町石森出身のまんが家 ・高校生でプロデビュー 	<p>◆ 事前にアンケート調査を実施し、「自分の長所」「好きなこと」「将来の夢」「夢を持った理由」について把握しておく。</p> <p>◆ それぞれのよさを確認し、認め合えるようにする。</p> <p>◆ まんがの実物を見せることで石ノ森章太郎への関心を高めるとともに、地元であるという親近感を持たせる。</p> <p>◆ 資料は事前に読ませておく。導入では、p. 5～p. 6・12行目までを読む。</p>
展開 前段 20分	<p>3 石ノ森章太郎の生き方について考え、話し合う。</p> <p>○ 好きなまんがの才能を認められ、プロデビューを果たした章太郎は、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やったぞ。今は好きなまんがを思いっきり描いてみよう。 ・ まんがを描きながら進学の準備をしよう。 <p>○ まんがの締切りに追われるだけの生活に迷いを抱える日々の中で、章太郎はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつも締切りに追われるだけの生活で、自分のやりたいことができていない。 ・ このままでは、人生がまんがに飲みこまれてしまう。 ・ 本当のしたかったことは何なんだろう。 ・ もうぼくのまんがを喜んでくれる姉もいない。 ・ ぼくは誰のために描いているんだろう。 ・ まんがをやめよう。 <p>◎ 「もう一度まんが家としてやってみよう」と決めるまでに、章太郎はどんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで大変なときはいつも逃げてきた。 ・ 姉を喜ばせるためだけにまんがを描いてきたのではない。 ・ 自分はやっぱりまんがが好きだ。 ・ 自分のよさは、やはりまんがを描くことで生かされるのではないだろうか。 ・ どこまでできるか、自分の力をもう一度試したい。 	<p>◆ 資料から、まんが家となった経緯や好奇心旺盛で多才だった人物像を確認する。</p> <p>◆ 夢中になることを見付け、自分のよさを発揮しようと努力した結果、好きなまんがの世界で認められた喜びと将来への期待感を考えさせる。</p> <p>◆ 夢見ていた生活とかけ離れた現実の厳しさや辛さ、やりたいこととやらなければならないこととの間で悩む章太郎の心情を考えさせる。</p> <p>◆ やりたかったことに戻って考えさせることで、やりたいことができていない苦悩について考えさせるようにする。</p> <p>◆ 支えとなっていた姉の死についても触れ、よき理解者を失った悲しみの深さを考えさせる。</p> <p>◆ 自分のよさや好きなことを見つめ直すことで、自分まんがが好きであり、自分を生かす仕事もまんがであることに気付いた章太郎の思いを考えさせる。</p> <p>◆ よさを生かすためには、強い気持ちと続けていく努力や工夫が大切であることに気付かせる。</p> <p>* 自分のよさを生かすために大切なことについて考えることができたか。 (発言、観察、ワークシート)</p>
	<p>4 自分のよさとそれを生かすことについて考える。</p> <p>○ 自分のよさや好きなことを将来に生かしていくために、これから頑張っていきたいことはどんなことですか。</p>	<p>◆ 児童のよさと将来の夢(事前アンケートから)を視覚的に捉えられるプレゼン資料を提示することで、自己を見つめる活動への意欲化を図る。</p> <p>◆ 自分の将来を考えながら、自分のよさ</p>

展開後段		を改めて見つめさせることで、具体的な改善点や努力点を見付けさせる。 * 自分を見つめ直し、将来に向けた思いを持つことができたか。 (発言、観察、ワークシート)
12分	5 グループごとに、考えたことを発表し、友達から感想やアドバイスをもらう。	◆ アドバイスシートを活用して、感想や助言を伝え合うことで、実現に向けた意欲付けを図る。
終末	6 NHKアーカイブの映像を視聴し、石ノ森章太郎についての説明や本人の話を聞く。	◆ 世界に認められた石ノ森章太郎の映像を観たり、残した言葉を聞いたりしながら、自分の好きなことに情熱を傾けた先人について振り返らせることで、自分自身の将来への思いを持たせる。
3分	・石ノ森章太郎の残した言葉を聞く。	

(5) 本時の評価

- ・自分の好きなことを生かして仕事に取り組んだ「石ノ森 章太郎」の生き方から、自分のよさを積極的に伸ばして、将来に生かしていこうとする思いを持つことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- ・長文であることから、資料は業前の読書の時間を活用して事前に読ませ、石ノ森章太郎の大まかな人物像やまんがが家として成功する過程について内容を把握させておく。
- ・「志シート」や事前アンケートを活用し、自分自身を振り返ったり見つめ直したりする際に生かせるようにする。
- ・教室に「職業に関する図書コーナー」を設置しておくことで、自分のよさを生かせる仕事について考えさせることができるようにする。
- ・学習参観日に実施することで、児童のよさや将来に向けた思いを保護者にも伝え、今後の見守りや励ましにつなげられるようにする。

小学校第5・6学年 特別の教科道徳学習指導略案

1 主題名 よりよいものを求めて ○A-(6) 真理の探究 ・A-(5) 努力と強い意志

2 資料 「及川 平治 ― すべての子どもたちに新しい教育を ―」
(出典：みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.9 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

真理を探究して社会や学問に貢献した「及川 平治」の生き方に触れることを通して、真理を大切にし、物事を探究しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
暮らしぶりが貧しい中、細川牧之助先生に支えられ勉学を続けた。	勉強を続けたい。 細川先生に感謝の気持ちで一杯である。	勉強したいという平治の思いと、細川先生への思いを押さえる。	○平治はどのような思いを持って小学校時代を過ごしたのでしょうか。
細川先生の支えにより、大目小学校に勤務し、教師を目指した。	全ての子どもたちが勉強に励むようにしたい。	自分の進む道筋を示していた細川先生への思いを押さえる。	○平治は大目小学校と明石附属小学校で、どういう気持ちで子供たちに教えていたのでしょうか。
明石附属小学校主事として、学校に通えない子供に出張授業をしたり、子供たちが自分から進んで学ぶ「分団式動的教育法」を実践したりした。	学校に通えない子供たちの「勉強したい」という思いを大切にしたい。 「分団式動的教育法」を実践し、たくさんの子供の学びたいという気持ちを満たしたい。	学校に通えない子供にも、学校に通える子供にも、子供の多様性と個性を生かした授業を行い、真理の探究法を授けたい平治の思いを押さえる。	
自分の教育法に対して批判的な人たちがいる中、平治は事実に基づいた教育をすることの大切さを説いた。	子供たちがどう考え、行動したかが大切である。 子供たちが自身の力で課題を解決する力を身に付けさせることが大切である。	子供たちの未来の姿を見据えている平治の思いについて共感させる。	◎批判を受けても、平治が新しい教育を行ったのは、どのような気持ちからでしょうか。
生まれ故郷の若柳や教育実践の場の兵庫に今もなお、平治の言葉が大切にされている。	新しい教育を広め、自分の全てをかけて、全ての人、全ての子供のために尽くしていきたい。		

(3) 志教育との関連

- ・ 全ての子どもたちが勉強に励むようにするためには、どのような教育の仕方が必要なのか、真理を探究し、努力する平治の姿に気付くことができるようにする。【もとめる】
- ・ 子供たちの未来や恩師への思いを大切にし、批判に対しても自分の信念を貫いた平治の生き方に共感させ、真理を探究するすばらしさに気付かせる。【はたす】

(4) 学習指導過程

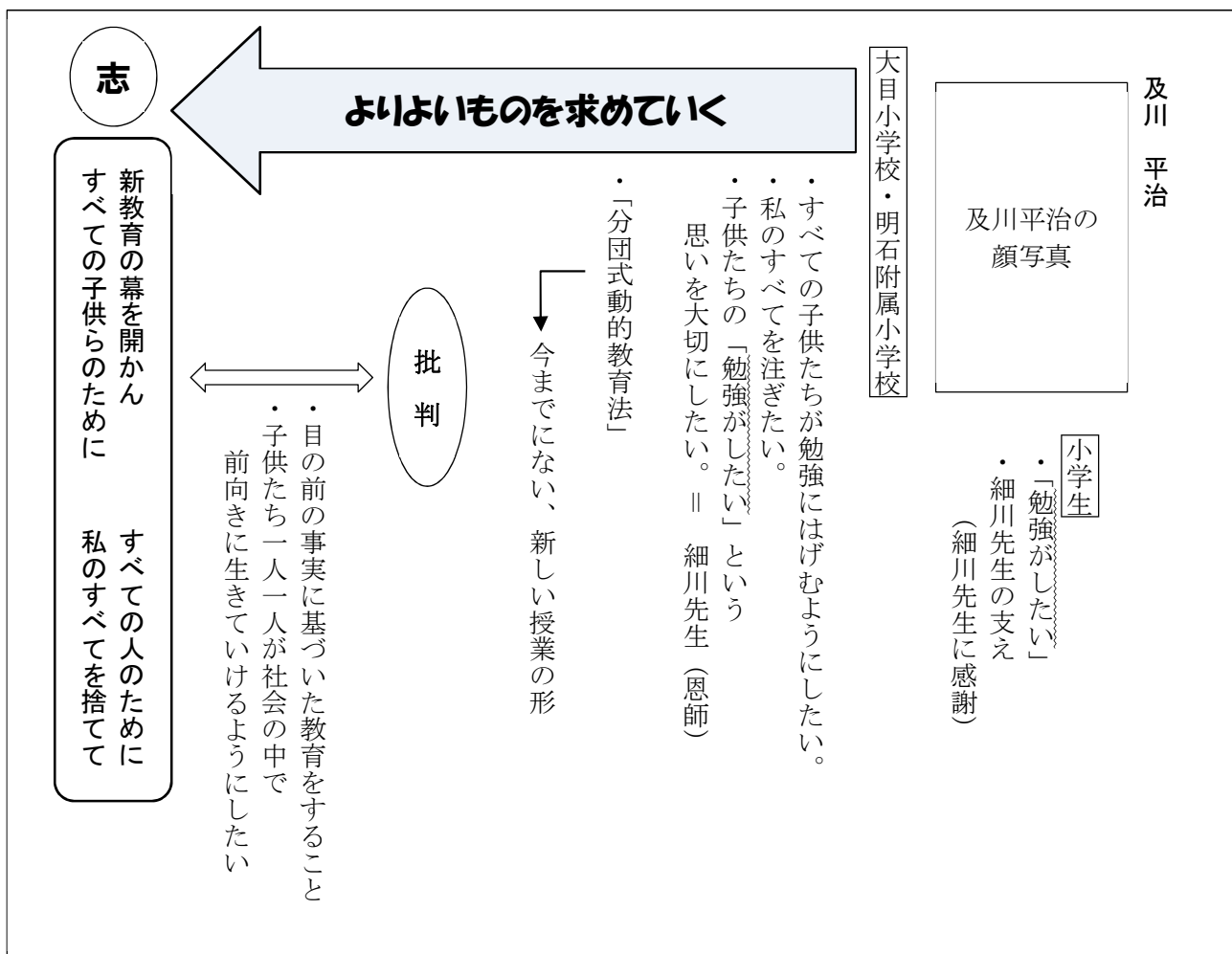
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 3分	1 本時の資料「及川 平治」について知る。 ・ 現代の学校で行われている学習の仕方を、当時の学校で行った人である。	◆ 顔写真を提示し、当時の教育について簡単に説明をし、進める。
展開 前段 22分	2 資料を読み、平治の生い立ちや教育実践について考える。 ○ 平治はどのような思いを持って小学校時代を過ごしたのでしょうか。 ・ 「勉強がしたい」 ・ 細川先生の支えがあり、先生に感謝する。 ○ 平治は大目小学校と明石附属小学校で、どういう気持ちで子供たちに教えていたのでしょうか。 ・ すべての子供たちが勉強に励むようにするにはどのような授業がいいのだろうか。 ・ 知識を与えるだけでなく、子供たちの「勉強したい」という思いを大切にしたい。 ・ 「分団式動的教育法」を実践し、たくさんの子供たちの学びたいという気持ちを満たしたい。 ◎ 批判を受けても、平治が新しい教育を行ったのは、どのような気持ちからでしょうか。 ・ 自分たちで試行錯誤して方法を考えさせることが大切だ。 ・ 子供たちがどう考え、行動したかが大切だ。 ・ 子供たち自身の力で課題を解決する力を身に付けさせることが大切だ。 ・ 目の前の事実に基づいた教育をすることで、子供たち一人一人が社会の中で前向きに生きていけるようにしたい。 ・ 新しい教育を広め、自分の全てをかけて、全ての人、全ての子供のために尽くしていきたい。	◆ 教師が範読し、平治の生い立ちと小学生時代、大目小学校と明石附属小学校の勤務時代について心情を中心にまとめる。 ◆ 平治の「勉強したい」という思いと細川先生の計らいで勉強ができたことに感謝する平治の心情に気付かせる。 ◆ 大目小学校と明石附属小学校の勤務時代に共通する平治の思いに気付かせるようにする。 ◆ 小学校を中退せざるを得ない環境で育ったことを押さえ、同じような思いを持っている子供たちへの思いに気付かせる。 ◆ 当時の教育の主流が教え込むことであったことを伝え、平治が実践した新しい教育が今の教育につながっていることを伝える。 ◆ 書く活動を取り入れ、平治の心情をじっくりと考えさせるようにする。 ◆ ペアやグループで意見の交換をしたり平治の思いを考えたりすることを通して、自分なりの考えを持たせられるように配慮していく。 ◆ 平治の考えは、生い立ちや恩師の細川先生の思いとつながっていることを押さえる。 ◆ よりよいものを求めようとしている平治の強い思いに気付かせる。 ◆ 平治の顕彰碑に刻まれている言葉の意味を知らせ、志が記してあることを知らせる。
	3 自分のこれからについて考える。 ○ 自分の生活を少しでもよりよくしていくために工夫していきたいことは何ですか。 ・ 上級生になり、バレーボールクラブでボールやネットの準備は下級生に任せていた。チーム	◆ よりよいものを追い求めた、平治の生き方について軽く触れ、自分のこととして考えていくように働き掛ける。 ◆ 書く活動を取り入れ、自分自身のことについて考えさせる。

<p>展開後段 15分</p>	<p>の一員として、下級生だけに任せず、一緒に取り組みたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道で会う地域の人たちに、あいさつすることは自分から進んでしていなかった。勇気を出して自分から「おはようございます」のあいさつをしていきたい。 地区の駅伝大会の選手になったので、大会まで毎日1km走ることに取り組もうと思っている。毎日1km走る練習をして、大会で優勝したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ より多くの児童に発表させ、頑張ろうとする意欲を受容的に認めていくようにする。 * 平治の生き方から、真理を大切に、物事を探究していこうとする意欲を持つことができたか。 (発言, ワークシート)
<p>終末 5分</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 説話として、教師自身の経験からよりよくしていくために取り組んだことやよりよいものを求めて工夫していることのエピソード、または、よりよいものを追求した偉人の話をする。 ◆ 志を持つ視点から、自分の生き方につなげられるように留意し、話をする。

(5) 本時の評価

- ・ 真理を追究し続けた「及川 平治」の姿から、真理を大切に、物事を探究しようとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- 学習前に資料を読ませたり用語を調べさせたりするなどをし、授業では考えさせる時間や考えを交流させる時間を十分に確保する。
- 細川先生に支えられ芽生えた教育に対する平治の思いを中心にした授業を進めていく。
- 現在の学習は、当時は革新的であったことに気付かせ、及川平治の教育実践が先進的であったことを押さえさせる。
- 栗原市教育研究センターに及川平治の資料コーナーがあるので、必要であれば活用する。
(栗原市教育研究センター：連絡先 0228-42-1157)

5 参考資料

ワークシートの例

道徳シート	
及川 平治 —すべての子どもたちに新しい教育を—	
年 組 番 氏名	
○ 批判を受けても、平治が新しい教育を行ったのは、どんな気持ちからでしょうか。	○ 自分の生活を少しでもよりよくしていくために工夫してきたいことは何ですか。

小学校第5学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 やりとげる強い意志 ○A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
・C-(17) 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度

- 2 資料 「小野寺 久幸 — 仏像修理一筋に歩んだ人生 —」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.13 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

高い目標を持ち、諦めずに努力し続けた「小野寺 久幸」の生き方から、自分で決めた夢や目標に向かい、信念を持ってくじけずに努力しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
幼い頃から、絵描きや木工作品作りが好き。 国民学校卒業後、造船所に勤め、木造船の作り方を学ぶ。	美術の勉強がしたいという気持ちを抑えることができない。 このままここには、自分の夢はかなえられない。		
20歳の時、家族の反対を押し切って上京。一緒に上京した親友が故郷へ帰ってしまっても、一人東京に残る。	貧しさやさびしさは想像以上。 それでも夢は諦めない。一人で頑張ろう。 泣きたくなかったが、歯を食いしばって頑張った。		
仏像修理の仕事を手伝うことになり、独学で仏像の勉強に打ち込む。 46歳で美術院国宝修理所の所長に抜てきされる。	仏像修理のおもしろさ、やりがいや大切さを知る。 仏像修理の仕事を生きて、大切な文化財を守っていこう。	好きなだけでなく、仕事のやりがいや大切さを知ったからこそその決心であることに気付かせる。	○久幸は、なぜ、仏像修理の仕事を生きていこうと思ったのでしょうか。
59歳の時に国宝金剛力士像(仁王像)の解体修理を頼まれる。 仁王像を見上げると、二体の視線が自分とびたりと合う。	仁王像の鋭い目の迫力と力強さに大きく身震いする。		
仁王像の薬指は木目のうず巻き模様が指もんに見えるように生かされていたことに気付く。 仁王像の修理作業は、多くの困難や苦労の連続。	これはすごい。さすが運慶。 何としても、同じような木目を持つ木を探し出すしかない。 諦めるな。 鎌倉時代の仏師たちの知恵と技術は本当にすごい。私も負けられないぞ。	運慶たちの技術のすばらしさに触れて、自分の技能を更に高めたいという、職人としての「高い目標」と「強い意志」を持っていたことに気付かせる。	◎「あきらめるな」、「私も負けられないぞ。」には、久幸のどのような思いが込められているのでしょうか。
解体修理から5年、仁王像の修理が完了。解体前と同じよう	運慶さん、快慶さん、やり遂げましたよ・・・。	ようやく目標に到達することができた久幸の喜	○久幸は、どんな思いで、「運慶さん、快慶さ

に二体を見上げると、二体の視線は、ぴたりと久幸をとらえてにらみつけてきた。		びに共感させる。	ん、やり遂げましたよ・・・。」と語りかけたのでしょうか。
「大仏師」の称号を授かる。 生涯に三千体以上の仏像の保存修理。多くの優れた修理技師の育成にも力を尽くす。	久幸の顔は輝いていた。		

(3) 志教育との関連

- ・ 久幸が、「大仏師」の称号を授かるまでの生き方を知り、自己の将来の夢を思い描き、夢の実現へ向けて生き方を考えさせる。【もとめる】
- ・ 久幸の困難や苦労に屈しない姿を捉えさせることにより、高い目標を持って諦めずにやり遂げようとする強い意志と心情を持たせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 2分	1 将来の職業や夢について関心を持つ。 ○ 学級みんなが考えている、将来したい仕事やなりたい人について見てみましょう。 2 ・ いろいろな夢を持った友達がいる。 ・ 自分と同じことを考えている友達がいる。	◆ 年度初めに書いた志シートの「したい仕事・なりたい人」の結果を集計し、児童に示す。自分たちの結果であることを知らせ、将来の職業や夢について関心を持たせる。
展開 前段 25分	2 資料を読み、「小野寺 久幸」について話し合う。 ○ 久幸は、なぜ、仏像修理の仕事を一生続けていこうと思ったのでしょうか。 ・ 仏像の知識が深まったことで、難しいだけではなくおもしろくなってきたから。 ・ このままでは仏像が失われてしまうことが分かったから。 ・ 大切な文化財を守る仕事はやりがいがあると感じたから。 ◎ 「あきらめるな。」「私も負けられないぞ。」には、久幸のどのような思いが込められているのでしょうか。 ・ 運慶たちの知恵と技術は本当にすごい。 ・ もっと技術をみがかなければ。 ・ 諦めたら終わりだ。 ・ 運慶たちに負けたくない。 ・ もっと頑張らなくては。	◆ 幼い頃、「絵描き」になるのが夢だった「小野寺 久幸」の生き方についての資料であることを確認する ◆ 好きなだけでなく、仕事のやりがいや大切さを知ったからこそその決心であることに気付かせる。 ◆ 具体的な作業の大変さについて取り上げ、多くの困難や苦労の連続であったことを理解させる。 ◆ 運慶たちの技術のすばらしさに触れて、自分の技能を更に高めたいという、職人としての「高い目標」と「強い意志」を持っていたことに気付かせる。

<p>展開前段 25分</p>	<p>○ 久幸は、どんな思いで、「運慶さん、快慶さん、やり遂げましたよ・・・。」と語りかけたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの困難や苦労の連続だったが、乗り越えられてよかった。 ・ 諦めずに努力を続けてよかった。 ・ 運慶や快慶の知恵と技術を守ることができた。 	<p>◆ ようやく目標に到達することができた久幸の喜びに共感させるとともに、もし、途中で諦めていたら味わえない達成感であることにも気付かせたい。</p>
<p>展開後段 15分</p>	<p>3 自己を見つめる。</p> <p>○ 久幸の生き方から、自分の目標やしたい仕事について、「参考になったこと」、「こういうふうにしていこうと思ったこと」を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高い目標を持つことが大切だと思った。 ・ 久幸のようには無理だけど、誰かの役に立つ仕事を見付けていきたい。 ・ 私だったら諦めていたと思う。これからは、最後まで諦めずに頑張ろうと思う。 ・ 自分は、大変だとすぐ弱い気持ちになるけど、もう少し強い気持ちを持つとうと思った。 ・ その道の達人になれるように、いろいろなことを勉強していこうと思う。 	<p>◆ 夢や目標に対するこれまでの自分の姿勢を振り返らせるとともに、久幸の考え方や努力と比べながら、自分の夢の実現に向けてどう考え、どうしていくべきかを考えさせる。</p> <p>◆ ワークシートに書いた後、グループで紹介し合い、自分と友達の考えを比べながら多様な考えがあることに気付かせる。</p> <p>◆ 机間指導をしながら、いくつかの意見を選び、全体場で共有する。</p> <p>* 自分で決めた夢や目標に向かい、信念を持ってくじけずに努力しようとする意欲を持つことができたか。 (発言・ワークシート)</p>
<p>終末 3分</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>◆ 子供時代に、様々な体験をし、いろいろな人に出会うことを通して、自分自身の目標を見だし、全力で挑戦してみたいと感じるものを見付けてほしいことを伝える。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 高い目標を持ち、諦めずに努力し続けた「小野寺 久幸」の生き方に触れ、自分で決めた夢や目標に向かい、信念を持ってくじけずに努力しようとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画

「小野寺 久幸」
 ～仏像修理一筋に歩んだ人生～

小野寺久幸
 の写真
 気仙沼市生まれ
 絵描きになりたい
 美術の勉強がしたい

○久幸は、なぜ、仏像修理の仕事を一生涯続けていこうと思ったのでしょうか。

- ・おもしろくなってきた
- ・修理をしなかつたら仏像を失う
- ・やりがいを感じた

◎「あきらめるな」、「私も負けられないぞ。」には、久幸のどのような思いが込められているのでしょうか。

- ・運慶たちの技術は何てすばらしいんだ
- ・もっと技術を見がかなければ
- ・あきらめたら終わりだ
- ・運慶たちに負けたくない
- ・もつと頑張らなくては

高い目標
強い意志

金剛力士像の写真

東大寺南大門の写真

○久幸は、どんな思いで「運慶さん、快慶さん、やり遂げましたよ・・・。」と語りかけたのでしょうか。

- ・あきらめなくてよかった
- ・技術を守ることができた

4 指導上のポイント

- ・ 導入時に、年度初めに書いた志シートの「したい仕事・なりたい人」の集計結果を児童に示すことで、将来の職業や夢について関心を持たせる。
- ・ 具体的な作業の大変さを取り上げることで、多くの困難や苦労の連続にくじけず、努力を続けた久幸の強い思いに気付かせる。
- ・ 展開後段で、友達の考えを聞いて、自分の考えを深めている児童を意図的に指名することで、全体の考えをより深めさせる。

5 参考資料

ワークシートの例

道徳
ワークシート

年 組 番 名前

「小野寺 久幸」
 ～仏像修理一筋に歩んだ人生～

○ 久幸の生き方から、自分の目標やしたい仕事について、「参考になったこと」、「こういふふうにしていいこと」と思ったことを書きましよう。

○ 友達の考えや、先生の話聞いて、「なるほど」と思ったことを書きましよう。

小学校第5学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 かけがえのない命 ○D-(19) 生命の尊さ
 ・C-(14) 勤労・公共の精神 C-(13) 公正、公平、社会正義

- 2 資料 「加藤 きん - 国境を越えて命を救う - 」
 (出典：みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.17 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

戦火が迫る危険な状況の中、国籍を問わず多くの人の命を救いたいと献身的に救護活動を行った「加藤 きん」の博愛の精神について考え、かけがえのない自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
ナイチンゲール記章の受賞は、博愛の精神に従って、当然の務めを行ってきたことで、光栄は私事にすべきではないと心苦しんでいる。	自分がしてきたことは、日赤の精神に従っただけであり、ナイチンゲール記章は、今現在、多くの人を助けようとしている看護婦たちに捧げたい。		
第一次世界大戦が始まり、フランスに救護班として派遣される。しかし、言葉も通じず、患者が願うような看護ができなかった。	誇りをもって看護をしよう。外国の兵士のために尽くそう。 言葉の通じない患者の痛みを和らげるためにはどうすればよいのだろう。	当時、外国に行くことがどれだけ大変だったかを捉えさせ、そこまでしてまでも救護活動を行おうとする加藤さんの気持ちの強さに気付かせ、命の重さについて感じ取らせたい。	○きんは、なぜ遠い異国にまで行って救護活動をしたのでしょうか。
自分たちのできることを患者のために懸命に行う。消毒、シーツ交換、患者への話し掛けを積極的に行った。心のこもった看護は、傷ついた兵士の心を捉えた。	傷ついた兵士が、少しでも楽になってくれるようにもっと頑張ろう。 やれることは、何でもしてあげよう。 痛みが和らいでくれたらうれしい。	言葉も通じず「このままでよいのだろうか。」と思い悩みながらも諦めることなく懸命に救護活動をする加藤さんの行動や、「かけがえのない命」と最後まで向き合い、守ろうとする姿が、「命のとりで」として信頼されていったことを捉えさせる。	○日赤救護班が「命のとりで」になったのは、なぜでしょうか。
戦況は悪化し、負傷兵が多数運び込まれるようになる。一人でも多くの命を救うため、より懸命に看護を行った。	一人でもいいから、助けたい。患者の家族に一目だけでも会わせてあげたい。		
さらに、戦況が悪化したため、日本赤十字社から、「撤退し、帰国せよ。」という命令が下されたが、活動の延長を訴え、献身的な看護を続けた。	いつ攻撃されるか心配だが、自分たちを必要としている人たちがこれだけたくさんいるのに、帰国するわけにはいかない。	命の重みは、みな平等であり、自分の命と同様に他者の命も尊いものである。だからこそ、目の前にいる兵士の命を救いたいという加藤さんの博愛の精神に気付かせ、「かけがえのない命」について考えさせたい。	◎自分の身に危険が迫っているにも関わらず救護を続けたのは、どのような気持ちからでしょうか。
パリ市街にまで、戦火がおよび、日本に帰国することになる。兵士たちは、倒れそうになりながらも見送りに来てくれた。きんは、手を握るだけしかできなかった。	もう薬もなくなってしまった。どうすることもできない。兵士たちの姿を見て、この人たちをおいて帰国しなければならぬのだろうか。命だけは大切にしたい。		
帰国後も、日中戦争の際は、病院船に乗り、シベリアや中国で兵士たちの看護を行い、多くの尊い命を救った。	自分に命がある限り、一人でもいいから助けたい。どこにでも行って、救護活動しよう。		

(3) 志教育との関連

- ・ 加藤さんが、国境を越えてまでも多くの命を救おうとした心情を捉えさせ、自他のかけがえのない生命を大切にしながら、周りの人のためにできることを考えさせる。【かかわる】

(4) 学習指導過程

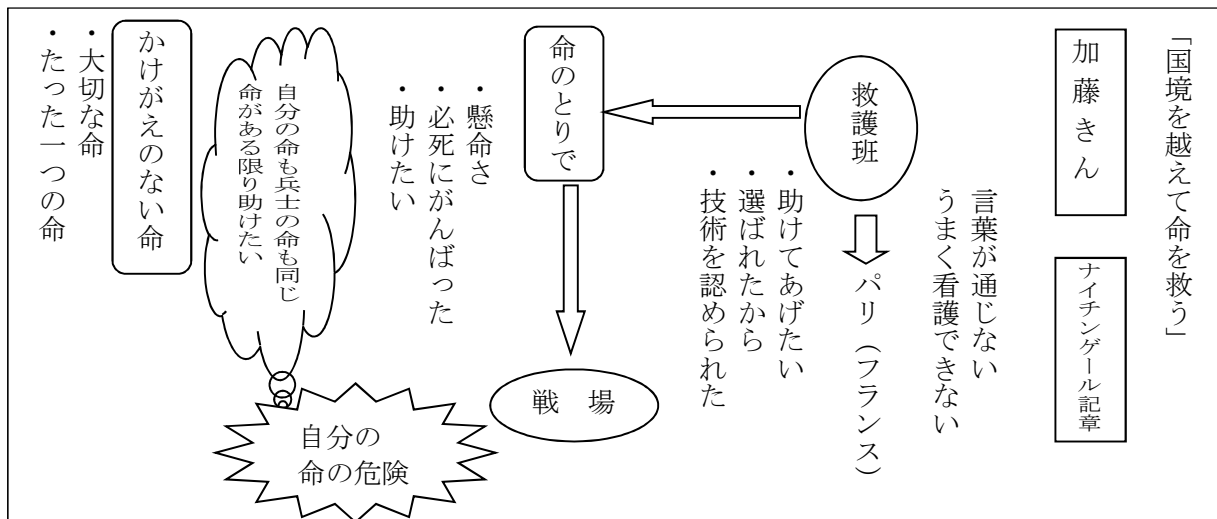
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 3分	<p>1 加藤さんが活躍していた時代背景を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><第一次世界大戦> 1914年～1918年にかけて戦われた人類史上最初の世界大戦。場所は、ヨーロッパを中心として行われ、多くの人々が戦死した。</p> <p><赤十字社> アンリー・デュナンが創設する。人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救護することを目的として設立され、現在では世界191の国と地域に広まっている。</p> <p><ナイチンゲール> クリミア戦争(1853年～1856年)の時、敵味方を問わず救護活動を行った。</p> </div>	<p>◆ 児童の生活からは、想像することのできない時代背景である。戦場とは、命の危険が迫っている場所であること、戦争の悲惨さ、遠い異国の地まで行くことの大変さを世界地図や写真を活用して、事前に確認したことを振り返らせる。</p> <p>◆ ナイチンゲール記章の意味や赤十字の精神である「人間の命は尊重されなければならない」「国籍や人種を問わず全ての人を平等に愛すること」などについて確認する。全ての人を尊い命を守ろうとする精神を押さえ、本時の価値である「生命の尊さ」への方向付けを図る。</p>
展開 前段 27分	<p>2 資料を読み、遠く離れた異国に行ってまで救護活動を行った主人公加藤さんの気持ちを話し合う。</p> <p>○ きんは、なぜ遠い異国にまで行って救護活動をしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の仕事が認められたから。 ・ 苦しんでいる人がいれば、どこまでも行く。 ・ 多くの人を助けたい。 ・ たくさんの人の命を救いたい。 <p>○ 日赤救護班が、「命のとりで」になったのは、なぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 懸命な看病をしたから。 ・ 献身的な姿があったから。 ・ 技術の高さが認められたから。 ・ 命を守りたいと必死に頑張ったから。 <p>◎ 自分の身に危険が迫っているにも関わらず救護を続けたのは、どのような気持ちからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人のために救護すること、助けることが自分の仕事。 ・ 自分の命も兵士の命も同じ。 ・ 生きているからこそ、できることをしっか 	<p>◆ 日本人でも外国の人でも、苦しんでいる人がいればどこまでも行って助けてあげたい、命を守ってあげたい、という強い気持ちを持っていたことを押さえる。</p> <p>◆ 言葉も通じず、何をしてよいか分からなかったきんたちは、決して諦めることなく患者を救おうとしたからこそ、日赤救護班が「命のとりで」になったことを捉えさせる。</p> <p>◆ シーツの消毒をすることも、現在とは比べものにならないくらい大変な作業であったことに触れ、「懸命」「献身的」という言葉に含まれる意味に気付かせる。</p> <p>◆ 日本赤十字社の命令に、すぐに従うことなく活動を続けるという、強い意志や気持ちは、「命を救いたい」という思いからであることを考えさせる。</p> <p>◆ ペアで話し合わせる時間を設け、考えの交流を行った後、全体で共有し、より価値に迫らせるようにする。</p>

<p>展開前段 27分</p>	<p>りやりたい。</p>	<p>◆ 自分の命も、兵士の命もみな平等であるという博愛の精神に触れる。「命はかけがえのないものである」からこそその行動だということを考えさせる。 * かけがえのない命を守ろうとしたきんの思いを考えることができたか。 (ワークシート, 発言)</p>
<p>展開後段 10分</p>	<p>3 「かけがえのない命」の大切さについて話し合う。</p> <p>○ 「命は大切だ」「命があってよかった」と思った経験はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ だれかが亡くなったとき。 ・ 東日本大震災の話聞いたとき。 ・ 事故のニュースを聞いたとき。 ・ けがや病気をしたとき。 ・ 従弟が産まれたとき。 	<p>◆ 自分だけではなく、周りにいる人たち全てが、たった一つの「かけがえのない命」を持っていることを改めて確認し、自分のこれまでの経験を考えさせるようにする。</p> <p>◆ 事前アンケートや事前に話し合ったときの感想を活用し、一つの命を守ろうと、みんなが懸命であること、そして、失ったときの悲しみ、苦しみはとて大きく想像できないものになることを考えさせたい。</p> <p>◆ 「かけがえのない命」の誕生は、この上ない喜びとなり、それを守ろうとみんなで支え合っていることに気付かせたい。</p> <p>* 身近な出来事から、かけがえのない命の大切さを感じる事ができたか。(発言)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>4 「命」と向き合わせながら、本時の感想を書く。</p> <p>○ 「命」について考えたことや思ったことを書きましょう。</p>	<p>◆ 自分の命も、周りにあるたくさんの命も、みんな大切なものであるからこそ、守っていかなければならないという気持ちを持たせたい。</p>

(5) 本時の評価

- ・ かけがえのない命を救おうと懸命に活動した「加藤 きん」の生き方に触れ、自分の命も他人の命も同じように尊いものであると感じることができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- ・ 事前に資料を読ませ、難解な言葉の説明を行う。また、「赤十字の旗」と「ナイチンゲール」の写真を活用して、赤十字の精神やナイチンゲール記章の意味を理解させる。また、第一次世界大戦がどこで行われ、どのような悲惨さであったかを世界地図を活用して説明をする。資料の内容を十分に理解させてから話し合わせるようにする。
- ・ 本時の導入では、世界地図を活用して、フランスの位置を確認し、日本との距離を視覚的に捉えさせ、遠い異国の地という意味を理解させる。さらに、赤十字の精神について解説を簡単に行ってから資料について考えさせる。
- ・ 展開前段では、自分の身が危険になりながらも懸命に救護活動をする加藤さんの強い博愛の精神を想像させながら、考えさせるようにする。
- ・ 展開後段では、これまでの生活の中から、命の尊さを感じた経験について話し合い、命の重みや大切さ、すばらしさについて感じられる雰囲気を持たせ、終末につなげるようにする。事前アンケートの活用や前時での話し合いの感想などを活用すると、より話し合いが深まることが考えられる。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

問いがあることで、次に考える内容が分かってしまうため、ワークシートは問いの文章を書かずに、枠だけのものを使用する。

道徳ワークシート 名前()
「命を越えて命を救う」

自分の身に危険が迫っているにも関わらず、救護を続けたのはどうしてでしょう。

「命」について考えたことや思ったことを書きましょう。

(2) 掲示用資料の例

- ・ 加藤さんの写真（みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.17）
- ・ 赤十字の旗
- ・ ナイチンゲールの写真
- ・ ナイチンゲール記章の写真
- ・ 世界地図
- ・ 第一次世界大戦の写真

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 克己と強い意志 ○A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
・A-(2) 正直・誠実

- 2 資料 「神永 昭夫 - 東京オリンピックの銀メダリスト -」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p. 23 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

自己の向上のためにより高い目標を設定し, その達成を目指して希望と勇気を持ち, 努力を続けた「神永 昭夫」の生き方を通して, 困難があってもくじけずに努力しようとする実践意欲を育てる。

(2) 資料の分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
<p>高校1年生の時に, 柔道を習い始めた。基礎練習の日々に飽きながらも, 練習を続け宮城県大会で優勝を果たした。</p> <p>講道館での紅白戦で19人抜きを快挙を果たし三段に昇段した。</p>	<p>基本練習ばかりの日々に柔道を辞めようとしたが, 優勝をきっかけに基本が大切であることに気付いた。</p> <p>腕試しで講道館の紅白戦に出場した。ところが, 19人抜きを果たし, 自分の実力に自信が出た。</p>		
<p>大学に進学し, 練習を積んだ昭夫は, 主将になるくらい信頼されるようになった。その上, 全日本学生選手権で2度の優勝を果たす選手となった。</p>	<p>せっかく大学に進学する機会をもらったから, わずかな時間も無駄にしないで勉強と柔道を両立させようと考え, 実際にやり遂げた。</p>		
<p>社会人になると, 仕事を終えてから練習をした。仕事と柔道を両立させ, 2度の全日本柔道選手権での優勝を果たした。</p>	<p>柔道をするから仕事ができないと言われてたくない。職場の人たちに迷惑をかけられない。仕事と柔道を両立させる。</p>	<p>オリンピックでの活躍を願う同僚の気持ちと仕事を余分にしなければならない同僚の気持ちに気付かせる。</p>	<p>○昭夫はどんな気持ちで同僚の言葉を聞いたのですか。</p>
<p>日本で最初のオリンピックに無差別級の代表選手に選ばれる。</p>	<p>柔道がオリンピック種目になった。多くの人たちが期待している。日本の名誉のためにも頑張らなければならない。</p>		
<p>決勝戦でオランダのヘーシンク選手と戦うが, 押さえ込まれて銀メダルとなった。表彰式で相手選手を讃え, 握手を求めた。</p>	<p>自分よりも大きい選手だ。これまで練習してきた成果を発揮してやる。</p> <p>ヘーシンク選手は強かった。すばらしい選手だ。握手しよう。</p>	<p>決勝戦で負けて淡々と帯を直し, 晴れ晴れとした表情で試合場を出る心情から表彰式で握手を求めるという行動に至った心情までを考えさせる。</p>	<p>○昭夫はどんな気持ちで表彰台の上でヘーシンク選手に握手を求めたのですか。</p>
<p>引退後, 会社では重要な仕事を任せられ信頼された。その一方で柔道の発展にも尽力し, 金メダリストや優秀な選手を育てた。</p>	<p>これまで支援してくれた会社のために頑張ろう。そして, 柔道にも, 後進を育てることで恩返しをしなければならない。</p>	<p>昭夫が目頃言っていた言葉から, 昭夫の生き方や考え方を知り, これからの自己の生き方にどのように生かしていきたいか考えさせる。</p>	<p>◎「人並みにやっていただけでは, 人並みにしかなれない。」という言葉には, どんな思いが込められていると思いますか。</p>

(3) 志教育との関連

- ・ どんな困難や苦難があっても, 諦めずに努力を続ける粘り強さを持つことが目標達成のために必要であることを捉えさせる。【もとめる】
- ・ どんな状況にあっても, 自分の果たすべき役割を確実にやり抜く強い意志を持つことや, 誠実な生き方を捉えさせる。【はたす】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 4分	<p>1 「神永 昭夫」について簡単に紹介する。</p> <p>○ 日本で最初のオリンピックが開催された1964年(昭和39年)。柔道がオリンピック種目として初めて取り入れられました。国民の期待を背負い、銀メダルを獲得した神永選手の生き方について考えていきます。</p>	<p>◆ 当時の人々は東京オリンピックに対する熱い期待を持っていたことを知らせる。</p> <p>◆ 事前に資料を読ませておく。昭夫の人物像を事前に知らせてから範読をする。</p> <p>◆ 昭夫の活躍について触れ、選手としてだけでなく、その後の生き方にも興味を持てるよう意識付けを図る。</p>
展開 前段 25分	<p>2 昭夫の周りの人々が昭夫を慕った理由を考える。</p> <p>○ 昭夫はどんな気持ちで同僚の言葉を聞いたのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私の仕事を他の人に代わってもらうわけにはいかない。 ・ 私の仕事を引き受けた人は嫌な気持ちになるだろう。 ・ 練習を理由にして自分の役割から逃げ出してはいけない。 ・ 仕事をするから会社から給料をもらっている。仕事をしなければ給料をもらう資格がない。 <p>○ 昭夫はどんな気持ちで表彰台の上でヘーシンク選手に握手を求めたのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やることはやった。試合に悔いはない。 ・ 自分より強かったヘーシンク選手の努力を讃えよう。 ・ 私より努力したヘーシンク選手が勝った。彼の優勝をほめよう。 ・ まだ努力が足りなかった。もっと練習に力を入れる。次の対戦では負けない。 ・ 練習方法の工夫が足りなかった。素直に負けを認め、次の対戦への準備にしよう。 	<p>◆ 昭夫が仕事を途中で終わりにして柔道の練習に行ったら、同僚はどんな気持ちになるかと立場を変えて考えさせる。</p> <p>◆ 昭夫の活躍には同僚の支えがあったことに気付かせる。</p> <p>◆ 昭夫の仕事や自分の役割に対する責任感を考えさせる。</p> <p>◆ 今までの努力を振り返って悔いがなかったことに気付かせる。</p> <p>◆ 多くの部下や後輩が昭夫のどんなところに憧れたのかを考えさせる。</p> <p>◆ ペアやグループでの意見交換を行い、考えを深めたり視野を広げたりさせたりする。</p> <p>* 困難があってもそれをバネにして努力しようとする姿勢や自分に足りないことを素直に認め、誠実な気持ちで自己を振り返ることができたか。 (ノート、ワークシート、発言)</p>
展開 後段 10分	<p>3 「人並みにやっただけでは、人並みにしかなれない。」という言葉について考える。</p> <p>◎ 「人並みにやっただけでは、人並みにしかなれない。」という言葉には、どんな思いが込められていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人と同じ練習をしていても、高い目標は達成できない。 ・ 努力し続けることが人を成長させる。 ・ 人と同じ練習をしていても、他の人と 	<p>◆ 自分自身との関わりを考えさせ、実践への意欲を高める。</p> <p>◆ ペアやグループでの意見交換を行い、考えを深めたり視野を広げさせたりさせる。</p> <p>◆ 意図的な指名による発表によって、多様な考えに触れさせ、更に視野を広げさ</p>

	<p>変わらない。人がやっていないときにこそ練習しなければ強くなれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> どんなことでも工夫して取り組むことで、他の人にはないことを成し遂げられる。 	<p>せる。</p> <p>* 昭夫の生き方や考え方から学んだり気付いたりしたことを、昭夫の言葉から考えることができたか。 (ノート、ワークシート、発言)</p>
<p>終末 6分</p>	<p>4 これからの自分について考える。</p> <p>○ これからの自分の生活の中で、どんなことに生かそうと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人だけでは成し遂げることができない。多くの人に支えられていることに感謝したい。 人より努力しなければ、目標を達成することはできない。もっと努力しよう。 〇〇が好きで練習しているが、レギュラーになるためにもっと努力したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 具体的な内容でも良いことを知らせる。 ◆ どんなに才能や実力を持っていても、努力なしに何かを成し遂げることはできないということを確認させる。 ◆ 本時の学習を振り返らせるとともに、自分の決意を再確認させて授業を終える。

(5) 本時の評価

- 自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力しようとする強い意志と実行に移すためにどんなことを大切にしたいかを具体的に考え、行動しようとするができる。

(6) 板書計画

<p>『人並みにやっていただけでは、人並みにしかない。』</p> <ul style="list-style-type: none"> 人と同じ練習をしていても、高い目標は達成できない 努力し続けることが人を成長させる 人と同じ練習をしていても、他の人と変わらない。人がやっていないときにこそ練習しなければ強くなれない どんなことでも工夫して取り組むことで、他の人にはできないことを成し遂げられる <p>これからの自分に生かすこと</p>	<p>神永 昭夫 (東京オリンピックの銀メダリスト)</p> <p>日本で初めてのオリンピック</p> <p>柔道は日本の国技</p> <p>金メダルを取るの当たり前</p> <p>国民の期待を背負った決勝戦</p> <p>社会人になった昭夫</p> <p>練習があるから、早く仕事をきりあげるといいよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ありがたい ・ 自分の責任を果たさなければならぬ ・ 仕事をしないで練習するなんて会社に迷惑をかけてしまう <p>オリンピックの決勝戦に出場した昭夫</p> <p>（ヘーシンク選手にどんな気持ちで握手を求めただろう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分より強かったヘーシンク選手の努力をたたえよう ・ まだ努力が足りなかった。もっと練習に力を入れて、次の対戦では負けない ・ 練習方法の工夫が足りなかった。素直に負けを認め、次の対戦への準備にしよう
---	---

4 指導上のポイント

- 事前に資料を読ませることで、資料の内容を十分に理解させる。その上で児童に話し合わせるようにする。
- 展開前段のオリンピック表彰式での「握手」という行為は、当時としては特別なことだと理解させる。また、神永選手以外の日本の選手は金メダルを取っているのに、神永選手だけ銀メダルになったにも関わらず「握手」を求めたことを補足説明する。
- 展開の前段で社会人としての昭夫の姿勢や考え方をしっかりと理解させ、昭夫の人となりをつかませる。
- 意図的な指名をすることで、多様な考えや広い視野に立って考えるための手立てとする。

中学校第 1 学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 ふるさとを愛する心 ○C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度
・A-(1) 希望と勇気, 克己と強い意志

- 2 資料 「後藤 桃水 - 民謡を育てる -」
(出典: みやぎの先人集第 2 集「未来への架け橋」p. 27 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

郷土の伝統と文化を大切にし, 社会に尽くした「後藤 桃水」に尊敬と感謝の念を深め, 地域社会の一員として郷土の発展に努めようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
明治 13 年, 桃生郡大塚濱に生まれる。	歌うことが苦手で, 音楽に興味はなかった。父の教え通り, 勉学に励んだ。		
中学校に進学したある日, 尺八の音色に聴き入り, 尺八の練習を始めた。	自分が興味を持てるものを見つけ, 自ら学びたいという気持ちになった。		
第二高等学校へ進学し, 父の希望する医学部に入ったが, 尺八の練習に没頭していた。	これまでは父の願い通りに生きてきたが, 自分が興味を持ったことを究めたい。	父の猛反対を押し切ってまで, 自分のやりたいことを貫こうとした桃水の気持ちに迫らせる。	○父の猛反対を押し切り, 東京に行くことにした桃水はどんな気持ちだったでしょうか。
郷土に伝わる唄に興味を持つようになり, 日本各地を歩いて回った。	日本各地のその土地だけに伝わる唄を調べたい。	日本各地のその土地だけに伝わる唄を調べるうちに, ふるさとの唄のよさを知ってもらいたいと思うようになったことを押しさえる。	○その土地に住む人だけが知る唄を熱心に調べるうちに, 桃水はどんなことを考えるようになったのでしょうか。
大正 9 年, 東京で「全国民謡大会」を開催。弟子の育成にも力を入れた。	多くの人にふるさとの唄のよさを知ってもらいたい。		
関東大震災を契機に大塚へ移り住んだ。ある日, 岬で弟子に斎太郎節を歌わせた。	自分のふるさとの唄を伝え続けたい。	桃水のふるさとを思う気持ちを捉えさせる。	◎松島湾が一望できる岬で弟子に斎太郎節を歌わせたのはなぜでしょうか。
民謡は人々の心に浸透していった。	民謡で日本国民に喜びと希望を与え, ふるさとのよさを伝えたいという思いを持ち続けた。		

(3) 志教育との関連

- ・ 後藤桃水の郷土の伝統と文化を大切に思う思いに気付かせ、地域社会の一員として郷土の発展に寄与する心情を養う。【もとめる】【はたす】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 資料に興味を持つ。</p> <p>○ この碑を見たことがありますか。</p> <p>○ 何の碑か知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民謡の碑。 <p>○ この銅像の人物を知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後藤桃水。 	<p>◆ 写真を提示し、東松島市大塚にあることを知らせることで、興味を持たせる。</p> <p>◆ 写真を用いた導入を行うことで、本時の学習内容に対する関心を高め、発言しやすい雰囲気を作る。</p>
展開 前段 20分	<p>2 資料「後藤 桃水 - 民謡を育てる -」を読んで話し合う。</p> <p>○ 父の猛反対を押し切り、東京に行くことにした桃水はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尺八を本格的に勉強したい。 ・ 家には戻れない。 ・ 父を見返したい。 ・ 父に申し訳ない。 <p>○ その土地に住む人だけが知る唄を熱心に調べるうちに、桃水はどんなことを考えるようになったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地でふるさとの唄が大切にされていることに気付いた。 ・ ふるさとの唄のよさを多くの人に知ってもらいたい。 <p>◎ 松島湾が一望できる岬で弟子に斎太郎節を歌わせたのはなぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさとの自然の美しさに気付かせたかった。 ・ ふるさとのよさや大切さに気付かせたかった。 ・ 弟子にも自分のふるさとを思い出してほしい。 	<p>◆ 資料冒頭の斎太郎節の歌詞が紹介されている部分は、音源を用意する。歌詞について簡単に説明を加える。</p> <p>◆ 父の猛反対を押し切ってまで、自分のやりたいことを貫くと決意した桃水の心情を感じ取らせる。</p> <p>◆ ふるさとに伝わる唄を熱心に調べるうちに、桃水自身もその唄のよさに気付き、多くの人に知ってもらいたいと思うようになった桃水の心情の移り変わりを捉えさせる。</p> <p>◆ 松島湾の風景写真を提示しながら再度斎太郎節を聞かせ、擬似体験させることで、より桃水の心情に迫れるようにする。</p> <p>◆ 桃水の郷土への愛着を感じ取らせる。</p> <p>* 桃水の郷土に対する深い思いに共感することができたか。(発言, 観察)</p>

<p>展開後段 20分</p>	<p>3 自分達が住んでいる地域の伝統と文化を大切にしていくために自分にできることを考える。</p> <p>○ 自分のふるさとのためにできることを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の行事に積極的に参加する。 ・ 地域の人に会ったらあいさつをする。 ・ 地域の文化や伝統を大事にする。 ・ ゴミ拾い等のボランティア活動をする。 ・ 地域のみんなど仲良くする。 ・ 自分の地域について学習しておく。 ・ 将来、地域の役に立つように今はしっかり勉強する。 ・ 地元の人から様々な話を聞く。 ・ 将来地元に住んで協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 展開前段で理解した郷土を愛する心を自分との関わりで捉えさせる。 ◆ 自分のふるさとのよさや伝統について連想するものをあげさせることで、より身近なこととして考えられるようにする。 ◆ 自分で考えた後にグループで話し合い、多様な考えを全体で共有することで、自分の考えを深めさせる場を設定する。 ◆ 日頃の何気ない行動が地域の発展に役立っていることに気付かせる。 * 郷土の発展のために自分にできることを考え、実践しようとする意欲を持つことができたか。 <p>(ワークシート、発言、観察)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>4 本時の学習を振り返り、ふるさとのについて感じたことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本時の学習を振り返り、郷土の伝統と文化を尊重する必要性に気付かせ、地域の発展に貢献する意欲を持たせる。

(5) 本時の評価

- ・ 「後藤 桃水」の郷土の伝統と文化を大切にしている心情に気づき、地域社会の一員として自分にできることは何かを考え、郷土の発展のために主体的に行動しようとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ拾い等のボランティア活動をする ・ 地域の文化や伝統を大事にする ・ 地域の人に会ったらあいさつをする ・ 地域の行事に積極的に参加する 	<p>ふるさとのために自分ができること</p>	<p>写真 松島湾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分ふるさとの大切さ ・ ふるさとのよさ 	<p>松島湾が一望できる岬で斎太郎節を歌わせた</p>	<p>ふるさとに伝わる唄を調べるうちに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地でふるさとの唄が大切にされている ・ ふるさとの唄のよさを多くの人に知ってもらいたい 	<p>父の猛反対を押し切り、東京へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尺八を勉強したい ・ 家には戻れない 	<p>ふるさとを愛する心</p> <p>「後藤 桃水 — 民謡を育てる —」</p> <p>写真 後藤桃水</p> <p>民謡碑</p>
---	-------------------------	---	-----------------------------	---	---	--

4 指導上のポイント

- ・ 後藤桃水や民謡碑、松島湾の写真や、斎太郎節の音源を使用することで、身近なものであると感じさせ、意欲的に話し合うことができるようにする。
- ・ 展開前段で桃水の郷土を愛する心に気付かせた後、展開後段において郷土の発展のために自分にできることを考えることで、本時のねらいに迫るようにする。また展開後段では、発問の前に自分達のふるさとのよさや伝統について連想するものをあげさせることで、より身近なこととして考えられるようにする。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

月 日 () 道徳
ふるさとを愛する心 後藤 桃水 — 民謡を育てる —
年 組 番 氏名 _____
<p>○ 自分達のふるさとのためにできることを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 自分の考え <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; height: 60px; margin-bottom: 10px;"></div> <ul style="list-style-type: none">・ みんなの考え <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; height: 60px; margin-bottom: 10px;"></div>
<p>○ 今日の授業を通して、ふるさとについて感じたこと、気付いたことを書こう。</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>

(2) 掲示用写真の例

- ・ 後藤桃水写真（みやぎの先人集第2集 p. 27）
- ・ 民謡碑写真（みやぎの先人集第2集 p. 29）
- ・ 松島湾写真（みやぎの先人集第2集 p. 30）

小学校第5学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 目標に向かって ○A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
・C-(14) 勤労, 公共の精神

- 2 資料 「小室 達 — 伊達政宗公騎馬像をつくる — 」
(出典: みやぎの先人集 第2集「未来への架け橋」 p.31 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

「小室 達」の生き方について考えることを通して, 自分の夢や目標に向かい, 希望と勇気を持ち, くじけないで努力しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
少年時代, 時間があれば小刀で木を彫り, 好きなものを作るのに没頭していた。 少年時代の経験から彫刻家を目指し, 帝展で何度も入賞する。	木を彫って, いろいろなものを作るのは楽しい。 友達に頼まれて取り組んだ万国旗作りは, みんなを喜ばせることができた。友達の意見も取り入れて, 満足のいくものができたなあ。 もっとすばらしい作品を作りたい。作品作りに, 一生懸命打ち込もう。	興味のあるもの, 得意なものに一生懸命に取り組むと同時に, 周囲からの意見にも耳を傾け, よりよいものを作ろうとする達の姿勢に気付かせる。	○達はどのような少年でしたか。
不景気や不作で苦しんでいる宮城の県民を元気にするために「政宗公」の銅像を建てる計画が持ち上がる。 「政宗公」銅像の制作者に決定し, 銅像作りに専念することを決心する。	もし, 自分に制作の依頼が来たら, 騎馬像こそが県民を元気にさせるのではないだろうか。 帝展へ出品する作品作りよりも, 宮城の人たちを元気にするための, この政宗公の騎馬像作りに専念しよう。 一世一代の仕事にしよう。		
制作の途中で, 様々な人に見てもらい, 意見をもらいながら修正を続ける。	一生懸命に, 伊達政宗のことや馬の骨格, 筋肉, 馬具について調べよう。 よりよい作品を作るために, 様々な専門家にも意見をもらおう。 とはいえ, これほど修正点や厳しい指摘があるとは。落ち込むなあ。でも, 決めたことだ。やりきろう。	よりよい作品を作るといふ目標に向け, 多くの人たちに意見を求めた達の志の高さと, 何度もやり直しをしなければならぬ現実との葛藤に共感させる。途中で諦めずに修正を繰り返すことができた達の心情を考えさせる。	◎どのような考えから達は厳しい指摘を受けても何度も修正を繰り返したのでしょうか。
完成した「政宗公騎馬像」を見上げる人々の笑顔をじっと見つめた。	途中で諦めずに作り続けて良かった。多くの人たちが喜んでくれている。成し遂げられたことを誇りに思う。	より高い目標を達成することができた達の達成感に共感させる。	○完成した騎馬像を見上げるたくさんの人々の笑顔を見たとき, 達はどんなことを考えたでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ どんなに困難なことにぶつかっても、自分の目標を達成させようと諦めずに強い意志で行動する達の生き方に共感させる。【もとめる】
- ・ 達の生き方から学んだことを自分の行動に生かすようにさせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

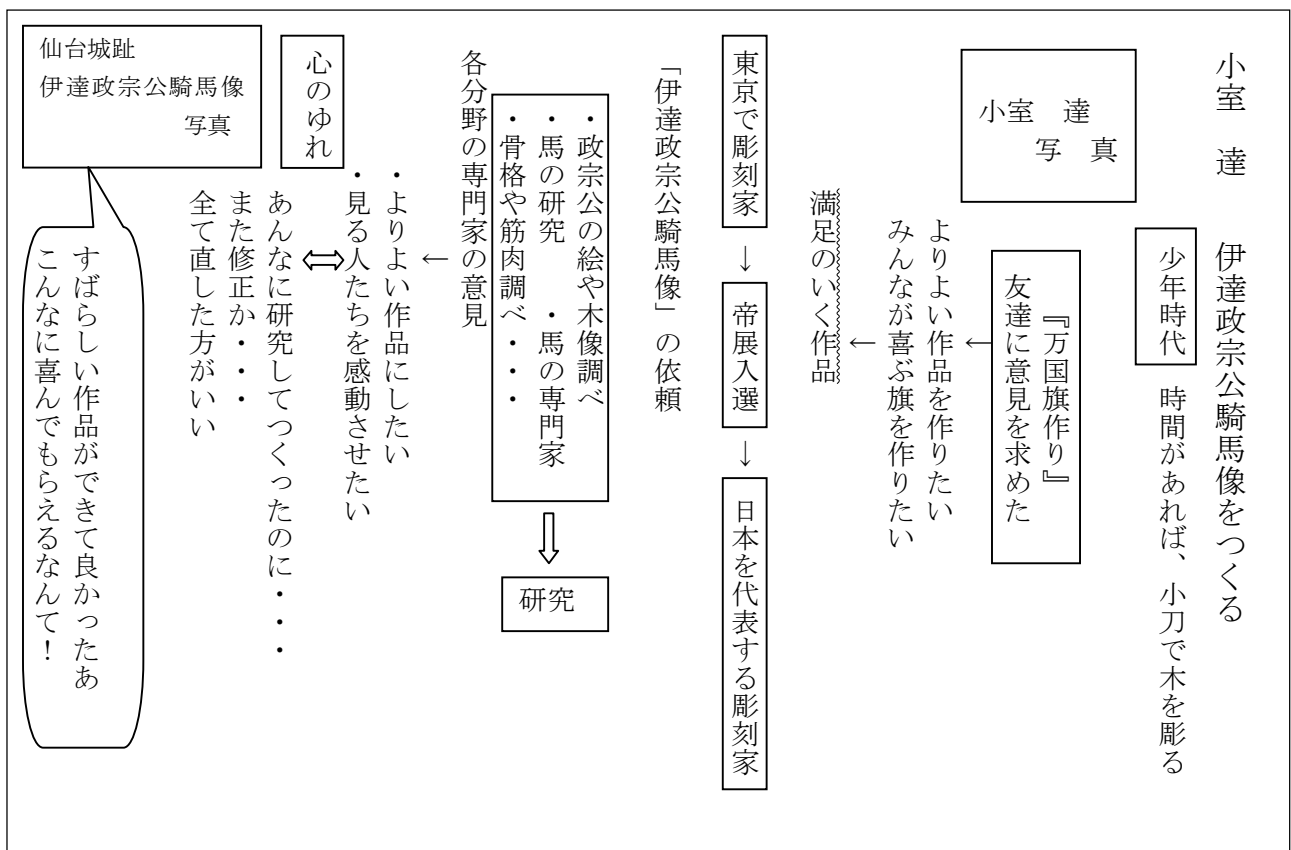
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
	○ 朝の読書の時間に、資料を読む。	
導入 5分	<p>1 仙台城趾にある「伊達政宗公騎馬像」の写真を見て、話し合う。</p> <p>○ この騎馬像を見たことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真で見たことはある。 ・ 伊達政宗っていう偉い人。 ・ 有名だよ。 	<p>◆ 写真を見て、仙台城趾にある有名な「伊達政宗公騎馬像」を制作した小室達への興味を持たせる。</p> <p>◆ 日本国内はもちろん、外国からの観光客もこの騎馬像を見に来ていることを知らせる。</p>
展開 前段 20分	<p>2 資料を読み、小室達について話し合う。</p> <p>○ 達はどのような少年でしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木を彫るのが大好き。 ・ 興味のあることに一生懸命な少年だった。 ・ 時間があれば、好きな物を彫っていた。 ・ 友達に意見を求めながら万国旗を作った。 <p>◎ どのような考えから達は厳しい指摘を受けても何度も修正を繰り返したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなに喜んでもらえる作品を作りたいと思った。 ・ 最後までやり抜きたいと考えた。 ・ みんなの笑顔が見たいと思った。 ・ 宮城の人たちのために力を尽くしたいと思った。 <p>○ 完成した騎馬像を見上げるたくさんの人々の笑顔を見たとき、達はどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すばらしい作品ができて良かった。 ・ 何度も修復したかいがあった。 ・ みんなを元気にすることができて、良かった。 ・ 苦労したが、宮城の人達がみんな喜んでくれている。 	<p>◆ 少年期の中でも、白石中学校時代に取り組んだ万国旗作りのエピソードに目を向け、達が、友達に意見を求めながら、よりよいものを作り上げようとする姿勢に気付かせる。</p> <p>◆ 高校卒業後の達は彫刻家を目指し、研究に励んだことを確認する。</p> <p>◆ エピソードについて、短冊を利用しながら確認する。</p> <p>◆ なぜ何人もの専門家の人たちに意見を求めたのか考えさせることより、より高い水準の作品、さらに見る人を感動させる作品を作りたいと考える達の気持ちに気付かせる。</p> <p>◆ 制作過程で、何度も修正を繰り返した時の達の葛藤、落ち込む気持ちも捉えさせる。</p> <p>◆ 書く活動を取り入れ、達の心情について深く考えさせる。</p> <p>* 修正を繰り返している時の達の気持ちを考えることができたか。 (ワークシート、発言、観察)</p> <p>◆ 完成した喜びだけでなく、騎馬像を見ている宮城の人々の笑顔を見て、達成感を感じている達の心情に共感させる。</p> <p>◆ 修正を繰り返した時の葛藤や苦労を思い出させ、その時の気持ちと達成感を対比させながら共感させる。</p>

<p>展開後段 15分</p>	<p>3 小室達の生き方から学んだことを考える。 ○ 達の生き方から学んだことは何ですか。 ・ 自分の目標に向かって、諦めずにがんばることが大事だと思った。 ・ 自分の考えだけでなく、周囲の人のアドバイスも生かしていくところがいい。 ・ 持久走で苦しくても最後までくじけずに走り抜きたい。 ・ 家の手伝いをやりたくない時もあるけれど毎日続けていきたい。 ・ ○○さんが、途中でくじけずに～に取り組んでいた。</p>	<p>◆ 達がより高い目標を達成するために頑張ったことを押さえさせ、さらに自分自身の生活を振り返らせる。 ◆ 学級の他の児童の姿勢にも目を向けさせる。 ◆ 書く活動を取り入れ、達の生き方から学んだことを自分自身の生活に照らし合わせて深く考えさせる。 * 達の生き方から学んだことを自分の生活に照らし合わせて考えることができたか。 (ワークシート, 発言, 観察) ◆ なかなか書き進めることのできない児童に、達の生き方の中で感心したことを聞くなどの助言をする。 ◆ 机間指導ながら、意図的指名をする児童を選ぶ。</p>
<p>終末5分</p>	<p>4 今日の学びを振り返る。 ○ ワークシートに書いた自分の考えを発表しよう。</p>	<p>◆ 数人を意図的に指名し、達の生き方から学んだことを発表させ、余韻を残して授業を終える。</p>

(5) 本時の評価

- ・ より高い目標を掲げ、努力した「小室 達」の生き方に触れ、自分の夢や目標に向かい、希望と勇気を持ち、くじけないで努力しようと考えることができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- ・ 資料が長く、児童にとって読み取りに時間がかかるため、事前（朝読書の時間等）に資料を読ませ、あらかじめあらすじをつかませておく。
- ・ 場面ごとに範読し、達の行動や時代背景などのポイントを書いた短冊を使って整理しながら確認する。
- ・ よりよい騎馬像を制作するために、自分で様々な研究をしたり、専門家に意見を求めたりする強い意志を持つ一方、何度も修正しなければならなくなった苦しい心情に共感させる。

5 参考資料

ワークシートの例

<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>				【達の生き方から、学んだことを書いてみよう。】	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					【どのような考えから修正を何度も繰り返したのでしょうか。】	小室達の 写真	五年	小室 達 —伊達政宗公騎馬像をつくる—

小学校第5学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 夢の実現に向かって ○A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
- 2 資料 「齋藤 眞 — 脳神経外科の道をひらく —」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p. 35 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

ヨーロッパで脳神経外科について学び、日本に普及させるために努力した「齋藤 眞」の生き方や考え方から、自分の夢を持ち、その実現に向かって努力しようとする心情を高める。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
幼い頃医師である父から頭蓋骨をもらい、頭の病気に興味を持つ。勉強に励んだ眞は医師になる。	これが人間の頭の骨か…。すごいなあ。 将来は頭のけがや病気が治せるような医者になりたい。		
講師になったが同僚や生徒から妬まれ、仕事がうまくいかない。そこで眞は自らの力量を高めていくことに専念し、徐々に周囲から認められていく。	私の授業をどうして真剣に聞いてくれないのだろう。 私の医師としての技術と知識が足りないからだ。さらに勉強に励もう。	周囲の人から認められなくとも、医師としての自分の力量を高めようと努力する眞の思いに気付かせる。	○眞が仕事の合間も惜しんで研究に専念し始めたのには、どのような思いがあったのでしょうか。
脳神経外科を学ぶために努力して築き上げた地位を捨てて、ヨーロッパへ留学する。	幼い頃から興味を持っていた脳神経外科について学びたい。誰に反対されても、今の地位を失っても、自分の思いを果たすため留学しよう。	全てを投げ出しても、自分の思いを果たすために、留学しようとする眞の強い気持ちに気付かせる。	◎ヨーロッパへ旅立つ眞は、はるかな水平線の先を見つめながらどのようなことを考えていたのでしょうか。
ヨーロッパでたくさんの技術と知識を身に付けて帰国し、数々の成果を上げる。	念願のヨーロッパで学べるのだから、ひたむきに取り組もう。 留学で学んだことを日本のために生かそう。		
空襲を受けた名古屋で、懸命に救助活動に取り組む。 終戦後、眞は空襲で全てが灰になった病院の前で復興を誓う。 病院の再建、全国の病院や学会の設立など医学の復興と発展に力を尽くす。	戦争に負けず、大切な命を少しでも多く救おう。 病院や研究資料は灰になったが、また初めからやり直せばよい。医学の復興と発展のために力を尽くそう。	病院がなくなっても諦めずに、医学の復興と発展に全力を尽くそうとする眞の気持ちに気付かせる。	○「なに、初めからやり直せばよい」とつぶやいた一言に込められた強い決意とは、どのようなものだったのでしょうか。
苦難を乗り越えて医師として生き抜いた眞の手帳には、短歌が残されていた。	雨よ降れ 風も吹け吹け 日も照らせ わが行く道は 白き一文字	学習指導過程の最後に取り上げることで、余韻を残して授業を終わらせる。	

(3) 志教育との関連

- ・ 眞の生き方から、自分の夢を持ち、その実現に向かって困難があっても諦めずに努力していくことが大切であることを捉えさせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

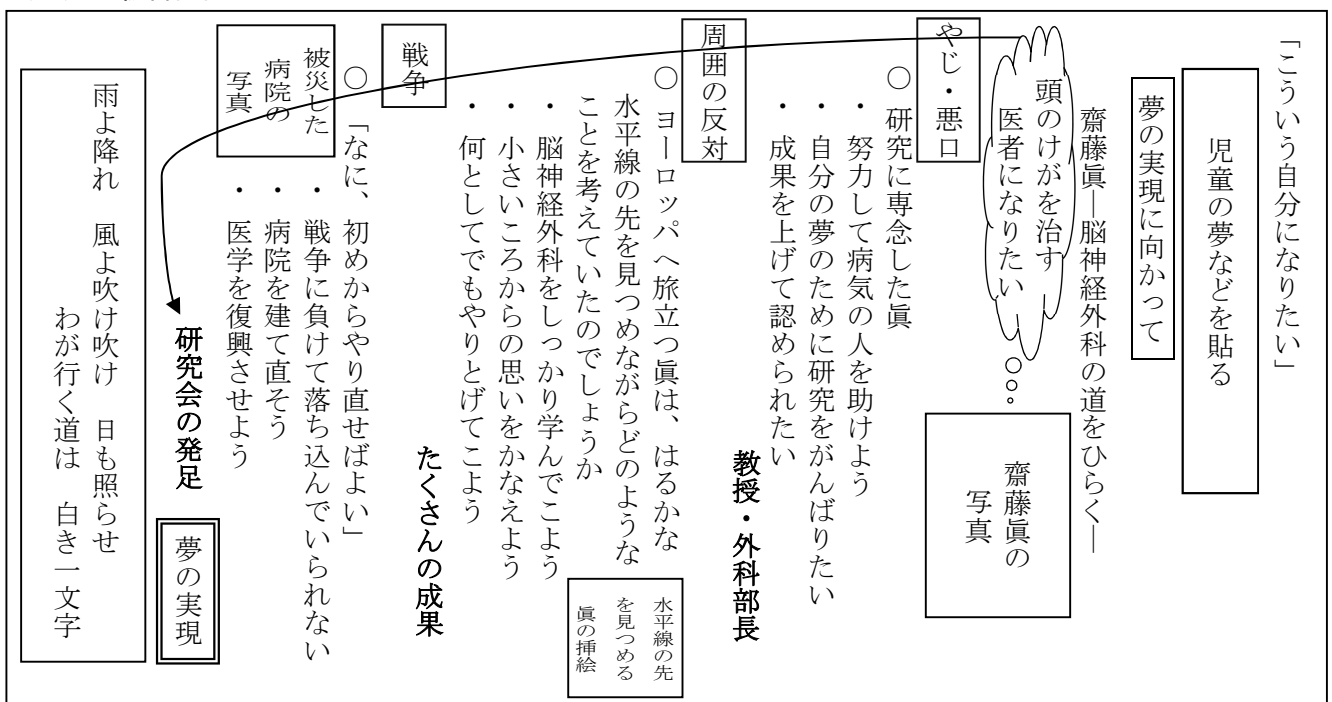
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 3分	<p>1 本時の学習内容を知る。</p> <p>○ 「こういう自分になりたい」という夢や希望を持っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロスポーツ選手になりたい。 ・ 保育士さんになりたい。 ・ 思いやりのある優しい人になりたい。 <p>○ 今日は、夢の実現に向かっていくということについて、齋藤眞という人の生き方を通して考えていきましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">夢の実現に向かって</div>	<p>◆ 事前のアンケートや志シートへ記入した結果を示し、本時の学習内容への興味・関心を高める。</p> <p>◆ 本時のねらいに齋藤眞の資料を使って迫っていくことを確認する。</p>
展開前段 27分	<p>2 資料を読んで、齋藤眞の思いや気持ちについて話し合う。</p> <p>○ 授業がうまくいかないとき、眞が仕事の合間も惜しんで研究に専念し始めたのには、どのような思いがあったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究をしっかりとって、病気やけがで困っている人を助けよう。 ・ だれに何を言われてもいい。私がしなければならないのは自分の力を高めることだ。 ・ 研究で成果を上げて、みんなに認めてもらおう。 <p>◎ ヨーロッパへ旅立つ眞は、はるかな水平線の先を見つめながらどのようなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 脳神経外科を日本に伝えられるようにしっかりと学んでこよう。 ・ ヨーロッパの優れた技術をしっかりと身に付けて、たくさんの人を助けたい。 ・ 小さいころからの思いをかなえられる。 ・ 周りの反対を押し切ってでも勉強に行くのだ。何としてでも目的を果たしてこよう。 <p>○ 「なに、初めからやり直せばよい」とつぶやいた一言に込められた強い決意とはどのようなものだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争に負けてくよくよしてはいられない。みんなで力を合わせて病院を建て直そう。 ・ 被害にあった人たちの分まで、生きている私たちが頑張ろう。 ・ 身に付けた知識を生かして、これまで以上に医学を発展させていこう。 	<p>◆ 資料は事前に読ませておき、難語句について説明しておく。</p> <p>◆ 眞の思いや気持ちを捉えさせるために、筋の流れを確認しながら学習を進める。(「眞の思い」「ぶつかる困難」「困難を乗り越えた後に得た成果や業績」等)</p> <p>◆ 仕事うまくいかなくとも、医師としての自分の力量を高めようと努力する眞の思いに気付かせる。</p> <p>◆ 「周囲に認めさせたい」「周囲は関係なく自分を高めたい」という対立した意見が出ても、どちらが正しいかにとらわれずに研究に向かう眞の思いに気付かせる。</p> <p>◆ たくさんの命を救いたいという思いが留学への原動力になっていることを押さえさせる。</p> <p>◆ 全てを投げ出しても、自分の思いを果たすために、留学しようとする眞の強い気持ちに気付かせる。</p> <p>* 眞の、全てを投げ出しても夢の実現に向かおうとする強い気持ちに共感することができたか。(ワークシート、発言)</p> <p>◆ たとえ病院がなくなっても諦めずに、医学の復興と発展に全力を尽くそうとする眞の気持ちに気付かせる。</p> <p>◆ その後、眞は研究会を発足して幼い頃の夢を実現させたことを確認する。</p>

<p>展開後段 10分</p>	<p>3 自分たちの生活について振り返る。</p> <p>○ 自分の夢や希望の実現には、どのような困難やつらいことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 練習を頑張らなければならない。 ・ 勉強して、資格を取らなければならない。 <p>○ 夢の実現に向かって、これからどのように生活していきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなことに自分から進んで挑戦していきたい。 ・ 毎日できることをこつこつ積み重ねたい。 ・ 大変なことにぶつかっても諦めずに頑張りたい。 ・ 周りの人にいつも思いやりを持って接していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 事前のアンケート等も活用しながら、自分の夢や希望を実現するためにどのようなことがあるのか考えさせる。 ◆ 自分の理想に近づいていくために、具体的にできそうなことを考えさせ、これからの生活に生かしていこうとする気持ちを持たせる。 ◆ 交流や発表の仕方を工夫することで、たくさんの友達の考えを共有させて本時のねらいへと迫らせる。 * 齋藤眞の生き方から、努力することの大切さを感じ、自分も夢の実現のために頑張ろうという思いを持つことができたか。(ワークシート・発表)
<p>終末 5分</p>	<p>4 本時の学習を振り返り、感想を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 眞のように、諦めずに頑張りたい。 ・ 夢に向かって努力したい。 <p>5 齋藤眞の短歌を読む。 「雨よ降れ 風も吹け吹け 日も照らせ わが行く道は 白き一文字」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 短歌を音読し、余韻を残して授業を終わらせる。 ◆ 必要に応じて短歌の「雨」「風」「日」を「困難」、「白き一文字」を「白くまばゆい道が真っ直ぐに伸びている」等と、児童の実態に合った補足の説明をすることで、短歌に込められた眞の心情をつかませる。

(5) 本時の評価

- ・ 「齋藤 眞」の生き方から、夢の実現に向かって困難に負けずに立ち向かっていくことの大切さに気づき、これからの自分の生活に生かしていこうという思いを持つことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- 資料が長文であるために事前に読ませておき、展開部にかかる時間を十分に確保する。また、その際に難語句についても説明しておくことで、資料への理解を促す。
- 事前のアンケートや志シート等へ記入したものを活用し、児童の思いを掲示することで、学習への関心を高める。
- 展開前段では中心発問で書く活動を設定することで、眞の気持ちについてじっくり考えさせる。
- 展開後段では交流や発表の仕方を工夫することで、たくさんの友達の考えを共有させて本時のねらいへと迫らせる。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

<p>○ 夢の実現に向けて、いろいろな生活をしてみたいですか。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;"></div>	<p>○ ヨーロッパへ旅立つ僕は、はるかな水平線の先を見つめながらこのように話を聞いていたのでしょうか。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> 水平線の先を見つめる 夢の描き出し </div>	<p>夢の実現に向けて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 番号 名前 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> 夢の実現に向けて </div>
--	---	--

(2) 事前アンケートの例

<p>○ 右の欄に書いた夢や希望を実現するために、いろいろな困難や悩みを乗り越えたいと思いますか。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;"></div>	<p>○ あなたは将来、「こんな仕事に就きたい」「こんな大人になりたい」という夢や希望をもっていますか。(ま)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 夢や希望 その理由 </div>	<p>アンケート</p> <p>(このアンケートに記入する際は、名前を出して他の人に教えないことをお願いします。正直に書いてください。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 番号 名前 </div>
--	---	---

小学校第5学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 伝統を引き継いで ○ C-(17) 伝統と文化の尊重
 ・ A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志

- 2 資料 「佐藤 忠太郎 — 伝統の復活と発展をめざして —」
 (出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.39 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

郷土の伝統と文化を大切にしたい、佐藤忠太郎の努力を知り、自分たちの郷土を愛し、郷土の発展を願う心情を高める。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
白石中学校に入学し同級生と夢を語り合う。	東京に出て科学を学ぼうと思う。 白石を発展させるような産業を起こしてやろうじゃないか。	白石を発展させたいと思っていることに気付かせる。	
両親を失い、地元に残らなければならない。			○地元に残ることになった忠太郎は、どんなことを考えましたか。
視察に行った長野県で現地の人から「足下を見つめ直しなさい」と助言を受ける。	新しい産業を起こそうと思ったが、足下を見つめ直してみたら、白石紙布織りがあったじゃないか。		
お年寄りの家々を回り、実際の織り方を聞き、資料を集め、昔ながらの工程で白石紙布を作ることに専念した。	ふるさとの誇らしい産業である紙布織りを自分の手で守っていきたい。 新しい産業を起こすのではなく、白石の産業を守っていくことで地域を発展させたいと考えたことを押さえる。		
戦後の大きな社会の変化を迎え、紙布の需要が減り、工場を閉めることになる。	最初は、何もする気になれなかったが、白石の産業を守りたいという強い思いが諦めない気持ちにつながる。	白石の産業を守ることが諦めずに、よい方法を考えようとしていることに気付かせる。	○工場を閉めることになった忠太郎はどう思いましたか。
ふるさとの大地で生まれ育つ美しい自然の物や、昔から伝わっている物を探し回った。	昔の物を引き継ぐだけでなく、新しい時代に合った物を作り上げよう。	新しい時代に合った工夫をすることで地元の伝統産業を守っていかうとする気持ちに気付かせたい。	◎忠太郎は、どのような気持ちで白石の自然や昔から伝わっている物を探し回ったのでしょうか。

白石紙布を復活させただけでなく、白石の自然と伝統を生かした白石紙子を生み出した。	心は大変豊かで満ち足りた生涯だった。	暮らしぶりは楽でなくても、精一杯に頑張ったことで達成感を得たことに気付かせたい。
--	--------------------	--

(3) 志教育との関連

- ・ 佐藤忠太郎の心情を共感的に捉えさせ、自分自身はふるさとの発展のためにどのような生き方をすればよいのかを考えさせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	1 事前アンケートの結果を見て、周囲の友達が郷土に対してどのような思いを抱いているかを確認する。 2 白石紙子の実物や佐藤忠太郎の写真を見て、p. 39の最初の段落を読む。	◆ 模造紙に書いて、簡潔に提示する。 ◆ 白石紙子の実物を見せ、興味・関心を持たせる。
展開 前段 22分	3 資料について話し合い、佐藤忠太郎について知る。 ○ 地元に残ることになった忠太郎はどんなことを考えましたか。 ・ 白石を発展させるような産業をおこしてやろうじゃないか。 ・ ふるさどを見つめ直そう。 ・ お年寄りから紙布織りについての話を聞いて、白石の紙布織りってすごいな。 ・ ふるさとにこんなにすごいものがあるんだな ○ 工場を閉めることになった忠太郎はどう思いましたか。 ・ ショックだけど、諦めないぞ。 ・ 美しい白石の自然を生かそう。 ◎ 忠太郎は、どのような気持ちで白石の自然や昔から伝わっている物を探し回ったのでしょうか。 ・ 自分が育ったふるさとが好きだから。 ・ ふるさどには、きれいな自然があるから生かしたい。 ・ 白石のよさを生かせるものがまだまだあるはずだ。	◆ 資料の内容が理解できるように、あらすじを確認しながら読み進める。 ◆ 白石を発展させたいと思っていることに気付かせる。 ◆ 自分の足下を見つめたり、お年寄りの話を聞いたりして、東京に行かなくても、故郷にすばらしいものがあることに気付いたことをつかませる。 ◆ 工場を閉めるという困難の中でも、白石の産業を守ることを諦めずに、何か方法を考えようとしていることに気付かせる。 ◆ 白石のもので、白石を発展させたいという気持ちに気付かせる。

展開 後段 15分	4 忠太郎の生き方から考えたことを基に、これからの自分の生活について考える。	◆ 忠太郎の生き方を学んだ上で、ふるさとのために何かできるかを考えさせる。
	○ みなさんはふるさとのためにどんなことをしていきたいですか。ワークシートに記入しましょう。 ・ そばを更においしく食べられる料理の仕方を考えたい。 ・ ○○市町村の自然の美しさを世界中の人に伝えたい。	◆ 自分の考えをしっかりと書かせ、意図的に指名をして子供たちの考えを共有させ、考えを広げたり深めたりさせる。 * 自分たちの郷土を愛し、郷土の発展を願う気持ちや夢を持つことができたか。(発表、ワークシート)
終末 3分	5 地元の地域おこし協力隊の活動について知る。	◆ それぞれの地域で地域のために活動している人たちがいることを伝える。

(5) 本時の評価


- ・ 郷土の伝統と文化を発展させようと努力した「佐藤 忠太郎」の気持ちを考えることができる。
- ・ 自分たちの郷土を愛し、郷土の発展を願う気持ちや夢を持つことができる。

(6) 板書計画

・ 地元の特産物を広めたい

・ 自然の美しさを伝えたい

地元の
写真



忠太郎
の写真

白石紙子を
生み出す

蔵王の
写真

白石の自然や昔から
伝わっている物を
探し回った

工場を
閉める

あきらめないぞ

白石に残る

白石を
発展させるぞ

忠太郎
の写真

白石市

佐藤忠太郎

4 指導上のポイント

- ・ 通読した後、指導者がキーワード等を記した短冊を活用して資料のあらすじを説明するなどして、読み取りに時間を掛けないように工夫する。
- ・ 展開前段では、忠太郎がふるさとの伝統産業を発展させ、白石紙子を生み出すまでの努力をつかませ、展開後段では、自分は地域のために何ができるのかを考えさせる。

5 参考資料

(1) 事前アンケートの例



〇〇町についてのアンケート
年 組 ()

みなさんの住む〇〇町には、自然、食べ物、公園、行事など、すてきなことがいっぱいありますね。

みなさんは〇〇町のすてきなところをさらによくしていくためにどんなことをしてみたいですか。また、どんな〇〇町にしていきたいですか。

例を参考にできるだけくわしく考えて書いてみて下さいね。

(例 ・そばをさらにおいしく食べられるように料理の仕方を考えたい。
例えば・・・
・〇〇町の自然の美しさを世界中の人に知ってもらうために、良い写真をたくさん撮りたい。そして・・・
・日本中の人からうらやましがられるような安全で便利で暮らしやすい町を作りたい。そのために・・・)





(2) ワークシートの例

〇〇町のために
年 組 ()

佐藤忠太郎さんは、蔵王山や白石川を見ながら、ふるさとである白石の伝統を守るために努力しましたね。

みなさんの住む〇〇町にも、自然、食べ物、公園、行事など、すてきなことがいっぱいあります。

佐藤忠太郎さんの話を読み終えた今、改めて、〇〇町のすてきなところをさらによくしていくために、みなさんはどんなことをしてみたいですか。また、どんな〇〇町にしていきたいですか。



小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

1 主題名 より高い目標に向かって ○A-(5) 希望と勇気、努力と強い意志
・B-(8) 感謝

2 資料 「佐藤 忠良 — 技を磨き続けた職人彫刻家 —」
(出典：みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.43 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

世界的に高い評価を受けながらも、よりよい作品を求めて地道な努力を続けた「佐藤 忠良」の生き方について考えることを通して、高い目標に向かって努力しようとする心情を育てる。

(2) 資料の分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
世界的な彫刻家佐藤忠良は、様々な賞を辞退し、自らを職人と呼び、晩年まで制作を続けた。	彫刻家のやっているのは、粘土こねて、恥をかいて、汗かいて、失敗して、やり直す、職人の仕事。		
父を亡くした苦しい生活の中でも、母は「専門家に学び絵描きになりたい」という忠良の気持ちを尊重し東京に送り出す。	絵描きになりたい。東京に出て、専門家のもとで、ちゃんと絵を学びたい。		
日本を代表する彫刻家になった。	ロダンなどの近代彫刻に出会い、その美しさに心打たれた。		
大学の教授になった忠良は、学生に「恥かけ、汗かけ」を伝え、自ら体现した。	頭で考えるだけでなく、体を動かし、体験から学ぶことの大切さと、失敗を恐れず挑戦することの大切さを伝えたい。 かぶを引いているかっこうをしては絵を描き、描いてはまた鏡の前に立つ。 完璧に見える作品も忠良には納得がいかず、何度も何度も壊して作り直した。	常に自分の納得のいく作品を求めて地道な作業を続ける忠良の姿勢や気持ちを感じ取らせる。	○何度も何度も絵を描き直す忠良を見て胸がいっぱいになった編集者は、心の中でどんなことを思っていたのでしょうか。 ◎忠良は、どんなことを考えながら何度も何度も完成間近の作品を作り直したのでしょうか。
《母の顔》という作品には、「手紙かけ」の言葉に込められた思いが強く感じられる。	親や周りで支えてくれている人への感謝を忘れず、感謝の思いを表現することの大切さを伝えたい。		
「佐藤忠良記念館」は、彫刻家としてだけではない忠良の魅力を伝え、今も私たちに人として大切なことを語りかけてくる。		地道な努力をすることの大切さに改めて気付かせて、夢や目標の達成に向けてこれからどのように頑張っていきたいか、具体的に考えさせる。	○自分の夢や目標に向かって、これからどのように取り組んでいきたいですか。

(3) 志教育との関連

日本を代表する彫刻家になった後も、自分の納得のいく作品を求めて地道な作業を繰り返す忠良の姿について考えさせることを通して、より高い目標に向かって粘り強く取り組もうとする気持ちを高める。【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 今頑張っていることについて発表し合う。</p> <p>○ 今、どんなことを目指して、どのように頑張っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ ・ 勉強(算数・漢字等) ・ 習い事(バスケットボール, 野球, バレエ, ピアノ, 水泳, 習字, ダンス 等) ・ 将来の夢(建築家) 等 <p>2 本時の学習について知る。</p> <p>○ 今日、佐藤忠良の資料を基に、「高い目標に向かって地道に努力する」ということについて考えていきます。</p>	<p>◆ 事前にアンケートを取り、今の目標や目標達成に向けて児童が頑張っていることを把握しておく。</p> <p>◆ 事前アンケートの結果を基に意図的指名をしたり、アンケート結果をまとめたものを提示したりすることで、一人一人が目標を持って頑張っていることに気付かせるようにする。</p>
展開 前段 25分	<p>3 本時の資料の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界的に高い評価 ・ 様々な賞を辞退 ・ 彫刻家＝職人 ・ 苦しい生活 ・ 日本を代表する彫刻家 ・ 「恥かけ、汗かけ、手紙かけ」 <p>4 「恥かけ、汗かけ」を体現した忠良について考える。</p> <p>○ 何度も何度も絵を描き直す忠良を見て胸がいつぱいになった編集者は、心の中でどんなことを思っていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんなに何度も描き直していたんだ。 ・ 自分が納得いくまで諦めないんだ。 ・ こんなに有名になっても、もっとよいものを作ろうとしているんだ。 <p>◎ 忠良は、どんなことを考えながら、何度も何度も完成間近の作品を作り直したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まだ、ちょっと違う。 ・ 本当にかぶを抜いているように見せたい。 ・ かぶを抜いている自然な姿にしたい。 ・ 自分の納得のいく作品にしたい。 ・ まだ完璧ではない。 	<p>◆ 事前に資料を読ませておく。忠良がどういう人物か、資料の内容を短冊にまとめたものを掲示する。</p> <p>◆ 「恥かけ、汗かけ」を中心に考えていくことを伝える。</p> <p>◆ すでに先生と言われる立場になっていることを確認し、編集者の気持ちを想像させる。</p> <p>◆ 編集者の気持ちが想像できない児童には、ペアやグループで意見交換をして考えさせる。</p> <p>◆ 「おおきなかぶ」のレリーフの写真を提示し、繊細な表現やレリーフの大きさから、莫大な時間がかかったことに気付かせる。</p> <p>◆ よりよいものを求めて制作に向かう忠良の気持ちに迫らせるため、以下の点を押さえる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「きりがなくなって、なかなか仕上がらない」と忠良が言っていること。 ② 近くで見ている人には、完璧な作品に見えること。 ③ 忠良には納得がいかないこと。 ④ 完成間近の作品であること。

<p>展開前段</p> <p>25分</p>	<p>5 「手紙かけ」について知る。</p>	<p>◆ 考えを深めたり広げたりするためにペアやグループで相談する時間を取る。</p> <p>◆ 忠良のよりよいものを求める強い気持ちに更に迫るため、91歳という高齢であること、既に世界的に高い評価を得ていることを確認する。</p> <p>* 自分の納得のいく作品を求めて、地道な作業を続ける忠良の姿勢や気持ちを感じ取ることができたか。 (発言、ノート又はワークシート)</p> <p>◆ 「手紙かけ」の言葉に簡単に触れ、忠良は感謝の気持ちも忘れなかったことを押さえる。</p>
<p>展開後段</p> <p>10分</p>	<p>6 忠良の生き方から学んだことを、これからの自分にどう生かすかを考える。</p> <p>○ 自分の夢や目標に向かって、これからどのように取り組んでいきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで以上に、毎日の復習予習をきちんと行うようにしたい。 ・ 今まで、自分では一生懸命頑張ってきたつもりだったけど、忠良に比べると、まだまだだった。もっと完璧を目指したい。 ・ 野球の練習では、一つ一つのプレーを確実に行うように頑張りたい。 ・ すぐに諦めるところがあったので、これからはもっと根気強く取り組みたい。 ・ 親への感謝を忘れずに、バレーボールの基礎練習をきちんと行うなど、小さな努力を大切にしていきたい。 	<p>◆ 事前のアンケートを振り返らせ、これから自分の夢や目標を実現させるために、どのように取り組んでいきたいかを具体的に考えて書かせるようにする。</p> <p>◆ 机間指導をしながら、参考になる児童の考えや思いを簡単に紹介することで、自分の考えや思いをうまく文に書けない児童の手掛かりにさせる。</p> <p>◆ 自信を持って発表できるように、ペアやグループで自分の考えを伝え合った後で、学級全体の話し合いにつなげる。</p> <p>◆ 意図的指名により、多様な考えに気付かせる。</p> <p>◆ 感謝の気持ちを書いた児童の考えも認め、紹介するようにする。</p> <p>* 忠良の生き方から学んだことを生かして、自分の夢や目標を達成するために、今後どのように取り組んでいくか具体的に考えることができたか。 (発言、ノート又はワークシート)</p>
<p>終末</p> <p>5分</p>	<p>7 学習を振り返り、自分の心の変化に気付く。</p> <p>○ 今日の授業で感じたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっと努力したいという気持ちが高まった。 ・ 地道な努力を大切にしようという気持ちになった。 	<p>◆ 事前のアンケートで書いたことと、これから夢や目標に向かってどのように取り組んでいきたいか書いたことを比較し、自分の心の変化を実感させるとともに、地道に努力しようとする気持ちを高めるようにする。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 佐藤忠良の生き方に触れることを通して、夢や目標に向かって地道な努力をすることの大切さに改めて気づき、自分は夢や目標達成のためにこれからどのように取り組んでいきたいか、具体的に考えることができる。

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 人々の幸せのために ○D-(22) よりよく生きる喜び
・A-(5) 希望と勇気、努力と強い意志

- 2 資料 「佐藤 基 — インシュリンを発見する —」
(出典：みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.47 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

医師として活躍した「佐藤 基」が、夢に向かって努力し、常に人々の幸せを願い続けた生き方を通して、人として生きる喜びを感じ、よりよく生きようとする態度を育てる。

(2) 資料の分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
小さい頃から勉強熱心で医者になるために大学へ入学する。	病気で苦しむたくさんの人を助けた。		
医学部助手として仕事を始める傍ら、熊谷先生の研究チームに入り、研究と診察を続ける。	毎日やりがいのある日々。 目の前で患者が亡くなっていく。自分は無力だ。 苦しんでいる患者を救いたい。		
2年経っても思うような研究成果は出せなかった。	研究を続けていても糖尿病の治療方法が見つからなければ無駄になってしまうのではないか。	医師の仕事と研究を両立させてきたことにも目を向けさせ、迷いが生じている基に思いを寄せて考えるようにする。	○2年の月日が流れても研究成果が出ない時、基はどのようなことを考えたでしょうか。
大正10年、インシュリンという成分を発見。	これで、多くの患者さんを救うことができる。(人々の幸せを願う気持ちの表れ①)		
手続きの関係でノーベル賞を逃した。	賞は関係ない。私は、私にできることを続けよう。		
その後も医師として仙台空襲にも負けずに患者の治療を続けた。	どんな現状であっても目の前にいる患者を救いたい。 そのためには、どんなに遠くても、どんなに遅くても関係ない。 (人々の幸せを願う気持ちの表れ②)	自分がどのような状況にあっても患者のためになることをし続けた心の強さに気付かせる。	○仙台空襲で病院の建物がない中、どんな気持ちで診察をしていたのでしょうか。
昭和43年73歳の生涯を終えた。		医師として常に人々の幸せを願ってやまない基の生き方を感じ取らせる。	◎基が、このような困難を乗り越えることができた「原動力」は何だったのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 人が努力するのは名誉のためでなく、その先にある人間としてよりよく生きようとする思いが原動力となることを捉えさせる。【もとめる】
- ・ 今自分が持つ力を、これからの自分の生活や将来の目標のために生かしていこうとする気持ちを高める。【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 5分	<p>1 自分の経験を振り返る。</p> <p>○ みなさんは、将来の夢に向かって、今どんなことを頑張っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強を頑張っている。 ・ お菓子作りの勉強をしている。 ・ 野球の練習を頑張っている。 <p>2 本時の学習について知る。</p> <p>○ 今日は、自分の夢に向かって力を尽くした、基の生き方について考えていきます。</p>	<p>◆ 事前アンケート等も活用し、スムーズな導入ができるようにする。</p> <p>◆ 教材文を事前に読ませておいたり、特定の読む部分を精選したりすることで時間を確保する。</p>
展開 前段 25分	<p>3 本時の資料の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県 角田市出身 ・ 医師として活躍 ・ 糖尿病治療に役立つ「インシュリン」を発見 ・ ノーベル賞をもらえるほどの偉業 <p>4 「佐藤 基」の教材文を読んで話し合う。</p> <p>○ 2年の月日が流れても研究成果が出ない時、基はどのようなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もうこのまま成果が出ないのでは。 ・ 体力的にもつらい、やめたい。 ・ 患者さんのために諦められない。 ・ どうしたらいいのだろう。 <p>○ 仙台空襲で病院の建物がない中、どんな気持ちで診察をしていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困っている患者さんを救いたい。 ・ 自分の仕事は、医師として命を救うことだ。 ・ 仙台の人たちを助けてたい。 <p>◎ 基が、このような困難を乗り越えることができた「原動力」は何だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病気の患者を救いたいという思い。 ・ 患者さんを笑顔にしたい。 ・ 自分の弱さに負けない強い気持ち。 ・ あきらめない思い。 ・ 多くの患者さんを亡くした悔しさ。 	<p>◆ 本人の肖像写真等を活用する。</p> <p>◆ 糖尿病やインシュリン、ノーベル賞などの用語について説明をする。</p> <p>◆ 医師の仕事と研究を両立させてきたことにも目を向けさせ、迷いが生じている基に思いを寄せて考えるようにする。そこから、弱さを乗り越えようとする姿に気付かせる。</p> <p>◆ 戦争という大変な状況の中であっても診察を続け、患者を助けたいという心の強さに迫る。</p> <p>◆ 基が目指した生き方、誇りある生き方について考えさせる。</p> <p>◆ 自分の考えたことをペアでも交流し、多様な考えに触れさせる。</p> <p>※ 人々の幸せを願い続けた基の生き方について考えることができたか。 (発言・ワークシート)</p>

<p>展開後段 10分</p>	<p>5 自分を見つめ、自己の生き方について考える。 ○ 今日の学習を振り返って、これから自分の夢や希望をかなえるために大切にしたいことは何ですか。 ・ 自分の夢に向かってさらに努力したい。 ・ 基のように人々の幸せを願って仕事を頑張りたい。 ・ 誰かのためになる生涯を送りたい。 ・ 夢に向かって諦めずに頑張りたい。</p>	<p>◆ 基の生き方から学んだことはどんなことかと投げ掛け、その中から考えさせる。 ◆ ペアでの意見交流など、他者の考えにも触れることで、他者理解につなげる。 ※ 自分との関わりで、よりよく生きようとする様々な生き方について考えを広げることができたか。 (発言・ワークシート)</p>
<p>終末5分</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。 ・ ワークシートに学習の振り返りを書く</p>	<p>◆ 展開後段で出された意見を大切に余韻の残る終わり方にする。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 医師として活躍した「佐藤 基」が、夢に向かって努力し、常に人々の幸せを願い続けた生き方を通して、人として生きる喜びを感じ、よりよく生きるために大切なことを考えることができる。

(6) 板書計画

4 指導上のポイント

- ・ 「糖尿病」や「インシュリン」など、医学用語の理解が難しいので、教師側が簡単に説明する。
- ・ 「ノーベル賞」について事前の知識がない場合は、みんなが憧れる賞であることを簡単に説明する。
- ・ 家族に糖尿病患者がいたり、児童自身が糖尿病であったりする可能性も考慮して、現在は薬のお

かげで患者さんも元気に過ごすことができる点をしっかりと伝える。

- ・ 夢に向かって努力することは人間を強くすることや、人々の幸せを願ってやまない佐藤基の生き方を感じ取らせることで、D-(22)の内容項目に関連付けていきたい。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

道徳ワークシート

佐藤 基

「インシュリンを発見する」

名前 ()

◎佐藤 基が、困難を乗り越えることができた「原動力」は何だったのでしょうか。

○自分の夢や希望をかなえるために、大切にしたいことは何ですか。

○今日の学習をふりかえろう。

(2) 掲示用資料の例

- ・ 先人集に掲載されている、佐藤基の写真やイラストなどを使用し、児童が気持ちを考えたり、自分の考えを持ったりする際の手助けとしたい。

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 夢を実現するために ○A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
・C-(17) 国や郷土を愛する態度

- 2 資料 「白鳥 省吾 - ふるさとを愛した詩人 -」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.51 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

「白鳥 省吾」の生き方について考え, 希望や夢に向かって, 諦めずに努力しようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
省吾の詩碑と省吾についての紹介			
中学時代に藤村詩集に影響を受け作った詩を文芸誌に投稿するほど詩にのめり込んでいった。	詩を書くことがとても楽しくなってきた。もっとすばらしい詩を書いて, たくさんの人に読んでもらいたい。	省吾が友達の影響を受けたり, 文芸誌に投稿した詩が1等に入選したりしたことで, 詩に対する情熱が高まっていったことに気付かせる。	○中学時代, 文芸誌に投稿した詩が1等に入選した省吾はどんなことを思ったでしょう。
大学受験を失敗し, やる気を失った省吾のところに友人の正男から早稲田大学への誘いの手紙が届いた。	詩を書くには早稲田しかない。自分も早稲田大学に入り, さらにすばらしい詩を書こう。	やる気を失っていた省吾が, 友人からの手紙で, 詩を書きたいという意欲が高まっていったことに気付かせる。	○友人の正男からの手紙を読んだ省吾はどんなことを思ったでしょう。
大学時代に家計の苦しさから大学を退学するよう言われたが, 節約をしながら文学を学び続けた。	家計が厳しいことは知っていたが, 日本一の詩人になるためには退学できない。詩人になる夢を諦めたくない。	家計が厳しいことを理解していたが, 何とか夢を実現させたいという省吾の気持ちに共感させる。	◎父からの手紙にじっと目を向けた省吾は, どんなことを考えていたのでしょうか。
大学卒業後, 詩集や評論集を出版し, 詩人として認められるようになった。日常使っている言葉で, あるがままに自由に表現することを貫き通した。	念願の詩集を出版し, 詩人として認められ, 詩人になる夢が叶えられた。ふるさとを歌った詩をたくさん書こう。		

(3) 志教育との関連

- 省吾が詩人になるまでの生き方を知り, 自己の夢の実現に向けて生き方を考えさせる。
【もとめる】
- 省吾の生き方から学んだことを生かし, 夢を実現させるために最後まで諦めずにやり抜こうとする強い意志と心情を持たせる。【はたす】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 5分	1 校歌を聞き、作詞者である白鳥省吾について関心を持つ。 ・ 自分たちの学校の校歌を作詞した人だ。 2 省吾の略歴を紹介する。 ・ 民主詩派の詩人	◆ 校歌の1番の途中まで聞かせ、白鳥省吾を児童にとってより身近な存在であることに気付かせる。 ◆ 肖像画を提示しながら、どんなことをした人かつかませる。
展開 前段 25分	3 本時の資料「白鳥 省吾」を読む。 4 白鳥省吾の生き方について考え、話し合う。 ○ 中学時代、文芸誌に投稿した詩が1等に入選した省吾はどんなことを思ったでしょうか。 ・ 詩をいろいろな人に読んでもらいたい。 ・ もっとすばらしい詩を書きたい。 ・ 詩人になりたい。 ○ 友人の正男からの手紙を読んだ省吾はどんなことを思ったでしょうか。 ・ 早稲田に行くしかない。 ・ 早稲田で勉強をして、もっとすばらしい詩を書きたい。 ・ 一人前の詩人になりたい。 ◎ 父からの手紙にじっと目を向けた省吾はどんなことを考えていたのでしょうか。 ・ 家族のことを考えると諦めるしかない。 ・ 自分のためか家族のためか、どっちにすればいいんだろう。 ・ 家族には申し訳ないが、大学に残って勉強したい。 ・ 詩人になる夢を諦めたくない。 ・ 大学でたくさん勉強して一人前の詩人になってからふるさとに帰りたい。	◆ 教師が範読する。(p. 51, 12行目～p. 53, 12行目まで 約4分) ◆ 友人の影響を受け、更に投稿した詩が1等に入選したことで、省吾が詩を書くことにのめり込んでいったことに気付かせる。 ◆ 大学受験の失敗などで落ち込んでいた省吾が、詩を書くことに再び意欲を持っていったことに気付かせる。 ◆ 夢を実現させるための難しさや、最後まで諦めずに努力しようとする思いについて話し合うことができるように考えを揺さぶるような発問を工夫する。 ◆ 友達のよい考えをワークシートにメモさせることで、思考の深化を図る。
展開 後段 10分	5 省吾の生き方から学んだことをこれからの自分にどう生かすかについて考える。 ○ 省吾の生き方から学んだことや自分の夢を実現するために生かしたいことを書きましょう。 ・ 多くの人と交流して感性を磨き、自分の夢を叶えたい。	◆ 今の自分とこれからの自分について見つめ直し、夢を実現させる自分をイメージしてワークシートにまとめさせる。

	<ul style="list-style-type: none"> 諦めずに努力することが大切であることを学んだ。 つらいことがあっても強い心で頑張り続けたい。 	<p>※ 前向きに努力し続けることの難しさや困難にあっても努力を続けようとする大切さに気づき、自分も夢に向かって努力しようという気持ちを持つことができたか。 (ワークシート, 発表)</p>
終末 5分	<p>6 省吾の功績について伝え、校歌を最後まで聞く。</p> <p>○ 省吾が愛したふるさとや自然を思い浮かべながら聞きましょう。</p>	<p>◆ 校歌の余韻に浸って学習を終えられるようにする。</p>

(5) 本時の評価

- 前向きに努力し続けることの難しさや困難にあっても努力を続けようとする大切さに気づき、自分も夢に向かって努力しようという気持ちを持つことができる。

(6) 板書計画

<p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: 24px; font-weight: bold;">夢を実現するために</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 父からの 手紙に つと目 向けて る絵 </div> <p style="font-size: 18px;">家族のことを考えてあきらめる 自分のためか、家族のためかどっち にしよう 大学に残って勉強したい</p> <p style="font-size: 18px;">詩人なる夢をあきらめたくない 一人前の詩人になってふるさとへ 帰る</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 友人の正男からの手紙を読んだ省吾 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 文芸誌に投稿した詩が一等に入選した省吾 </div>	<p style="font-size: 24px; font-weight: bold; text-align: center;">白鳥省吾</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 白鳥省吾 の肖像画 </div> <p style="text-align: center;">校歌の作詞者 詩人</p>
---	---	---	--	---

4 指導上のポイント

- 自校の校歌の作詞者が白鳥省吾である場合、導入時に校歌を聞かせることで、白鳥省吾がより身近な存在であることに気付かせ、資料に対する興味・関心を高める。また、自校の校歌の作詞者が省吾でない場合は、宮城県内の多くの校歌を作詞した人物であることを伝える。
- 資料は長文であるため、省吾の中学生時代から範読する。また、中心発問に関わる大学時代まで読み、児童の考えを書かせ、話し合わせることで、よりねらいに迫ることができるようにする。
- 夢を実現させるための難しさや、最後まで諦めずに努力しようとする思いについて主体的に話し合うことができるように、中心発問について考えさせた後に互いの考えをペアやグループで交流させてもよい。
- 終末では、自校の校歌の作詞者が白鳥省吾でない場合は、白鳥省吾の功績について書かれている資料 p. 53, 13 行目から最後までを範読し、余韻を持たせて終わらせる。

5 参考資料
ワークシートの例

白鳥省吾 名前()

○ 父からの手紙にじっと目を向けた省吾は、どんなことを考えていたのでしょうか。

○ 友達の考えを書いてみましょう。

父からの手紙にじっと目を向けている絵

○ 省吾の生き方から学んだことや、自分の夢を実現させるために生かしたいことを書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

中学校第1学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 困難や失敗を乗り越える心 ○A-(4) 希望と勇気, 克己と強い意志
 ・C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重,
 郷土を愛する態度

- 2 資料 「鈴木 哲朗 - 新しい漁業への挑戦 -」
 (出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.55 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

希望を持ち、困難や失敗を乗り越えて新しい漁業の形を作り出した「鈴木 哲朗」の生き方に触れ、諦めずに強い意志でやり抜こうとする意欲を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
本吉郡唐桑村の旧家に生まれ、家族の反対を押し切ってアメリカへ留学する。	いつかこの目で世界を見てみたい、アメリカで学びたいという思いを強く抱く。		
帰国後、アメリカで学んだ知識を生かし、巾着網の改良や水産学の研究などに熱心に取り組み、私財を投じる。	アメリカで学んだことを生かし、漁民の生活を向上させたい。ふるさとの水産業をもり立てたい。	ふるさと振興のために尽力したいと願う哲朗の心情を捉えさせる。	○哲朗が私財をつぎ込んでまで巾着網の改良や加工場の建設へと次々に取り組んでいったのは、どんな思いからでしょうか。
哲朗の姿を心配する声や忠告する声が聞かれ、考え込む日が多くなる。	失敗もあるし、金もかかるが、それを恐れているは何もできない。誰かがやらなければならない。	批判や忠告を受け止めつつも、新しいことに挑戦し続ける哲朗の強い意志と希望に燃える熱い思いに気付かせる。	○寄せては返す波の音を聞きながら哲朗は何を考えていたのでしょうか。
今まで以上に研究や仕事に励み、蒸気船の購入や遠洋漁業への挑戦など、多くの事業を成功させ、漁業振興と水産業発展の礎を築く。			◎今まで以上に研究や仕事に励むようになり、哲朗を前向きな気持ちにさせたものは何だったのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 困難にくじけることなく、夢の実現に向け努力し続けることが大切であることを理解させる。
【もとめる】
- ・ 鈴木哲朗の生き方からヒントを得て、より充実した毎日を送るために、自分はどうすればいいかを具体的に考えさせる。
【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 8分	<p>1 夢や希望があっても、困難や失敗により諦めてしまうことを想起させる。</p> <p>○ 目標に向かって努力しても思うようにいなくなってきたとき、心に浮かぶのはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最悪 ・ 悔しい ・ 何が悪かったのだろう ・ もっと努力すれば良かった 	<p>◆ これまでの体験から、どんな気持ちだったかを思い出させる。(個：挙手)</p>
展開 前段 25分	<p>2 資料を読み、話し合う。</p> <p>○ 哲朗が私財をつぎ込んでまで巾着網の改良や加工場の建設へと次々に取り組んでいったのは、どんな思いからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの人を豊かにしたい ・ ふるさとに貢献したい ・ もっと多くの魚を捕りたい <p>○ 寄せては返す波の音を聞きながら哲朗は何を考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が間違っていたのだろうか ・ 自分の思いがみんなに伝わっていない ・ 悲しい ・ 不安 ・ どうしよう <p>◎ 今まで以上に研究や仕事に励むようになり、哲朗を前向きな気持ちにさせたものは何だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰かがやらなければならない ・ 時代に合ったやり方が必要だ ・ 失敗を恐れてはいけない 	<p>◆ 故郷の漁民の生活や漁業のあり方を変えなければならないという強い使命感や責任感を感じ取らせる。(個：挙手)</p> <p>◆ 導入であげた、目標に向かって努力しても思うようにいなくなってきたときの失望感を思い出させ、がっかりしたときの自分の気持ちと重ね合わせて考えさせる。</p> <p>◆ ペアやグループでの意見交換を行い、考えを深めたり視野を広げさせたりする。</p> <p>◆ 必要に応じて「意志」や「信念」などのキーワードを補足しながら、生徒の意見をつないでいく。</p> <p>* 哲朗の諦めない強い意志や、希望に燃えて困難を克服する胸の内を共感的に捉えているか。 (ワークシート、発言)</p>
	<p>3 より充実した毎日を送るために、今の自分に必要なものについて、自分の考えをまとめる。</p>	

<p>展開後段</p> <p>12分</p>	<p>○ 目標の実現に向けて、今の自分に必要なのはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 根気強く取り組むこと ・ くじけないこと ・ 夢をはっきり持つこと 	<p>◆ 夢や目標に対するこれまでの自分の姿勢を振り返らせるとともに、哲朗の考え方や努力と比べながら、自分の夢の実現に向けてどう考え、どうしていくべきかを考えさせる。</p> <p>* 夢や希望を持ち、実現に向けて努力することを肯定的に捉え、自分もそうありたいと感じているか。</p> <p>(個：ワークシート、発言)</p>
<p>終末5分</p>	<p>4 板書した生徒の意見を確認し、互いの考えを共有する。</p>	<p>◆ 自分の考えと比較しながら聞き合うことで、考えを深めさせ、強い意志でやり抜こうとする意欲を育てる。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 希望を持ち、困難や失敗を乗り越えて新しい漁業の形を作り出した「鈴木 哲朗」の生き方に触れ、諦めずに強い意志でやり抜こうとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画

○ 目標の実現に向けて、今の自分に必要なことだろう

- ・ 意志を貫く力、挫折を力にする
- ・ 折れない心、立ち向かう気持ち

◎ 今まで以上に研究や仕事に励むようになり、哲朗を前向きな気持ちにさせたものは何だったのでしようか

- ・ 誰かがやらなければならぬ
- ・ 時代に合ったやり方が必要だ
- ・ 失敗を恐れてはいけない

意志の強さ
夢実現への信念

鈴木哲朗

☆思うような結果が得られないとき

- ・ 最悪
- ・ 悔しい
- ・ 何が悪かったのだろう
- ・ もっと努力すれば良かった

批判
反対

○ 波の音を聞きながら、哲朗は何を考えていたのでしょうか

- ・ 間違っていたのか
- ・ 伝わっていない
- ・ 悲しい・悔しい・不安
- ・ 続けるべきなのか悩む

○ 私財を投じて研究・工夫を続けたのは、どんな思いからでしょうか

- ・ 人々の暮らしを豊かにしたい
- ・ ふるさとに貢献したい

4 指導上のポイント

- ・ 失敗や困難によって諦めてしまうこともある人間の弱さに気づかせた上で、それでもなお逆境に立ち向かおうとする「鈴木 哲朗」の生き方にある、信念や意志の強さを感じ取らせる。
- ・ くじけそうなとき、自分は物事にどう向き合っているかを振り返らせ、根気強く取り組み続けようとする前向きな気持ちを持つ難しさと大切さを考えさせる。
- ・ 中心発問では、ペアやグループ、全体で話し合いながら深めることで、哲朗の諦めない強い意志や、希望に燃えて困難を克服する姿勢について捉えさせる。

5 参考資料
ワークシートの例

氏名	道徳ワークシート 「鈴木哲朗 新しい漁業への挑戦」	◎ 今まで以上に研究や仕事に励むようになり、哲朗を前向きな気持ちにさせたものは何だったのだろうか。		◎ 目標の実現に向けて、今の自分に必要なのはどんなことだろう。	
----	---------------------------------	---	--	---------------------------------	--

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 よりよい生き方を求め続ける ○D-(22) よりよく生きる喜び
・A-(5) 希望と勇氣, 努力と強い意志

- 2 資料 「園部 秀雄 - 女性剣士, 薙刀を通して心を磨く -」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p. 61 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

薙刀を通して心を磨く教育を広めようと、教え子たちと向き合う「園部 秀雄」の考えや思いを知り、よりよい生き方とはどんなことかを考えることで、夢や希望などを持って喜びのある生き方を求め続けていこうとする心情を高める。

(2) 資料の分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
古川での薙刀との出会いと佐竹茂雄先生との出会い。	佐竹茂雄先生の薙刀を振る美しい姿に感動。私も薙刀を習いたい。 薙刀は「戦うためだけにあるのだろうか。」	薙刀に心を奪われ、その道に進んだ秀雄の思いが、ずっと変わらずに秀雄を支えていたことに展開後段で気付かせる。	
修行の日々。 直心影流薙刀術免許皆伝、「秀雄」という名前をもらう。	技を磨きたい。自分で1日千本ずつ薙刀を振る練習をした。 技を磨くだけではなく、日々の生活も大切にしていた「たりた」。2年半で直心影流薙刀術の免許皆伝を受け、更に精進する決意を固める。		
東京に修徳館道場を開く。	薙刀を通して、心を磨く教育を広めていきたい。	秀雄の「心を磨くこと」とはどんなことなのかを具体的に捉えさせるようにする。	○道場での生活で秀雄が大切にしていたことは何でしょうか。
修徳館での秀雄と館生たちとの生活。 修徳館を巣立っていく館生たち。	礼儀や真剣に物事に取り組むこと、「一心に相手に向かうこと」が大切。薙刀を持っている時だけが修行ではない。薙刀の稽古や道場での生活を通して学んでほしい。 荷物にならない土産を持ってふるさとに帰ってほしい。	たくわんが流しに捨ててあったことを注意された館生たちの心の中を考えることで、秀雄の考えや思いを深めさせる。 秀雄が館生たちと真剣に向き合うことで心の結び付きを捉えさせる。	◎館生たち(教え子)が「はっ」として、どんなことを心の中でつぶやいたでしょうか。 ○修徳館を巣立っていった教え子たちへ、秀雄ならどんな手紙を書いたと思いますか。
薙刀の教えを学校教育で伝えていけるように、現在の全日本なぎなた連盟をつくることに力を注ぐ。			

(3) 志教育との関連

- ・ 「戦うためだけにあるのだろうか」という自分への問い掛けをずっと持ち続け、自分を磨くことの努力を惜しまず、更には薙刀を通して「心を磨く」教育を広めていきたいと考えた秀雄の生き方について考えさせる。【もとめる】
- ・ 秀雄が求めるよりよい生き方から自分の生活を見詰め、夢や希望を持って歩み続ける気持ちを持たせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

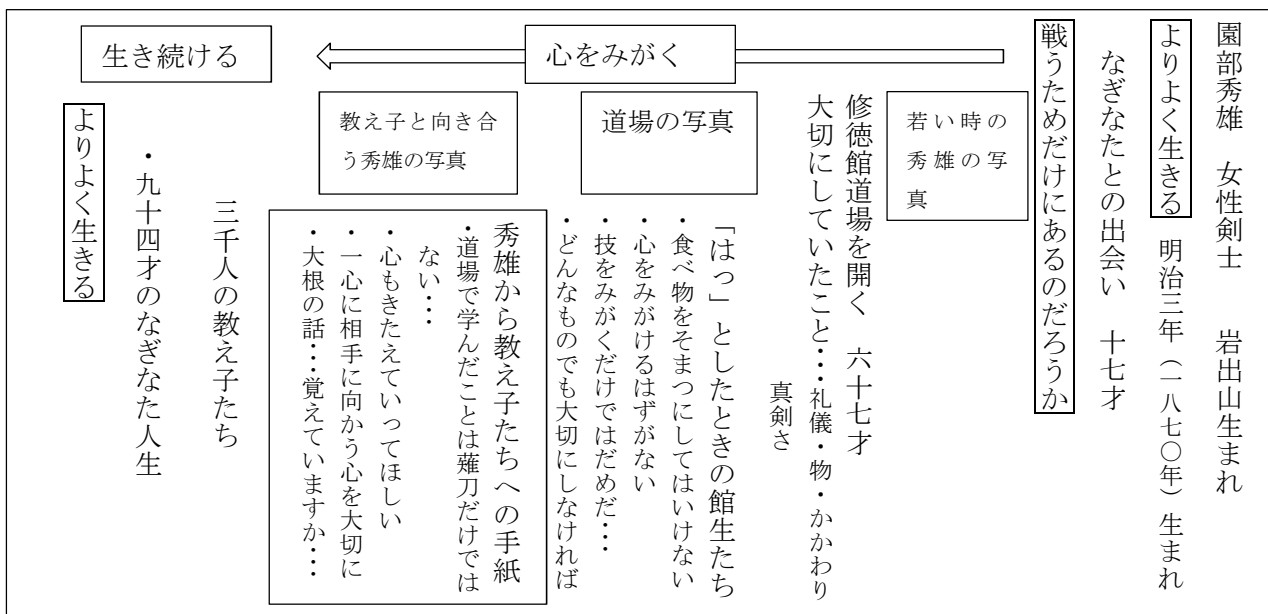
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 8分	1 薙刀について知る。 2 園部秀雄の生涯について確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薙刀との出会い ・ 弟子入りと免許皆伝まで ・ 修徳館道場を開く ・ 現在の「全日本なぎなた連盟」学校教育で行われている薙刀について 3 心に残ったことを発表する。 ○ 園部秀雄の一生を紹介しましたが、一番心に残ったことはどんなことですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 親元を離れて修行の道を選んだこと ・ 時間がない中で練習を積み重ねたこと ・ 物を大事にしていること ・ 一生懸命に教える姿 ・ 手を抜かないところ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;">「よりよく生きる」ことについて考えよう</div>	◆ 昔は自分の身を守る武具であったが、現在は薙刀を使った武道の一つであることを伝える。 ◆ 事前に資料を読ませておくことで、話合いの時間が取れるようにする。 ◆ 園部秀雄の一生について理解を深めさせるために、心に残ったことを発表させる。 ◆ 様々な感想を交流させることで、「よりよく生きる」ことについて考えていく方向性を確認する。 ◆ 薙刀との出会いについて触れ、「戦うためだけにあるのだろうか…」の言葉に意識を向けさせる。
展開 前段 22分	4 秀雄の薙刀に対する思いをとらえる。 ○ 道場での生活で秀雄が大切にしていたことは何でしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀 ・ 物を大事にすること ・ 人でも物でも大事にすること ・ 「一心に相手に向かう」ことの大切さ ・ 「残心」…やりっぱなしはいけない… ◎ 館生たち(教え子)が「はっ」として、どんなことを心の中でつぶやいていたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大根だって生きている。どんなものでも大事にしなければ。 ・ 技を磨くことだけを教えてもらっているわけではない。 ・ 秀雄先生の思いをしっかり受け止めていこう。 	◆ 資料の後半 p. 63～p. 64 を読み、道場での生活の様子を捉えさせる。 ◆ 秀雄が技だけではない「心」を磨くことを大切にさせていたことに、気付かせる。 ◆ 秀雄がいつも大切にしていたことに改めて気づき、秀雄の教えの深さを感じ取っている館生たちに児童の思いを近づけさせるために、自分の考えを書かせる。 ◆ なかなか考えられない児童へは「薙刀の技術を磨くことだけが大事なのではない。薙刀を持っている時だけが修行ではない」という言葉を手掛かりに考えさせる。その後、ペアやグループで考えを交流させる。

	<p>○ 修徳館を巣立っていった教え子たちへ、秀雄ならどんな手紙を書いたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手を大切にする心 ・ 物事や人に丁寧に向き合う心 ・ 物を大事にすること ・ 一生懸命さを失わずに ・ 人一倍の努力 ・ このような気持ちを失わずに… 	<p>◆ 秀雄から教え子に宛てた手紙を書かせることで、「よりよく生きる」とはどんなことかをじっくりと考えさせる。</p> <p>◆ 「よりよく生きる」ことにつながる手紙が書けていた児童を指名し、発表させる。</p> <p>* 秀雄が信念を持って教え子たちと向き合い生き抜いた一生と秀雄の喜びを考えたことができたか。(手紙, 発表, 観察)</p>
展開後段 10分	<p>5 自分の考えをまとめ、自分自身のことを振り返る。</p> <p>○ みなさんは「よりよい生き方」とはどんなことだと考えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「戦うためだけにあるのだろうか」という思いを持ち続けてきたところ ・ 夢を叶えるための努力をし続けること ・ 相手や物を大事にすること <p>○ よりよい自分になる、自分を高めるためにしていることはありますか。それは、どんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野球のグローブを磨いている。 ・ 靴箱の靴のかかとを毎日揃えている。 	<p>◆ 「～したい」という思いを持ち続けることの大切さに気付かせる。</p> <p>◆ 教え子の成長が秀雄の喜びにつながっていることや信念を持って一つのことをやり遂げた秀雄の生き方を振り返らせ考えさせる。</p> <p>◆ 秀雄が技を高めるだけでなく、「心を磨く教育として薙刀を広めたい」との夢が実現できたことと、自分とを重ねて考えさせる。</p> <p>* 秀雄の生き方からこれまでの自分の生活を見つめ、振り返ることができたか。(ノート, 発表, 観察)</p>
終末 5分	<p>6 秀雄の孫(兵庫県在住)の手紙を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修徳館道場で薙刀を教える秀雄の姿を見たり、晩年の秀雄のそばで世話をしたりしていたお孫さん(荻原晴子氏)からの手紙を読む。 	<p>◆ 秀雄の思いを間近で感じていた孫からの児童への手紙を読み、「秀雄の生き方、思いや考え方はずっと生き続ける」ことに気付かせる。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 薙刀を通して心を磨く教育を広めようと教え子たちと向き合う「園部 秀雄」の生き方を通して、よりよい生き方について考え、夢や希望などを持って喜びのある生き方を求め続けていこうとすることができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- ・ 薙刀の実物があれば見せたい。昔は柄の先に刃が付いていて身を守ることに使われていたことを補足する。
- ・ 黒板に写真や年号を貼りながら、秀雄の生涯について説明してから話合いに入る。
- ・ 事前に資料を読ませ、話合いの時間を確保する。話合いに関わる資料の部分だけ範読する。

5 参考資料

(1) 終末で活用する手紙

宮城の小学生の皆さんへ

私は、園部秀雄の孫の荻原晴子です。今日は、祖母・園部秀雄の生き方について真剣に考えてくれてありがとうございます。私も、薙刀の稽古をしたり、薙刀の指導をしたりしています。

祖母は、私にも、「勝つたとか、負けたとか」ということではない。人に勝つということではない。一心に相手に向かう。そのために稽古するのです。」と、教え、さとしてくれました。この言葉を支えに、お稽古や日々の生活を大切にしています。

特に、思い出されるのは、私が小学五年生と六年生の夏休みのこと。私が住んでいた神戸から、東京に出向き、修徳館道場の館生の皆さんのお稽古の様子を見たり、祖母と一緒に生活したりした時のことです。祖母の号令に合わせて薙刀をふる、気合いに満ちたきびきびとした稽古の様子。ピカピカに磨き上げられた道場の床。祖母が雑巾の洗い方や絞り方も教えていたようです。祖母は自分にも、相手にも厳しい人でしたが、自分と向き合う相手をいつでも大切にしていました。人だけではありません。物や物事に対してもです。

祖母は「薙刀を通して心を磨くこと」を第一に考え、その思いを貫いて修徳館で薙刀を教えていました。その思いは、祖母の教え子たちや祖母を支えてくださった皆さんに、それから、もちろん私にも、受け継がれています。祖母が亡くなって随分と月日は流れてしまいましたが、秀雄の思いは生き続けています。

皆さんの夢や希望は何ですか。自分の思いを持ち、一日一日を大切にして、学校生活を送ってくださいね。

平成三十年九月

荻原 晴子（兵庫県姫路市在住）

(2) ワークシートの例

園部秀雄 女性剣士

よりよく生きる

「はっ」としたときの館生たちはどんなことを心の中でつぶやいたでしょう。

--	--	--	--	--	--	--

よりよい自分になる、自分を高めるためにしていることはありますか。それは、どんなことですか。

（ 年 組 名 前 ）

中学校第1学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 困難の克服 ○A-(4) 希望と勇気, 克己と強い意志
・A-(5) 真理の探究, 創造

- 2 資料 「高橋 英吉 - 夢を追い求めて -」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.65 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

「高橋 英吉」の彫刻制作への思いや制作における困難・苦悩の克服の様子を考えることを通して、より高い目標を持ち、実現を目指そうとする強い意志と実践する態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
英吉が育った家庭環境と中学校時代のエピソード			
東京美術学校への進学, 文展に入选した。	彫刻の勉強を本格的に学んでみたい。 自分の心の中にあるもの, 思いを形にしたい。 自分を支えてくれた母を安心させたい。	英吉に立ちほだかる困難を生徒に意識させ, どのように乗り越えようとしたのか考えさせる。	○英吉はどんな思いで彫刻を彫ったのでしょうか。
納得のいく作品ができず, 不安と焦りが募る。	だめだ。納得のいく作品ができない。 自分に足りないものは何だろう。 不安と焦りが募る。 【石巻の海が目浮かぶ】 帰ろう, 石巻に。	英吉の苦悩(不安・焦り)を解決するヒントが海にあることを気付かせる。	○石巻の海を目に浮かべながら「帰ろう。石巻に」と思った時, 英吉はどんな気持ちだったのでしょうか。
捕鯨船に乗り, 仕事の傍ら, 創作活動に励んだ。	世界中の海を見て, 想像を広げたい。(捕鯨)船に乗ろう。 自分の見たもの, 感じたもの, 乗組員たちの姿をデッサンしよう。 【苦悩に対する答えを見いだす】 あらゆる命のものは海にある。 大自然の美しさと厳しさを表現したい。	苦悩に対する答えを見出し, 新たな作品制作への原動力となったことに気付かせる。	◎航海を終えた時, 英吉はどんな気持ちになったのでしょうか。
「海の三部作」を完成させ, 英吉の新たな挑戦が始まる。	【家族の存在】 制作意欲の高まり。 世界中に通用する作品を作りたい。		
戦争への出征中夢や希望を失わずに彫り続けた。	生きて帰ってまた作品を作りたい。 自分の心の中にあるものや思いを表現し続けよう。		

(3) 志教育との関連

- ・ 「高橋 英吉」の生き方から困難や苦悩にしっかり向き合っ乗り越え, 希望を持って努力する姿勢が目標の実現に必要なことを捉えさせる。【もとめる】
- ・ 「高橋 英吉」の生き方と各自の経験を重ね合わせ, 自分自身が困難を乗り越えた経験や乗り越えようと頑張っていることをまとめ, 紹介する活動を通して, 今後の生活に希望と勇気を持たせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 英吉の足跡を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>彫刻家。「黒潮閑日」「潮音」「漁夫像」の「海の三部作」と言われる作品を制作。 明治24年(1911年)石巻市湊町に生まれる。 網元、遠洋漁業や大きな缶詰工場を営む家庭の五男三女の末っ子として育つ。 宮城県立石巻中学校(現石巻高等学校)時代、授業中に机に教科書を立てて、その陰にかくれて鉛筆やチョークに彫刻を彫ったり、机に「般若面」を彫ったりするほど、絵や工作が好きだった。 将来を期待されながら、1942年にガダルカナル島で31歳の若さで戦死した。</p> </div>	<p>◆ 英吉について知り、郷土に対する関心・愛着を持たせる。</p> <p>◆ これらの作品は東日本大震災に伴う被災により、石巻文化センターから宮城県美術館に保管されていることにも触れる。</p> <p>◆ テレビ番組「開運なんでも鑑定団」において(平成22年11月30日放送)英吉とその作品が取り上げられている。これを紹介することにより、英吉と郷土に対する親しみと誇りを持たせる。</p> <p>番組ホームページ 出典： http://www.tv-tokyo.co.jp/kantei/kaiun_db/otakara/20101130/03.html</p>
展開 前段 25分	<p>2 資料「高橋 英吉 - 夢を追い求めて -」から、英吉の気持ちを中心に考え、話し合う。</p> <p>○ 英吉はどんな思いで彫刻を彫ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母の期待に応えるために頑張るぞ。 ・ ふるさとのみんなを安心させる。 ・ 自分の思いを形にしたい。 <p>○ 石巻の海を目に浮かべながら「帰ろう。石巻に。」と思った時、英吉はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさとの海を見たい。 ・ 帰って海を見れば心が落ち着く。 ・ 自分を育て、家族を支えた大切なふるさとに帰れば、嫌な気持ちがなくなる。 <p>◎ 航海を終えた時、英吉はどんな気持ちになったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふっきれた気持ち。 ・ 作品づくりへの新たな意欲がわいた。 ・ 航海で得た経験、苦しさ、辛さ、全てを込めて表現したい。 ・ すばらしい経験ができた。 	<p>◆ 教師が押さえておきたい英吉に立ちほだかる2つの困難(苦悩)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 家族の反対 ② 思うような作品ができない <p>◆ 自分の夢を大切にしながらも、母や家族を思う英吉の優しさに気付かせる。</p> <p>◆ 作品制作に没頭する英吉の姿を豊かにイメージさせる。</p> <p>◆ 文展入選後、納得のいく作品ができない英吉の深い苦しみを思い描かせる。</p> <p>◆ 英吉の苦悩を解決するヒントが海、ふるさとにあることに気付かせる。</p> <p>◆ 苦悩に対する答えを見だし、新たな作品制作の原動力になったことに気付かせる。</p> <p>* 英吉の意志の強さ、希望を持って困難を乗り越えようとする姿勢に共感することができたか。(発言、ワークシート)</p>
	<p>3 英吉の生き方と自分の経験を重ね合わせて考え、ワークシートに記入する。</p> <p>○ 困難に直面して、乗り越えた経験はありますか。困難をどのようにして乗り越えましたか。</p>	<p>◆ 資料と自分自身の関わりから考えさせ自己を振り返り、見つめさせる。</p> <p>◆ 考える時間とワークシートに記入する時間を十分に確保する。</p>

<p>展開後段 15分</p>	<p>(今、どのような困難に直面していますか。そしてどのような努力をして乗り越えようとしていますか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動において、なかなか技能が向上しない、勝てない。→友達や先輩にアドバイスをもらい、毎日実践した。 考査の成績が振るわない。→試行錯誤を繰り返し、自分にあった学習方法を見つけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 机間指導を行いながら、全体の参考となる生徒の経験談を収集して、いくつか発表させる。 * 目標を持ち、諦めずに努力や工夫を重ねようとする気持ちを持つことができたか。(ワークシート、発言)
<p>終末 5分</p>	<p>4 英吉の作品を鑑賞する。 資料掲載作品「少女像」「海の三部作」「不動明王像」他、「母子像」「阿弥陀如来尊像」 英吉のデッサン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 英吉の生き方について考え、学んだ新たな視点で本人の作品を鑑賞しながら本時の学習を静かに閉じる。

(5) 本時の評価

- ・ 困難や苦悩から逃げずにそれを克服して彫刻の制作に取り組んだ「高橋 英吉」の生き方に触れ、目標を成し遂げようと諦めずに努力や工夫を重ねようとする気持ちを持つことができる。

(6) 板書計画

高橋 英吉

彫刻家 石巻市出身
網元の家庭 五男三女の末っ子
小さい頃から絵や工作が好き

東京美術学校への進学

- 家族の反対 経済的な困難・成功は難しい…
- 彫刻に没頭する英吉 母の期待に応える…

納得のいく作品ができない英吉

- 不安と焦り
- 石巻の海が目につかぶ…きらきら

生活の一部

自分を育て、家族を支えた…

【不安と焦りを解決するヒント】

捕鯨船での生活と創作活動

○ 見たもの、感じたものをデッサン

「あらゆる命のものは海にある」
「大自然の美しさと厳しさ」
…すべてをこめて表現したい」

ふっきれた気持ち
作品づくりへの新たな意欲…

「海の三部作」完成と新たな挑戦

戦争への出征と続ける創作活動

4 指導上のポイント

- ・ 資料が長文であるため、資料の内容を理解し、話し合う時間を確保するために、事前に教師が読み聞かせて授業に臨ませる。
- ・ 本時の導入において、テレビ番組で英吉とその作品が取り上げられていることを紹介し、郷土への誇りと愛着を持たせたい。
- ・ 資料の本文や脚注の「般若面」「南氷洋」などの語句について、必要に応じて写真(画像)や地図などを提示すると、イメージしやすい。
- ・ 本時の終末において、本人の作品を鑑賞し、余韻を持たせて静かに授業を閉じたい。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

	<p>1 あなたは、困難に直面して、乗り越えた経験はありませんか。 困難をどのようにして乗り越えましたか。 (今、どんな困難に直面していますか。そしてどんな努力をして乗り越えようとしていますか。)</p> <p>○どんな困難ですか。</p>	<p>「高橋 英吉 ―夢を追い求めて―」</p> <p>年 組 () 氏名</p>
<p>2 この時間の授業を受けての感想</p>	<p>○どのようにして乗り越えましたか。 (どんな努力をして乗り越えようとしていますか)</p>	

(2) 掲示用資料の例

- ・ 「高橋 英吉」顔写真
みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.65 宮城県教育委員会
 - ・ 高橋 英吉 作 「母子像」〔動画, 写真〕
 - ・ " 「阿弥陀如来尊像」〔動画, 写真〕
 - ・ 高橋 英吉のデッサン〔動画, 写真〕
- } インターネットに資料多数

中学校第1学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 人々のために ○C-(12) 社会参画, 公共の精神
 ・C-(16) 郷土を愛する態度

- 2 資料 「高橋 長十郎 ー 地域の幸せを願って ー」
 (出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p. 69 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

町の人々の幸せを願い, 多くの苦難を乗り越えて町の産業を発展させた「高橋長十郎」の生き方から, 社会に奉仕し, 公共のために役立とうとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
長十郎は村民の一人として村全体が豊かになることを願う。	一生懸命働いても村の人々の生活は豊かになっていない。 村全体が豊かになってほしい。		
新しい技術が必要だと考え, 東京の商法講習所に入学する。	この村を元気で活気のある村にしたい。そのためには新しい技術が必要だ。 東京の商法講習所で新しい技術を学ぼう。		
渋沢の指導で殖産興業の目的はそこに住む人みんなが幸せになることだと気付く。	技術を向上させ, 機械による大量生産を行えば村は豊かになるはずだ。 みんなが幸せになるために, 全く新しい技術を取り入れるのではなく, 伝統産業である養蚕業を再興させよう。	技術の向上よりも町のみんなの幸せの方が大切であることに気付いた長十郎の心の変化を捉えさせる。	○渋沢先生の話聞いた長十郎は, 何を思ったのでしょうか。
養蚕業を再興するために, 組合を設立し, アメリカ製機械を購入する。	村を豊かにするためには, アメリカ製の機械が必要だ。 村の人々を説得して何とか機械を購入して工場をつくらう。	村の人々を説得する姿から地域の人々のために力を尽くそうとする信念や強さを感じ取らせたい。	○長十郎はどのように考えて, 反対する村の人々を説得したのでしょうか。
「金華山」という最高峰の絹糸が完成する。パリ万博でグランプリをとり, 村が歓喜の渦に包まれる。その後, 工場は大会社に成長し, 長十郎は学校の設立など村のために尽力する。	これで村のみんなが幸せになれる。 志津川の生糸が世界一になるなんて信じられない。でも, みんなが喜んでくれてうれしい。諦めずに頑張ってたよ良かった。 まだまだやれることがあるはずだ。 豊かな村づくりを進めていくぞ。	村の人々が歓喜する姿を見て, 喜びを感じ, これから村をさらに豊かにしていこうと決意している長十郎の思いに共感させる。	◎長十郎の一粒の涙には, どのような思いが込められているのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- 東京で学び, 養蚕業を復興させて村のために尽力しようとした長十郎の心情を考えさせることで, 長十郎の社会に貢献しようとする思いと志の高さに気付かせるようにする。

【かかわる】

- 地域に貢献した長十郎の生き方に共感し, 人や社会のために貢献しようとする心情を育てる。

【もとめる】【はたす】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 地域の活動に参加した経験について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奉仕作業 ・ 清掃活動 ・ 夏祭り ・ ボランティア活動 ・ 地域のイベント ・ 子供会の行事 ・ 野外学習活動 	<p>◆ 社会参加の経験について想起させ、ねらいへの方向付けを図る。</p>
展開 前段 20分	<p>2 資料を読んで、長十郎の気持ちや行動を考え話し合う。</p> <p>○ 渋沢先生の話聞いた長十郎は、何を思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい技術を学ぶだけではだめなんだ。 ・ 技術よりも村の人々の幸せが大切なんだ。 ・ 村の人々が幸せになるために自分ができることは何だろう。 ・ 村の人々の幸せとは何だろう。 <p>○ 長十郎はどのように考えて、反対する村の人々を説得したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの人々が働く産業を育てたいので協力してほしい。 ・ 志津川の生糸が有名になれば人々の生活が豊かになるはずだ。 ・ 製糸業が盛んになれば、村の伝統産業である養蚕業も復興して、この村が元気で活気のある村になる。 ・ 一緒に世界一の生糸をつくりたい。 <p>◎ 長十郎の一粒の涙には、どのような思いが込められているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなのためにやってよかった。 ・ これで村のみんなが幸せになれる。 ・ こんなに喜んでくれるなんて。 ・ 志津川の生糸が世界一になるなんて。 ・ 諦めずに頑張ってたかった。 ・ まだまだやれることがあるはずだ。 ・ 自分がやってきたことは間違ってた。 	<p>◆ 長十郎の思いを想像しながら音読する。分かりにくい言葉は解説しながら聞かせる。</p> <p>◆ 技術の向上よりも町みんなの幸せの方が大切であることに気付いた長十郎の心の変化を捉えさせる。</p> <p>◆ 新しい技術の導入よりも養蚕業の再興を目指そうとする長十郎の思いに気付かせる。</p> <p>◆ 長十郎の苦勞を感じ取らせるために役割演技を取り入れる。村人役は教師が行い、村人を説得するセリフを考えさせることで「村のみんなのために」という長十郎の思いを捉えさせる。</p> <p>◆ 何日も足を棒にして話をしに回った長十郎の苦勞や強い決意に着目させる。</p> <p>◆ 村の人々が喜ぶ姿を見て、自分の心にも喜びがあふれた長十郎の思いを捉えさせる。</p> <p>◆ 長十郎のほおを伝い落ちる一筋の涙がどのような涙なのかを考えさせる。記入できない生徒には、喜び、達成感、充実感、安心感などを生徒の言葉で表現させたり、他の生徒の発表に共感させたりする。</p> <p>* 長十郎の姿から人々のために行動することのすばらしさを実感することができたか。(ワークシート、発表)</p>
	<p>3 長十郎の行動や生き方から学んだことを、これからの自分にどう生かすかについて考え、話し合う。</p> <p>○ 地域の一員として自分に何ができると思いま</p>	<p>◆ 自分の考えを記入できた生徒には、学</p>

<p>展開後段 20分</p>	<p>すか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これからは、自分にできることを見付けて人の役に立つことをしていきたい。 ・ 長十郎のように、地域のために失敗を恐れずチャレンジしていきたい。 ・ 防災学習など地域のためになることを一生懸命やっていきたい。 ・ 地域のよさを発信していきたい。 ・ 将来、地域の人材を育てるような仕事に就きたい。 	<p>校生活や地域の復興のためにできることなど具体的な行動について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ グループに分かれて意見を交換し合う。 ◆ 意図的指名を行い、数名の生徒に意見を発表させる。 * これまでの自分の生活を振り返り、人々のために役立とうとする意欲を高めることができたか。(ワークシート, 発表)
<p>終末5分</p>	<p>4 教師の説話を聞く。 ○ 長十郎の子孫の手紙を読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 手紙資料を読み聞かせる。 ◆ 長十郎の子孫の手紙を読み聞かせることで、地域の誇りや身近な存在であることを感じ取らせる。

(5) 本時の評価

- ・ 町の人々の幸せを願い、多くの苦難を乗り越えて町の産業を発展させた「高橋 長十郎」の生き方から、社会に奉仕し、公共のために役立とうとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>長十郎の生き方から考えたこと</p> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>◎長十郎の一粒の涙には、どのような思いが込められているのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなのためにやってよかった ・ これで村のみんなが幸せになれる ・ こんなに喜んでくれるなんて ・ 諦めずに頑張つてよかった </div> <div style="width: 45%;"> <p>○長十郎はどのように考えて、反対する村の人説得したのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの人々が働く産業を育てたいので協力してほしい ・ 一緒に世界一の生糸をつくりたい </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100%;"> <p>銅像の写真</p> </div>	<p>高橋長十郎</p> <p>―地域の幸せを願って―</p>
	<p>○ 渋沢先生の話を聞いた長十郎は、何を思ったのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい技術を学ぶだけではだめなんだ ・ 技術よりも村の人々の幸せが大切なんだ 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町が豊かになることを願い、東京の大学で学ぶ ・ 組合を設立する ・ 旭製糸工場をつくる ・ 「金華山」がグラмпリを受賞する </div>	

4 指導上のポイント

- ・ 当時の人々の生活や工場の様子などを視覚的に捉えさせるために、写真資料をICT機器を用いて提示する。
- ・ 役割演技を行い、教師役の村人を説得するセリフを考えさせることで「村のみんなのために」という長十郎の思いや苦勞を捉えさせる。
- ・ 展開後段で地域の復興など自分にできることを具体的に考え、話し合わせることで、道徳的実践力を高めさせる。
- ・ 長十郎の子孫の手紙を朗読することで、その思いや自分も社会の役に立ちたいという気持ちに共感させるとともに、長十郎の存在や業績を身近に感じさせる。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

<p>二 地域の一人として、自分に何ができると思えますか。</p>	<p>一 長十郎の一粒の涙には、どのような思いが込められているのでしょうか。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">高橋長十郎 「地域の幸せを願って」</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">氏名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">年 月</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">組 日 ()</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">番 ()</td> </tr> </table>	高橋長十郎 「地域の幸せを願って」	氏名	年 月	組 日 ()	番 ()
高橋長十郎 「地域の幸せを願って」							
氏名							
年 月							
組 日 ()							
番 ()							

(2) 終末で用いる手紙資料

高橋長十郎さんへ

私は、長十郎さんについておじいさんから昔の話を聞き、製紙工場を志津川に設立したことは知っていましたが、くわしくはよく知りませんでした。

今回、改めて長十郎さんの歴史について調べてみると、思いもよらないような様々な功績があることがわかりました。一番驚いたのは、パリにエッフェル塔が建造された頃に、同地で開催されたパリ万国博覧会で志津川の絹糸である「金華山」が世界一の賞であるグランプリを獲得したということです。東京で産業の技術を学び、その後、志津川で同志を集めて県内二番目の株式会社を設立、国内初の洋式ボイラーを導入し、四百五十人の社員とともに様々な困難を乗り越えて世界一を手にしたと聞きました。これも全て志津川を豊かにするためだったと聞いています。私は、このような素晴らしい方の子孫であることを誇りに思います。同時に、私も将来は故郷や世の中の人のためになるようなことを何か一つでも成し遂げたいと改めて強く思いました。そのために、今の私にできることは学校の勉強や部活動に打ち込むことだと思います。また、学級などで困っている人の力になれるよう目の前のことに精一杯取り組んでいきたいです。現在の志津川は復興を目指して進んでいる最中です。復興市や夏祭りなど地域の行事にも積極的に参加するなど中学生として少しでも復興の手助けをしていきたいです。

長十郎さんが地域のために志津川の産業を発展させたように、私も志津川のためにできることを探しながら自分の夢を追いつけていきたいと思えます。これから建設される復興公園に震災で流された長十郎さんの銅像が再建されるそうです。これから私たちと志津川を見守り、応援しててください。

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 決意を胸に ○A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
・C-(14) 勤労, 公共の精神

- 2 資料 「只野 文哉 — 電子顕微鏡の研究開発 —」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.75 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

電子顕微鏡の開発のために、決意を持って努力し続けた「只野 文哉」の生き方について考えることを通して、自分の夢や目標に向かい、くじけずに努力しようとする心情を育てる。

(2) 資料の分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
14歳の時、アメリカの機械技術を知り、自分の将来の仕事への決意を持つ。	私の仕事はこれだ。 人の役に立つようなものを作る技術を身に付け、生きていきたい。		
日立製作所へ入社し、電子顕微鏡の開発担当になる。	ウイルスのように、見えなかったものが見えるようになれば、新しい研究方法が見付かるかもしれない。		
国産第一号の電子顕微鏡を完成させるが、実用化に必要な写真の撮影で失敗を繰り返す。	何度撮影してもピントが合わず、ぼやけた写真しか撮れない。原因は何なんだろうか。 実験こそ我が命。	電子顕微鏡の実用化という目標に向かって努力を続けるものの、なかなかうまくいかないときの文哉の苦悩を捉えさせる。	○写真の撮影に失敗し続け、ぐっとくちびるをかんで窓の外の景色をながめているとき、文哉はどんなことを考えていたのでしょうか。
写真のピントが合わない原因に気付く。	わずかな振動が原因だったのか。 振動に強い縦型の電子顕微鏡を作ろう。		
戦時中という苦難を乗り越え、振動に強い電子顕微鏡を完成させる。 その後も改良を重ね、より性能のよいものへ進化させる。	今まで見られなかったものを、もっともっと見るようにするぞ。	電子顕微鏡の開発に向けて研究を続ける文哉の決意は、逆境にあっても決して揺らぐことのないほど強いものであったことを押さえる。	◎戦争中で十分な食べ物もなく、体が悲鳴を上げている中、文哉はどうして最後まで諦めずに頑張ることができたのでしょうか。
東京大学から工学博士の学位を受ける。			○文哉のような生き方についてどう思いますか。

(3) 志教育との関連

- ・ 失敗を繰り返しても、強い決意を持って諦めずに努力し続けることが、夢の実現に必要なであることを捉えさせる。【もとめる】
- ・ 只野文哉の生き方や思いに共感させ、自分の夢や目標を達成するために努力しようとする意欲を高める。【もとめる】

(4) 学習指導過程

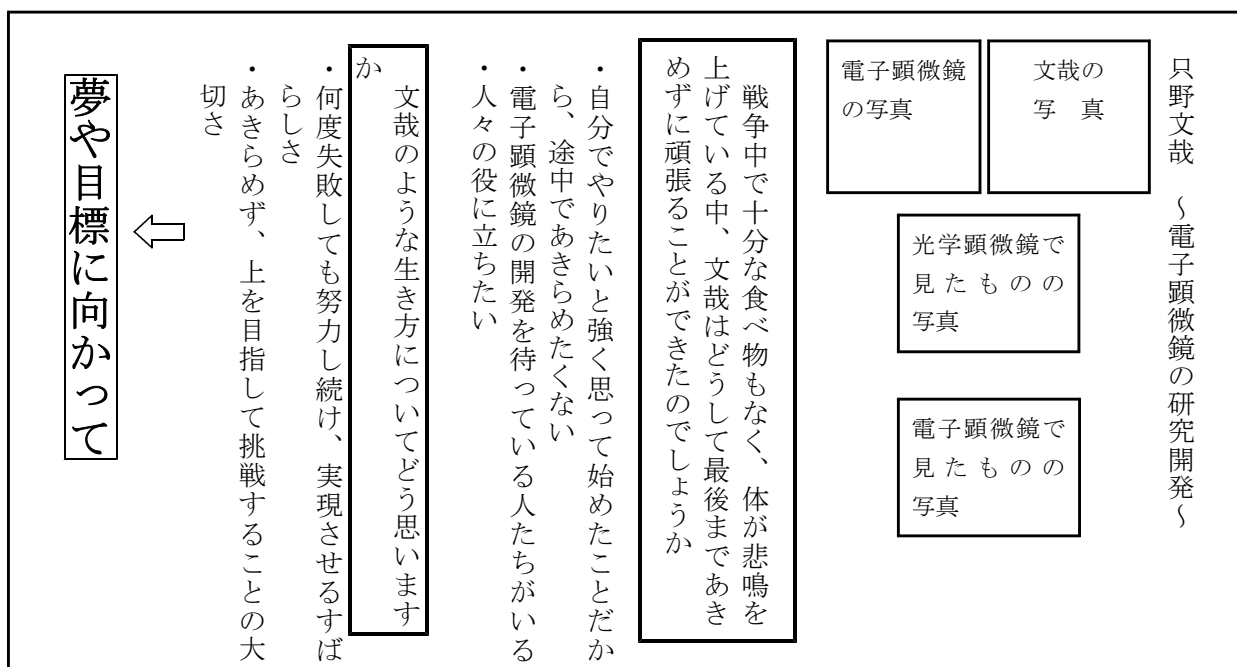
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 電子顕微鏡に関する写真を見て、電子顕微鏡やそれを開発した只野文哉に興味を持つ。</p> <p>○ これは何の写真でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子顕微鏡。 ・ 髪の毛の写真だ。電子顕微鏡で見たものの方が拡大されて詳しく見えるね。 ・ 電子顕微鏡のおかげで、薬の開発が可能になったんだね。 <p>2 文哉の言葉を読む。</p>	<p>◆ 事前に資料を読ませておく。</p> <p>◆ 光学顕微鏡と電子顕微鏡で見たものの写真を比較したり、電子顕微鏡が世の中の役に立った例を知らせたりすることにより、電子顕微鏡のすばらしさや電子顕微鏡を開発した只野文哉の生涯に関心を持たせる。</p> <p>◆ 資料p.75 L1～L3の文を提示し、「自分の人生の行く道を決めるときには強い決意を持たなければならない。」という文哉の考えを捉えさせる。</p>
展開 前段 23分	<p>3 困難に直面しながらも努力を続け、電子顕微鏡を完成させた文哉の気持ちについて考える。</p> <p>○ 写真の撮影に失敗し続け、ぐっとくちびるをかんで窓の外の景色をながめているとき、文哉はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして失敗ばかりするんだらう。自分には無理なのか。もうやめてしまおうか。 ・ 病気で亡くなった友達のような人をもう出したいくない。もう少し頑張ってみよう。 ・ 人の役に立つものを作りたいと強く決意したんだから、絶対に電子顕微鏡を実用化したい。 <p>◎ 戦争中で十分な食べ物もなく、体が悲鳴を上げている中、文哉はどうして最後まで諦めずに頑張ることができたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でやりたいと強く思って始めたことだから、辛いけれど途中で諦めたくないと思った。 ・ せっかく実用化への見通しがついたんだし、何としても今まで見られなかったものを見ることができるようになりたいと思ったから。 ・ 「電子顕微鏡の開発を待っている人たちがいる。各研究者の见たいものの要望に応え、人々の役に立ちたい。」と考えたから。 	<p>◆ 希望を胸に電子顕微鏡の開発に取り組んだものの、写真の撮影がどうしてもうまくいかず、苦悩する文哉の思いを考えさせる。</p> <p>◆ ペアやグループで意見を交流した後に全体で話し合うことで、考えを深めたり、広げたりすることができるようにする。</p> <p>◆ 人の役に立ちたいという文哉の思いが、偉業を成し遂げるための原動力になっていると感じ取らせ、文哉が逆境にあっても決して揺らぐことのないほど強い決意を持っていたことを押さえる。</p> <p>* 目標に向かって努力を続ける文哉の気持ちを考えることができたか。(ワークシート、発言、観察)</p>

<p>展開後段 7分</p>	<p>4 文哉の生き方について考える。 ○ 文哉のような生き方についてどう思いますか。 ・ 戦争中で物資も食べ物もなく、体が悲鳴を上げている中、自分だったら研究など続けられないと思う。 ・ 何度失敗しても努力し続け、自分が決意したことを実現させたのがすごいと思った。 ・ 信念を持ち、少しずつでもいいから頑張ると、成功につながるということを知った。 ・ 簡単に諦めず、更に上を目指して挑戦することが大切だと思った。</p>	<p>◆ 電子顕微鏡の開発のために、困難にもくじけず、決意を持って努力し続けた文哉の生き方を学んで、どんなことを考えたか発表させる。</p>
<p>終末 10分</p>	<p>5 これからの自分について考える。 ○ 今後、自分の生活において、どんなことに生かそうと思いますか。 ・ 将来やりたい仕事に就くために、自分も目標を持って勉強を頑張りたい。 ・ 自分は困難なことはすぐ諦めてしまうのでこれからは文哉さんのようにもっと粘り強く頑張りたい。</p>	<p>◆ 文哉の生き方から学んだことをもとに児童一人一人の生活を振り返らせ、これからの自分の生活につなげられるようにする。 * 文哉の生き方から、自分の生活を振り返り、諦めずに努力しようとする意欲を持つことができたか。 (ワークシート、発言、観察)</p>

(5) 本時の評価

- ・ 電子顕微鏡の開発を成し遂げた「只野 文哉」の生き方から、決意を持ってくじけずに努力することの大切さについて考えることができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- 資料が長文であるため、本文を事前に読ませ、内容を把握させた上で、本時の学習に入るようにする。
- 導入の段階で、光学顕微鏡と電子顕微鏡で見た髪の毛などの写真を見せ、どちらがより拡大されて見えるか比べさせる。さらに、「電子顕微鏡で病気のもとになるタンパク質の形が分かるようになったことで、その形にあった薬の開発が可能になった。」など、世の中の役に立った例を話す。そのことにより、電子顕微鏡のすばらしさや、開発者である只野文哉に興味を持たせるようにする。
- 中心発問では、ペアやグループ、全体で話し合いながら考えを深めることで、人の役に立ちたいという文哉の思いが、偉業を成し遂げるための原動力になっていると感じ取らせ、文哉が逆境にあっても決して揺らぐことのないほど強い決意を持っていたことを押さえる。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

	②今後、自分の生活において、どんなことに生かそうと思えますか。		①戦争中で十分な食べ物もなく、体が悲鳴を上げている中、文哉はどうして最後まであきらめずに頑張ることができたのでしょうか。	文哉の写真	只野 文哉 （電子顕微鏡の研究開発） 名前（ ）
--	---------------------------------	--	--	-------	--------------------------------

(2) 掲示用資料の例

- 只野文哉の写真
- 電子顕微鏡の写真
- 光学顕微鏡で見た人の髪の毛の写真
- 電子顕微鏡で見た人の髪の毛の写真

小学校第5学年 特別の教科道徳学習指導略案

1 主題名 伝統的な技法を受け継いで ○C-(17) 伝統と文化の尊重

2 資料 「千葉 あやの - 藍染の技術を守る -」
(出典：みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.79 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

先代から受け継いだ藍染の技術を守り、人間国宝に指定された「千葉 あやの」の生き方について考え、郷土の伝統を愛し、文化や技術を受け継ぐことを大切にしようとする心情を高める。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
「正藍冷染」の技法を子や孫へと伝え昭和30年に人間国宝に指定される。			
染め物は昭和25年頃には他の家はやめてしまった。			
「正藍冷染」は全く熱を加えずに自然発酵させるので大変手間がかかる。全ての作業をたった1人で行っていた。			
天候や気温に合わせながら一年を通して藍染に携わっている。	眠いけれどがまんしなければ。藍染を守るためには自分がやらなければいけない。	忙しいときでもたった1人で朝早くから仕事をしなければいけない大変さを考えさせる。	○朝早くから仕事をしなければいけないときあやのはどんな気持ちだったでしょうか。
東京から千葉家を訪ねてきた山辺が、続けられないと悩むあやのにやめてはいけないと説得する。	1人では続けられない。でも自分がやめたら後は誰もいなくなる。先代から受け継いだ藍染の技術を守り抜こう。	先代から受け継いだ技術を守らなければいけないあやのの責任の重さや藍染を愛する気持ちに気付かせる。	◎どのように考えてあやのは藍染をやめずに続けようと思ったのでしょうか。
昭和32年火事によりほとんどを失うが偶然にも藍の種と「藍玉」が残る。	全てが無くなってしまったと思ったけど、よかった。これで藍染が続けられる。		
あやのの教えは今でも昔からの技法で続けられている。	おばあちゃんにはたくさんのお話を教わった。そして藍染だけは続けていくようにという教えも守ってきた。		

(3) 志教育との関連

- ・ 藍染で唯一人間国宝に選ばれた先人の生き方を考えさせる。【かかわる】
- ・ 「千葉 あやの」の心情を共感的に捉えさせ、伝統的な技術を守るために仕事を続けて後世に引き継ぐという生き方について考えさせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 10分	<p>1 藍染の技法や1年を通しての仕事について知る。</p> <p>○ 藍染とはどのような技法で、どのような仕事があるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藍を育てることから始まって染めるまでにこんなに仕事があるのか。 ・ 布も自分で作っているのは大変だな。 <p>○ 千葉あやのがどんな人か紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何を作っている写真だろう。 ・ どんなことが優れていて人間国宝に選ばれたのだろう。 	<p>◆ 藍や麻を育てることから染めまでの仕事を1年通して行っていることを写真も提示しながら説明する。</p> <p>◆ 資料にある先人の写真に注目させ、「正藍冷染」の特徴や人間国宝に選ばれた人であることを簡単に説明し、先人の生き方について興味を持たせる。</p>
展開 前段 20分	<p>2 資料 (p.80 14行目から p.81 8行目) を読み、藍染をやめたいと悩むあやのの気持ちを話し合う。</p> <p>○ 朝早くから仕事をしなければいけないとき、あやのはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 眠いけれど、がんばろう。 ・ 忙しいから、誰か手伝ってほしい。 ・ 他家でもやめているのだから、そろそろわたしもやめよう。 <p>◎ どのように考えてあやのは藍染をやめずに続けようと思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事は大変だけれど、藍染が好きでたまらない。 ・ 自分がやめてしまったら、藍染をする人は、誰もいなくなってしまう。 ・ 藍染のすばらしさを守りたい。藍染の伝統が途絶えてしまうのは耐えられない。 ・ 引き継いだ技術を守らなければいけない。今まで伝統を守ってきた人たちの努力も無駄になる。 	<p>◆ 導入で仕事の一覧を提示し説明をしておくので、資料の前半を読むことを省略する。ここでは、藍染を続けようか迷っている場面を範読する。</p> <p>◆ 忙しい時期には早起きしてでも仕事を続けなければいけないため、やめたいと悩んでいた先人の葛藤する気持ちを想像させる。</p> <p>◆ 山辺の説得を受けてやめたいという気持ちと葛藤し、藍染の伝統的な技術を守らなければいけないというあやのの果たす役割を考えさせる。</p> <p>◆ 自分の考えを伝えるとともに、他の児童の考えにも触れさせるために、ワークシートに書いた考えをグループで伝え合わせる。その後、数名の児童の考えを全体で紹介し、共有する。</p> <p>◆ 「守らなければいけないから」という意見が出たところで、「やめてもよかったのではないか。」などと更に問い、藍染に対する愛情があるからこそ、大変でも続けていったことを想像させるようにして、価値に迫るようにする。</p> <p>* 郷土の伝統を守ろうとする先人の心情を考えることができたか。</p> <p style="text-align: right;">(発言・ワークシート)</p>

<p>展開後段 10分</p>	<p>5 資料後半 (p. 81 9行目から最後) を読み、あやのの生き方について考える。</p> <p>○ 伝統を守ったあやのの生き方についてどのように思いましたか。感想を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大変な仕事だけれど、やめずに守り続けていてすごい。 ・ 藍染が本当に好きで続けていた。そして、まつ江にも受け継いでいるから、これからも続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習を振り返り、先人の生き方についての思いをまとめさせる。 ◆ 数名の児童に発表させて、児童の感想を交流する。
<p>終末 5分</p>	<p>6 自分の住む地域にある伝統や文化について知り、その伝統や文化と自分が今後どのように関わっていくかを考える。</p> <p>○ 皆さんの住んでいる地域には、どんな伝統や文化があるか知っているものを挙げましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家の近くのお祭りで、披露されている太鼓も伝統的なものだと思う。 ・ 近くで作られているものは、昔から受け継がれているものだと聞いたことがある。 ・ 毎年行われている祭りは昔から続いている。 <p>○ 地域で受け継がれている伝統や文化とこれからどのように関わっていくことができるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の行事にこれからも参加していきたい。 ・ 自分の住む地域の伝統を大切に守っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住んでいる地域にも昔から受け継がれてきた伝統的な技術や文化があることに気付かせるために、身近な行事や昔から作られているものを想起させる。 ◆ 事前に地域の伝統や文化を調べておくようにし、教師から紹介してもよい。 ◆ 自分がどのように関われるかについてできそうなことを考えるように伝える。 <p>* 郷土の伝統を愛し、文化や技術を受け継ぐことを大切にしようとする心情を高められたか。</p> <p>(ワークシート・発言)</p>

(5) 本時の評価

- ・ 先代から受け継いだ藍染の技術を守り、人間国宝に指定された「千葉 あやの」の生き方について考え、郷土の伝統を愛し、文化や技術を受け継ぐことを大切にしようとする心情を高める。

(6) 板書計画

↓ 参加 大切に守る

- ○ 踊り
- ○ お祭り

〈地域の伝統や文化〉

藍染の仕事についての一覧

- 朝早くから眠いけどがんばろう
- ・ 誰かに手伝ってほしい
- ・ わたしもやめたい
- どのように考えて続けようかと決めたのか
- ・ 藍染をする人が誰もいなくなってしまう
- ・ 受けついで技術を守らなければいけない
- ・ 藍染のすばらしさを守りたい
- あやのの生き方
- ・ 守り続けたことがすごい
- ・ ふるさとに伝わるものを守りたい

千葉 あやの

千葉あやのの写真

人間国宝

藍染…自然発酵による冷染

4 指導上のポイント

- ・ 事前に資料を読ませたり，資料を提示したりして，先人への興味や関心を持たせ，内容を十分理解させた上で話し合うことができるようにする。
- ・ 導入では1年を通してどんな仕事に携わっていたのかを表や写真などを用いて簡単に説明し，藍染の技術のすばらしさを感じさせたり仕事の大変さを想像させたりできるようにする。
- ・ 展開前段では，やめたいと苦悩する場面で，周囲から説得され，郷土のためにやめてはいけないと自分で決めた場面であやのの気持ちに共感しながら，ペアやグループで交流するなど児童が意見を交流できるようにする。その際，「やめてもよかったのではないか」などと更に問い掛け，藍染の仕事への責任だけではなく，愛情を持って仕事をしていたことに気付かせる。
- ・ 終末では，自分の住む地域の伝統や文化に目を向けるようにし，身近な地域の伝統や文化とどのように関わるのかを考えさせ，守りたい，大切にしたいという気持ちにつなげられるようにする。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

千葉 あやの — 藍染の技術を守る —

5年 組 番 名前 ()

○ 地域の伝統や文化について自分が関わられることを考えましよう。

○ 伝統を守ったあやのの生き方について，自分の感想を書きましよう。

○ なぜあやのは藍染をやめずに続けようと思ったのでしょうか。

(2) 掲示資料の例

3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	月
												新しい藍を作る仕事
												染める仕事
												布を作る仕事

・ 藍の種をまく。

・ 藍玉を作る。

・ 藍の種をまく。

・ 藍の床ぶせ（乾燥した藍を池の水でもどし、藍床で発酵させる）

・ 発酵させた藍を石臼とさねですりつぶす。

・ 藍を刈り取る。

・ 藍こぎをする。（葉のつみ取り）

・ 乾燥させる。

・ 葉をおひたしのようになるまでもみこむ。

・ 再び、乾燥させる。

・ 藍玉とならの木灰を使って染水を作り、ゆっくりと発酵をうながす。

・ 麻布を藍で染める。

・ 藍を乾燥させている写真

・ 麻玉とならの木灰を使って染水を作り、ゆっくりと発酵をうながす。

・ 麻布を藍で染める。

・ 麻の種をまく。

・ 麻を収穫する。

・ 麻糸を作っている写真

・ 麻を使って糸を作り布を織り上げる。

・ 麻の種をまく。

・ 麻を収穫する。

4月から3月までの藍染に関わる仕事一覧

中学校第1学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 志を持って生きる ○A-(5) 希望と勇気, 克己と強い意志
 ・A-(3) 個性の伸長

- 2 資料 「千葉 亀雄 — 新しい文学の発展のために —」
 (出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」 p.83 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

自分の夢に向かって行動し続けたり、いつでも新たな志を持ってその実現のために困難や障害を乗り越えようとした「千葉 亀雄」の生き方から、自分で決めた夢や目標に向かい、信念を持って努力しようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
幼少期、亀雄は父母の影響で読書が好きになる。貧しい中でも本に触れる機会を自ら作り出し、知識を深める。	本を読むといろいろなことを知ることができておもしろいし、楽しい。これからも、もっと本を読みたい。	幼い頃からの読書体験が文学の道を志す原動力になっていることや亀雄の人生の土台となっていることを捉えさせる。	○子供の頃の亀雄にとって、本とは、読書とはどのようなものだったのでしょうか。
才能を見いだされた亀雄は書生として鈴木に迎え入れられる。文学の道で生きることが志すが、勝手なことはできず思い悩む。しかし、最終的には自分の思いを貫き、東京へ出る。その後、ジャーナリストとして幅広く活躍する。	文学の道で身を立てたい。しかし、これまで大変お世話になってきた鈴木さんからの話も断れない。自分の夢をあきらめなければならないのだろうか……。でも、やはり文学の道に進みたい。	自分の志を貫くのか、鈴木から受けた恩を大切にするのか葛藤しながらも、文学の道に進みたいという思いのために行動した亀雄の思いを捉えさせる。	○亀雄はどのような思いを抱きながら、学校に行くふりをして図書館に通っていたのでしょうか。
新聞社に勤めた亀雄は、新聞の文芸欄に無名作家の作品を載せる。多くの批判にあいながらも、一切方針を曲げず、文学界に大きな功績を残した。	自分の思いを貫いて頑張ってきてよかった。	志を貫いた結果として成功を収めたときの亀雄の思いを捉えさせたい。	○ジャーナリストとして活躍するようになったとき、亀雄はどんなことを思ったのでしょうか。
新聞社に勤めた亀雄は、新聞の文芸欄に無名作家の作品を載せる。多くの批判にあいながらも、一切方針を曲げず、文学界に大きな功績を残した。	多くの人に読んでもらえる新聞を作りたい。そして、文芸欄にも有名な作家の作品ばかりではなく、たとえ無名でもよい作品を載せ、文学を多くの人のためのものにしたい。どんな批判にあっても、この方針は絶対に曲げない。	ジャーナリストとして大成したが、その後も次の志を立て、その実現のために思いを貫く亀雄の生き様を捉えさせ、人生を通して志を持って生きることが大切だということに気付かせる。	◎文学の世界で大きな功績を残すことができたのは、亀雄がどのような思いを大切に生きてきたからでしょうか。
若手作家らを世に送り出し、文学に新しい風を吹き込んだ。			

(3) 志教育との関連

- ・ 様々な困難や障害があってもそれを乗り越え、自分の信じた道を進もうとする亀雄の心情について考えさせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

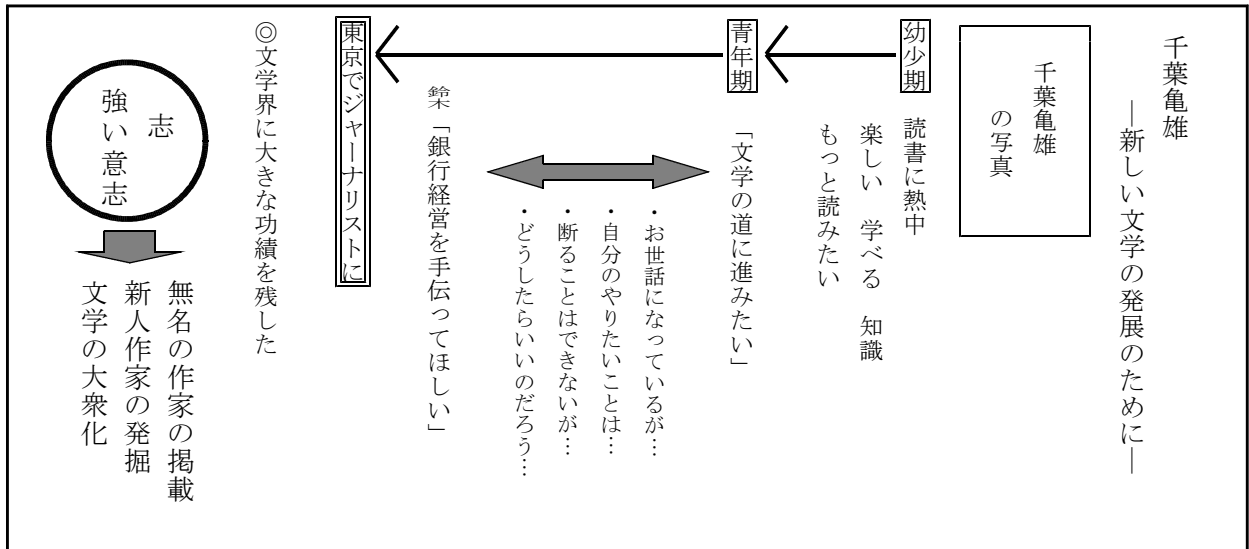
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 事前アンケートの結果を知る。</p> <p>○ 目標を設定して努力したことを思い出してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テストでよい点をとるために、勉強を頑張った。 ・ 徒競走で一番になるために、家の周りで走り込みをした。 ・ 目標を持って取り組んだことはあまりない。 <p>○ 今日は宮城県にゆかりのある先人千葉亀雄の姿から、夢や目標について学習します。</p>	<p>◆ 事前アンケートの結果を示し、改めて自分が目標を設定して努力した体験について考えさせたり、他の人の体験を知ったりすることで、本時の価値への方向付けを図る。</p> <p>◆ 事前に資料を読ませておく。それだけでは内容や時代背景を捉えられない生徒もいると考えられるので、適宜、補足説明を加えて内容理解につなげる。</p>
展開 前段 25分	<p>2 資料について話し合う。</p> <p>○ 子供の頃の亀雄にとって、本とは、読書とはどのようなものだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読んでいて楽しいもの ・ いろいろなことを学べるもの ・ 自分を育ててくれるもの ・ 貧しい生活の中での楽しみ ・ 将来のために必要なもの ・ 生活の一部 <p>○ 亀雄はどのような思いを抱きながら、学校に行くふりをして図書館に通っていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お世話になっている鈴木さんをうそをつくことになるが、文学の道に進みたいという思いは曲げられない。 ・ 人にどんなことを言われても、自分のやりたいことをやりたい。 ・ 大好きな読書から離れることはできない。 ・ 自分がやりたいものではないものの勉強をするよりも読書をしたい。 <p>○ ジャーナリストとして活躍するようになったとき、亀雄はどんなことを思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の志を貫いてよかった。 ・ これからも自分の目指す道で頑張ろう。 	<p>◆ 幼い頃から貧しい生活の中でも本を読み続けたことで、読書が好きになり、そのことが文学の道を志す原動力になっていることや読書自体が亀雄の人生の土台となっていることを捉えさせる。</p> <p>◆ 一つ一つの発言を大切に、発表しやすい雰囲気づくりを心掛ける。</p> <p>◆ 自分の志を貫くのか、お世話になった人への恩義を大切にするのか葛藤しながらも、文学の道に進みたいという思いのために行動した亀雄の思いを捉えさせる。</p> <p>◆ 書生として鈴木に迎え入れられ、大きな恩を受けていることを押さえた上で考えさせる。</p> <p>◆ 志を貫いた結果として成功を収めたときの亀雄の思いを捉えさせる。</p>

<p>展開前段 25分</p>	<p>・これで鈴木さんやお世話になったみんなに恩返しすることができる。</p> <p>◎ 文学の世界で大きな功績を残すことができたのは、亀雄がどのような思いを大切に生きてきたからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でやると決めたことは、どんなことがあっても最後までやり遂げようという思い。 ・ 文学の道に生きるという志を最後まで大切にしようという思い。 ・ 目標を立てて、それを実現するために行動し続けるという思い。 ・ 自分が大切だと思ったことは絶対に曲げないという思い。 ・ 自分を育ててくれた読書を多くの人に広めたいという思い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ジャーナリストとして大成したが、その後も次の志を立て、その実現のために思いを貫く亀雄の生き様が文学界に大きな功績を残すことにつながったことを捉えさせ、人生を通して志を持って生きることが大切だということに気付かせる。 ◆ 自分の考えをなかなか持てない生徒には、ジャーナリストになってからの亀雄だけでなく、幼少期からの亀雄の生き方を振り返って考えるよう助言する。 ◆ ワークシートに記入させることで、亀雄の思いをじっくりと考えさせる。 ◆ 机間指導をして、意図的指名に生かす。 ◆ 友達の発表をワークシートに簡潔にメモしながら聞かせることで、亀雄の思いについて考えを深めさせる。
<p>展開後段 15分</p>	<p>3 自分の生活を振り返り、これからの生活について考える。</p> <p>○ 千葉亀雄の生き方を学んで、これまでの自分、これからの自分について考えたことを書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標は決めても、そのための努力をしないで終わることが多いので、頑張りたい ・ 目標を決めることは簡単だが、それを行動に移すことは難しい。 ・ 何かで諦めそうになったとき、この話を思い出してみたい。 ・ 自分も叶えたい夢があるので、そのために頑張っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ この授業の中で心に芽生えた思いを大切にワークシートにまとめるよう指示する。 ◆ 自分の「これまで」と「これから」について考えさせることで自分の成長した姿を思い浮かべさせ、意欲を高めさせたい。 ◆ ペアやグループで交流してから全体で共有することで、価値に対する考えを深めさせたい。 <p>* 亀雄の生き方から、自分で決めた夢や目標に向かい、信念を持って努力しようという意欲を高めることができたか。(ワークシート)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 目標を設定して行動し続け、困難や障害にぶつかっても志を持って乗り越えた自分の体験談や生徒にとって身近な先輩の姿などを紹介することで、今日考えたことや心に芽生えた思いを大切にさせたい。

(5) 本時の評価

- ・ 「千葉 亀雄」の生き方から、自分で決めた夢や目標に向かい、信念を持って努力しようとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- 資料が長文であるため、事前に資料を配布して家庭学習として読ませるか、朝読書等の時間を使って読んでおくよう指示する。また、生徒には捉えづらい内容や時代背景もあると思われるので、適宜補足説明を行うことで、それぞれの発問でしっかりと考えられるようにする。
- 事前に目標の設定と実現のための努力についてアンケートをとり、導入で示すことで、学習への意欲付けと価値への方向付けを図るようにする。

5 参考資料

ワークシートの例

道徳

「千葉亀雄—新しい文学の発展のために」

番 氏名

◎文学の世界で大きな功績を残すことができたのは、亀雄がどのような思いを大切に生きてきたからか。

自分の考え

友達の考え

◎千葉亀雄の生き方を学んで、これまでの自分、これからの自分について考えたことを書こう。

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 やりとげる強い意志 ○A-(5) 努力と強い意志
・C-(17) 国や郷土を愛する態度
- 2 資料 「永澤 才吉 — 安全な水を人々に —」
(出典：みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.87 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

「郷土の人々の生活と未来を守りたい」という強い信念を持って水道敷設のために努力し続けた「永澤 才吉」の生き方から、自分で決めた夢や目標に向かい、くじけずに努力しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
古川で飲み水に苦しむ中、コレラの流行により、多くの人々が亡くなる。議会水道工事が決定され、才吉が戸長に選ばれる。	飲み水を何とかしなくては。コレラを防ぐためには、きれいな水が必要だ。水道を作って古川の人々を救いたい。住民のために頑張らなくては。水道によって人々の生活や古川の未来を守ろう。		
費用の大きさやコレラの再流行から、反対運動が起こる。			
水道工事实現のためにできることは何でもやり、たった一人で水道の必要性を訴え続ける。	水道工事は絶対に必要だ。諦めるわけにはいかない。必ず分かってもらえる日が来る。何とかして水道工事を進めたい。水道ができれば人々を助けることができる。村の人々の命と生活を守りたい。	古川の人々を救いたいという強い信念を持って努力し続けた才吉の思いについて考えさせる。	○才吉が自らの財産を投げ、命の危険を感じても、水道工事のために行動し、説得を続けたのは、どのような思いからでしょうか。
才吉の呼び掛けに賛同する人が増え、「水工会」が結成されて水道工事が始まる。	いよいよ水道工事が始められる。絶対に水道を完成させるぞ。ここで諦めるわけにはいかない。最後までやり遂げてみせる。何としても水道を完成させて、村の人々を救いたい。		
明治17年、工事が完了し井戸に水が通る。今も人々が安心して飲めるおいしい水を送り続けている。	諦めなくてよかった。やっと努力が報われた。これからは、村の人々が水に困らなくて済む。これで、人々が安心して生活できるようになる。もう、汚れた水で人々の命が奪われることはない。	多くの困難を乗り越えて水道工事を完成させたときの才吉の心情に十分に共感させる。	◎井戸の中に勢いよく水が流れ出したとき、静かにこぶしを握りしめながら、才吉はどんなことを考えたでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 困難に直面しても、諦めずに粘り強く努力し続ける才吉の姿を捉えさせることにより、目標に向かって、信念を持ってやり遂げようとする意欲を高める。【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 3分	<p>1 自分たちの生活における「水道」の役割について考える。</p> <p>○ 私たちの生活に水道が必要なのはどうしてでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつでも水が手に入るため。 ・ きれいな水が飲めるように。 ・ 安全な水を飲むため。 	<p>◆ 水が出ている水道の蛇口の写真を提示し、蛇口を回せばきれいな水が出てくる、という当たり前のことが、私たちの生活にとって大切なことであると確認し、学習への方向付けを図る。</p>
展開 前段	<p>2 資料を読んで、才吉の思いについて話し合う。</p> <p>○ 才吉の言葉や行動で、驚いたことや心に強く残ったことは何ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんなに反対されても、粘り強く説得を続けたのがすごい。 ・ 自分の財産を使ってまで工事をしたことに驚いた。 ・ 水道工事のために、最後まで諦めず、できることは何でもやったのがすごい。 ・ 8kmを60cmの管でつなぐのが大変そう。 ・ 私たちが安心して水を飲めるのは、才吉のおかげなんだと思った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「やりとげる」ということについて考えよう。</p> </div>	<p>◆ 資料は事前に読んでおき、才吉の言葉や行動の中から、驚いたことや心に強く残ったことについて感想を書かせておく。</p> <p>◆ 児童の感想の中から、本時のねらいに関わる記述を取り上げ、「やりとげる」ということについて考えていくことを確認する。</p>
22分	<p>○ 才吉が自らの財産を投げ、命の危険を感じても水道工事のために行動し、説得を続けたのは、どのような思いからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必ず分かってもらえる日が来る。 ・ 何とかして水道工事を完成させたい。 ・ 水道工事は絶対に必要だ。諦めるわけにはいかない。 ・ 私が諦めてしまったら、古川の未来はない。 ・ 村の人々が安全な水を使えるようになれば、安心して生活できる。 ・ 村の人々の命を守りたい。 	<p>◆ 費用の莫大さとコレラの再流行により、村民の反対運動を受けたことを押さえる。</p> <p>◆ p. 88L14~p. 89L3を音読し、児童の感想の中から才吉が水道工事のために行ったことを確認した上で、発問を投げ掛ける。</p> <p>◆ 「みんなが反対しているのだから、諦めてもよかったのではないか」と揺さぶりの補助発問を投げ掛け、近くの席の友達と考えを交流させる。このことにより、古川の人々を救いたいという強い信念を持って努力し続けた才吉の思いについて、話し合いの中で捉えさせるようにする。</p>

<p>展開前段</p> <p>22分</p>	<p>◎ 井戸の中に勢いよく水が流れ出したとき、静かにこぶしを握りしめながら、才吉はどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諦めなくてよかった。 ・ 努力が報われた。 ・ 私がやってきたことは、間違っていなかった。 ・ もう、村の人々が水に困らなくて済む。 ・ これで、人々が安心して生活できるようになる。 ・ もう、汚れた水で人々の命が奪われることはなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ p. 89L4~p. 89L14を音読し、才吉の呼び掛けに賛同する人が増え、「水工会」が結成されて水道工事が始まったこと、近代的水道工事の難しさ、費用の問題、再三起きる反対運動などの困難にも諦めず、最後まで尽力したことを押さえる。 ◆ 中心発問を投げ掛け、村民のために強い信念を持って努力し続けたことが実現したときの、才吉の心情に十分に共感することができるようにする。 ◆ 自分の考えを書かせることで、才吉の思いについてじっくりと考えさせる。 ◆ 全体で考えを共有する際には、意図的指名により、多様な考えに触れることができるようにする。 * 強い信念を持って努力し続けた才吉の思いについて考えることができたか。 (ノート, またはワークシート)
<p>展開後段</p> <p>17分</p>	<p>3 才吉の生き方から学んだことを、これからの自分にどう生かすかを考える。</p> <p>○ 才吉の生き方から、「やりとげる」とはどういうことだと考えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で決めたことを最後までやり続けること。 ・ 壁にぶつかっても、諦めずに何度でも挑戦すること。 ・ 苦しくても諦めずに努力すること。 <p>○ 目標を立てて「やりとげたい」と思うことは何ですか。それは、なぜですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持久走の練習では、苦しさに負けて歩いてしまうことがあった。小学校最後の記録会なので、最後まで走り抜いて自己ベストを更新したい。 ・ これまでは、毎日の宿題に取り組むだけだった。中学校生活に向けて、毎日自主勉強にも取り組んでいきたい。 ・ 将来、音楽の勉強をしたいと思っているので、今は、毎日のピアノの練習に集中して一生懸命に取り組みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 才吉の生き方から学んだことを、自分自身の言葉で書かせることにより、価値の大切さについて改めて考えることができるようにする。 ◆ 「やりとげたい」と思う理由も問うことで、単なる決意表明に終わらせず、これまでの自分やこれからの自分を具体的に思い描きながら、今後の自分について考えることができるようにする。 ◆ ペアやグループでの交流の後、全体で共有することで、目標に向かって努力することへの意欲を高めるようにする。 * 本時の学習を通して、自分で決めた夢や目標に向かいくじけずに努力することの大切さを理解し、今後の自分について考えることができたか。 (ノート, またはワークシート)
<p>終末</p> <p>3分</p>	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 導入で提示した水道の写真を再度提示する。才吉の強い信念、やりとげる強い意志によって、100年以上未来の私たちの命と生活が守られていることを確認し、道徳的な価値だけでなく、先人の業績を肌で感じることができるようにする。

(5) 本時の評価

- ・ 強い信念をもって努力し続けた「永澤 才吉」の思いについて考えることができる。
- ・ 本時の学習を通して、自分で決めた夢や目標に向かいいくじけずに努力することの大切さを理解し、今後の自分について考えることができる。

(6) 板書計画

永澤 才吉
やりとげる

永澤才吉
写真

水道工事
ばく大な費用
コレラの再流行

反対運動
自分の財産
陰口・命の危険
費用節約の工夫
県令に直接願い出る

ビラを配りながら説得をする才吉の挿絵

- ・ 必ず分かってもらえる
- ・ 水道は絶対に必要だ
- ・ あきらめないぞ
- ・ 古川の未来のために
- ・ 人々の命を守りたい

水工会
近代的水道工事

井戸に通水する様子を見て喜ぶ挿絵

- ・ あきらめなくてよかった
- ・ 努力が報われた
- ・ これきれいな水が
- ・ 人々が安心して生活できる

☆ 「やりとげる」とは

4 指導上のポイント

- ・ 朝読書の時間等を活用して、事前に資料を読ませておく。才吉の言葉や行動で驚いたことや心に強く残ったことを簡単に書かせておき、児童の感想を本時の課題や発問につなげるようにする。
- ・ 本時は、必要な部分のみ範読することで、考える時間や書く時間、話し合う時間を確保する。
- ・ 資料には、水道工事を始めるまでの困難さと、水道工事自体の困難さが描かれているが、本時は水道工事を始めるまでの困難さを中心に提起し、価値について考えさせる。

5 参考資料

ワークシートの例

永澤 才吉 — 安全な水を人々に —
番 名前)

○ 井戸の中に勢いよく水が流れ出したとき、静かにこぶしを握りしめながら、才吉はどんなことを考えたでしょう。

井戸に通水した様子を見て喜ぶ挿絵

○ 才吉の生き方から…

○ 目標を立てて「やりとげたい」と思うことは何ですか。

中学校第1学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 決断と信念 ○A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
 ・C-(17) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度

- 2 資料 「日野 藤吉 — 梨の栽培で村を救う — 」
 (出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p. 93 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

自分の田をつぶしてまで梨づくりを始めた決断力と, 強い信念を持ち続けた「日野 藤吉」の生き方を通して, 自分の信念に従って, 困難を乗り越え目標を達成しようとする態度を育てる。

(2) 資料の分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
農作物が不作だった年, 石巻に釣りに出かけた藤吉。	誰よりも真面目に米づくりに取り組んだのに, 天候が悪いため不作でがっかりだ。 米が取れなくても梨は実るのか。 梨は米ほど天候に左右されない。 利府にも, 梨を植えることはできないだろうか。		
我が子のように大切に耕してきた田んぼを, 何日も何日もじっと見つめる藤吉。	村を救うには, 梨の栽培しかない。 米は育たなくても梨は実っていた。 これまで誰よりも大切にしてきた田んぼをつぶすのは間違っているのだろうか。	誰よりも米づくりにまじめに取り組んできた藤吉が田をつぶすとき, 自分の決断が正しいのか, 藤吉が悩む気持ちを考えさせる。	○大切にしてきた田んぼを, 何日も何日もじっと見つめながら, 藤吉はどんなことを考えたのでしょうか。
大切にしてきた田をつぶして, 梨の苗木を植え始めた藤吉。	藤吉はバカ者だ。 真面目に米づくりをしてきたのに台無しだ。 藤吉は失敗するに決まっている。	真面目な藤吉の決断が, 他の村人にとっては奇異な行動に見え, 梨栽培の始まりは困難だったことに気付かせる。	○村人たちの, 藤吉を見る「冷ややかな目」には, どんな気持ちがかもっているのでしょうか。
手間もお金も掛かる梨づくりを毎日, 根気強く続ける藤吉。	自分で決断したからには, 信じてやり通さなければならない。 他の農家は, これまでと変わらず米づくりに取り組んでいる。		
長い年月をかけて, 梨づくりの新しい取組の毎日の中で, 鍬を持つ手が血でにじむようになった藤吉。	本当に梨づくりは成功するのだろうか。 あの時, 大切な田んぼをつぶした決断は正しかったのだろうか。 梨づくりを必ず成功させよう。	梨づくりの日々は, 強い信念が必要であったことはもちろん, なかなか成果が見えないことに焦りや不安があったであろうということを想起させる。	◎いつしか血がにじむようになった自分の手を見て, 藤吉はどんなことを考えたのでしょうか。
今まで冷ややかだった村人にも, 梨づくりを教えたり道具を貸した藤吉。	梨づくりで村を救いたい。 自分の成功だけにしないで, 村人の役に立ちたい。	分け隔てなく村人を救う取組が, 郷土の発展に結びつき, 後に「大恩人」とたたえられることを押さえる。	○藤吉は, どんな気持ちで村人に梨づくりを教えたり, 道具を貸したりしたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- 自分の田んぼをつぶしてまで梨栽培を始める決断をして、困難や不安と向き合いながら信念を貫いた藤吉の生き方から、より高い目標に向かって粘り強くやり通そうとする意欲や志を高める。【もとめる】
- 自分の決断や行動に対して、批判的な態度だった村人にも分け隔てなく梨栽培を教えたり、道具や資金を貸した藤吉の行動から、人の役に立つこと、郷土のために貢献する行為の尊さを感じ取らせる。【もとめる】【はたす】
- ワークシートへの記入から、今の生き方を見つめ自分へのエールを送ることで、今後の生き方を前向きに捉えるきっかけとする。【はたす】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 利府町の梨栽培と日野藤吉に関心を持つ。</p> <p>○ この写真の風景の場所は、どこか知っていますか。知っていることを上げてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 利府の梨を売っているところだ。 利府の特産物だ。 <p>○ 今回は、利府に梨栽培をもたらして、のちに「大恩人」とたたえられた、日野藤吉の生き方から学びます。</p>	<p>◆ 利府街道沿いの、梨の路上販売店が軒を連ねている風景の写真を提示し、身近な地域の人物を題材に取り扱うことで興味を喚起し、日野藤吉への関心を持たせる。</p> <p>◆ 日野藤吉の顔写真を見せることで、人物像をイメージ化しやすくする。</p>
展開 前段 30分	<p>2 全文を通読し、藤吉の決断と強い信念について話し合う。</p> <p>○ 大切にしてきた田んぼを、何日も何日もじっと見つめながら、藤吉はどんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 村のためにも梨づくりを必ず成功させよう。 大事に世話をしてきた田んぼをつぶしていいのだろうか。 本当に梨は実るのだろうか。 失敗したらどうしよう。田んぼをつぶすのはやめておいた方がいいのだろうか。 <p>○ 村人たちの、藤吉を見る「冷ややかな目」には、どんな気持ちがこもっているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大切な田んぼをつぶして何をやっているんだ。 梨づくりなんて成功するわけがない。 藤吉はどうしてしまったんだ。 	<p>◆ 真面目で誠実な人柄の藤吉が、我が子のように大切に世話をしてきた田んぼをつぶしてまで梨栽培を始めた決断の重さ、大きさを感じ取らせる。</p> <p>◆ 藤吉の奇異な行動から、いかに梨づくりが大変なことであったかを理解させる。</p>

<p>展開前段 30分</p>	<p>◎ いっしょに血がにじむようになった自分の手を見て、藤吉はどんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のやっていることは正しいのか。 ・ 本当に梨は実るのだろうか。 ・ 村人のためにも、この梨づくりを絶対に成功させよう。 ・ 私が頑張らなくては村の発展はない。 ・ 今の努力は、決して無駄にはならないはずだ。 ・ この梨づくりが成功すれば、苦しい生活の村人たちを救えるはずだ。 <p>○ 藤吉は、どんな気持ちで村人に梨づくりを教えたり、道具を貸したりしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梨づくりで村を救いたい。 ・ 自分の成功だけでなく、村人の役に立ちたい。 ・ 分け隔てなく村人を救おうとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 多様な意見に触れさせるため、ワークシートに記入後は、ペアやグループで意見を交換し合いながら、藤吉の思いを感じ取らせる。 ◆ 梨づくりの日々は、強い信念が必要であったことはもちろん、なかなか成果が見えないことに焦りや不安があったことも想起させる。 ◆ 決断が確信に変わっていくまでの心情だけでなく、不安や焦りが後悔に変わりかけたこともあったのではないかなど、本音の意見も引き出す。 ◆ この場面で、なぜここまで梨づくりに取り組むことができたのか、その強さを理解させる。 <p>* 自分の田をつぶしてまで梨づくりを始めた決断と、村の発展のために強い信念を持ち続け努力した、藤吉の生き方に共感することができたか。 (ワークシート、発言・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 藤吉の分け隔てなく村人を救う取組があったからこそ、のちに「大恩人」とたたえられたことに気付かせる。 ◆ 藤吉を「バカ者」扱った村人に、なぜ親切に教えることができたのか、揺さぶりの発問を投げ掛ける。
<p>展開後段 6分</p>	<p>4 藤吉の生き方について考える。</p> <p>○ 藤吉のような生き方をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 村の発展のために最後まで諦めず努力することはすばらしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全体への発表を通じて、自分の信念に基づいてあきらめず努力し続けた藤吉の生き方を振り返らせる。
<p>終末 4分</p>	<p>5 今の自分が頑張っていることや悩んでいることなど、肯定的に自分を見つめるきっかけとする。</p> <p>○ 今日の授業を今後、これからの自分の生活に生かすために、今の自分にどんな励ましの言葉をおくれますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 目標達成のために努力している自分、頑張っている自分に目を向けさせ、自己有用感を高めさせたい。 * これまでの自分の生活や取組を肯定的に捉え直し、前向きに生きていこうと考えることができたか。(ワークシート)

(5) 本時の評価

- ・ 自分の田をつぶしてまで梨づくりを始めた決断力と、強い信念を持ち続けた「日野 藤吉」の生き方を通して、自分の信念に従って、困難を乗り越え目標を達成しようとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画

4 指導上のポイント

- ・ 田んぼを「じっと」見つめている場面から、真面目な性格でどの農家よりも熱心に米づくりに取り組んできた藤吉の梨作りによる村への貢献や人々を思う気持ちとともに、田んぼをつぶす「不安」や梨づくりを成功できるかという「心配」の気持ちを考えさせたい。
- ・ 田をつぶして梨づくりを始めた「決断」と「不安」、梨が実るまでの「不安」と「信念」を対比させながら考えさせる。また、視覚的にも対比しやすいように、板書の構造化に留意する。
- ・ 藤吉の取組を否定的に捉えバカにしていた村人にも梨栽培を教え、道具や金を貸して梨栽培を広めようと、郷土に貢献した藤吉の偉大さを想起させる。
- ・ 終末段階では、ワークシートを活用して、マイナスの感情に向かないように留意させ、肯定的な言葉で自分の生活を見直させるようにする。

5 参考資料

ワークシートの例

小学校第5学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 差別や偏見に立ち向かう ○C-(13) 公平, 公正, 社会正義
 ・A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志

- 2 資料 「布施 辰治 — 弱い立場の人々のために —」
 (出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.97 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

弱い立場の人々のために、命の限りを尽くした「布施 辰治」の生き方から、差別や偏見に向き合い、公正で公平な気持ちを持って行動しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
明治13年、牡鹿郡蛇田村に生まれる。	「立身出世を求めず、貧しくても富を求めず、正しい行いをしていくことが大切だ」と考え、親の反対を押し切って上京する。	正しい行いをすることは弁護士でなくても構わないが、弱い立場の人々を助けるという思いで弁護士となったことを捉えさせる。	○子供の頃から「正しい行いをしていくことが大切だ」と考えていた辰治は、なぜ弁護士になったのでしょうか。
新聞配達や納豆売りなどの仕事をしながら一生懸命勉強に励む。	判事登用試験に合格し、司法官試補となったが、自分の仕事に疑念を感じ、司法官試補をやめて弁護士となる。		
米騒動における被告人の弁護を引き受ける。	米の値段が上がリ、困っている人が大勢いることを考えると居ても立ってもいられなくなる。		
他の弁護士の2倍も3倍も仕事をし、忙しい日々を送る。	減ることのない山積みの書類に目を落とし、『立場が弱く生活に苦しむ人々は少しも減らない。このままでいいのだろうか』と思う日々を送る。		
朝早く、疲れた男がわらにもすがり思いで法律事務所に来てきた。	仕事もお金もなく、泣き続ける男の背中を、辰治はたださすることしかできなかった。玄関から出て行く男の背中に、「私はこれからも、困っている人を一人でも多く助けるために命の限り頑張る。」と語りかける。	泣き続ける男の言葉に、何一つ具体的な返事をするのができなかった辰治の心情を捉えさせる。	○辰治は泣き続ける男の背中をただたださすることしかできなかったのは、なぜでしょうか。
植民地とされた朝鮮・台湾の人々に対するひどい扱いについて調査・抗議をしたり、弁護を数多く引き受けたりした。	「生きべくんば民衆と共に、死すべくんば民衆のために」という信条を曲げず、政治的、社会的に弱い立場の人々に寄り添い続け、その救済に努力した。	一人の弁護士としてできることはあまり多くないかもしれないが、せめて、弱い立場の人に寄り添っていきたいという辰治の心情を捉えさせる。	◎「生きべくんば民衆と共に、死すべくんば民衆のために」という信条は、辰治のどのような気持ちから生まれたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 幼少時より「正しい行いをしていくことが大切だ。」と考え、それを実践するために、苦勞してなった司法官試補をやめて、弁護士として生きていく決心をした思いに共感させる。【もとめる】
- ・ 権力と対決する場に身を置いても、政治的、社会的に弱い立場の人達の救済に努力した布施辰治の生き方を考えさせる。【はたす】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 3分	<p>1 「弁護士」という仕事について確認する。</p> <p>○ 「弁護士」について知っていることを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 裁判の時に弁護する人。 ・ 公正、公平な人。 	<p>◆ 「弁護士」という仕事について、裁判においての裁判官、検察官、弁護士の立場を明らかにし、弁護士は被告人の権利や利益を守ることも仕事の一つであることを確認する。</p> <p>◆ 弁護士記事の写真(写真①)を見せて、記事の中央に描かれている天秤は、公正、公平を意味していることに気付かせる。</p>
展開 前段 30分	<p>2 資料「布施 辰治 — 弱い立場の人々のために —」を読んで話し合う。</p> <p>○ 子供の頃から「正しい行いをしていくことが大切だ」と考えていた辰治は、なぜ弁護士になったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辰治が考える正しい行いとは、弱い立場の人を助けることだったから。 ・ 弁護士は弱い人の味方だから。 ・ 子供の頃からの夢を実現するため。 <p>○ 辰治は泣き続ける男の背中をただたださすことしかできなかったのは、なぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辰治には何もすることができなかったから。 ・ 仕事を紹介したり、ご飯を食べさせたりすることができなかったから。 ・ 「すまない」という気持ちから。 	<p>◆ 資料の内容を確認させるため、教師が範読する。(写真②)</p> <p>◆ 導入部分の弁護士の仕事を振り返らせ、辰治がなぜ弁護士になったかを考えさせる。</p> <p>◆ 「正しい行い」とは、個人によって考え方に違いがあるが、辰治にとっての「正しい行い」として考えさせる。辰治が司法官試補をやめて、弁護士になったことについて、権力側ではなく、弱い立場の被告側についてことに気付かせる。</p> <p>◆ 泣き続ける男の言葉に、弱い対場の人を助けるために弁護士になったのに、何一つ具体的な返事をする事ができなかった辰治の心情を捉えさせる。</p> <p>◆ 男と辰治の役割演技をさせ、場面を再現することで辰治の無念さを感じ取らせる。</p> <div data-bbox="879 1556 1437 2002" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>役割演技 台本</p> <p>男 雇ってくれるところがなく、このままでは家族と生活していくことが…。どんな仕事でもやります。どうしたらいいでしょうか。</p> <p>辰治 そうですか。仕事をするには何よりからだが大事です。食事はしっかりできていますか。</p> <p>男 もうお金は底をつきました。家族みな、昨日から何も食べていません。</p> <p>辰治 ……………。</p> </div>

<p>展開前段</p> <p>30分</p>	<p>◎ 「生きべくんば民衆と共に、死すべくんば民衆のために」という信条は、辰治のどのような気持ちから生まれたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弱い立場の人と一緒に生きて、弱い立場の人のために死にたいと思うから。 ・ 立場の弱い人達のために一生を捧げようと思ったから。 	<p>◆ 文語調であるために、口語調の訳を付けて提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「生きていくのならば、人々と一緒に生きていく、 「生きべくんば民衆と共に、 死ぬのならば、人々のために死んでいく」 死すべくんば民衆のために」</p> </div> <p>◆ 一人の弁護士としてできることはあまり多くないかもしれないが、せめて、弱い立場の人に寄り添っていきたいという辰治の心情を捉えさせる。</p> <p>* 弱い立場の人々のために働こうとしている辰治の思いに共感することができたか。 (ワークシート、発言、観察)</p>
<p>展開後段</p> <p>10分</p>	<p>3 辰治の行動や生き方から学んだことを、これからの生活にどう生かすかについて考える。</p> <p>○ 意地悪をされて困っている友達がいたら、自分ならどうしますか。考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困っている友達の味方になる。 ・ 一緒にいる。 ・ 意地悪をしている友達にはっきり言う。 	<p>◆ 自分自身との関わりから考えさせ、実践化への意欲化を図る。</p> <p>◆ 意地悪をされて困っている友達の気持ちを感じ取らせ、自分の考えを深めさせる。</p> <p>◆ 参考になる児童の考えがあったら、全体の場で取り上げ、共有化を図る。</p> <p>* 差別や偏見（いじめ）に向き合い公正で公平な態度で行動しようとする気持ちを持つことができたか。 (ワークシート、発言、観察)</p>
<p>終末</p> <p>2分</p>	<p>4 辰治のその後について知る。</p>	<p>◆ 平成8年に石巻市蛇田あけぼの南公園内に顕彰碑が立てられている。(写真③)</p> <p>◆ 平成16年に、日本人として初めて韓国建国勲章を受章したことを知らせる。(写真④)</p>

(5) 本時の評価

- ・ 弱い立場の人々のために、命の限りを尽くした「布施 辰治」の生き方に触れ、差別や偏見に向き合い公正で公平な態度で行動しようとする気持ちを持つことができる。

(6) 板書計画

弱い立場の人々のために

写真①
弁護士記事

・ 弁護士とは
・ 弁護する人
・ 公正公平な人

写真②
布施辰治

辰治が弁護士になったのはなぜでしょうか

- ・ 立場の弱い人を助けるため
- ・ 弱い人の味方だから
- ・ 子供の頃からの夢だから

背中をただたださすることしかできなかったのはなぜでしょうか

- ・ 何もすることができなかったから
- ・ 「すまない」という気持ちから

この信条はどうして生まれたのでしょうか

「生きていくのならば、人々と一緒に生きていく
「生きべくんば民衆と共に、
死ぬのならば、人々のために死んでいく」
死すべくんば民衆のために」

意地悪をされて困っている友達がいたら自分ならどうしますか

- ・ 困っている友達の味方になる
- ・ 一緒にいる
- ・ 意地悪をしている友達にはっきり言う

写真③
顕彰碑

写真④
韓国建国勲章

4 指導上のポイント

- ・ 「弁護士」について、裁判における裁判官、検察官、弁護士の立場を明らかにし、弁護士は被告人の権利や利益を守ることも仕事の一つであることを確認してから授業を展開する。
- ・ 展開前段では、辰治の弱い立場の人々を救おうとする生き方に共感させる。その中で、全てが自分の力ではどうにもならないこともあるという葛藤に触れさせる。
- ・ 辰治と泣き続ける男との会話に役割演技を取り入れることで、辰治の言葉にならない無念さを感じ取らせ、その後の辰治の心情に迫らせる。
- ・ 展開後段では、意地悪をされて困っている友達の気持ちを感じ取らせることで、公平・公正な態度で、行動しようとする気持ちを持たせる。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

弱い立場の人々のために

名 前 _____

① 「生きべくんば民衆と共に、死すべくんば民衆のために」という信条は、辰治のどのような気持ちから生まれたのでしょうか。

② 意地悪をされて困っている友達がいたら、自分ならどうしますか。考えてみましょう。

(2) 提示用資料の例

写真① 弁護士記章の写真

写真② 布施辰治の写真（みやぎの先人集第2集 p. 97）

写真③ 顕彰碑の写真（みやぎの先人集第2集 p. 100）

写真④ 韓国建国勲章の写真

中学校 1 学年 特別の教科道徳学習指導略案

1 主題名 よりよい社会の実現に努める ○C-(12) 社会参画, 公共の精神

2 資料 「星 泰三郎 — 一日も休まない図書館長 —」
(出典: みやぎの先人集第 2 集「未来への架け橋」 p.101 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

図書館をつくり, その館長として39年に渡り一日も休まずに地域の人たちのために, 開館し続けた「星 泰三郎」の生き方を通して, 進んで公共のために役立とうとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
泰三郎は小学校の教師として働きながら, 子供たちが社会に尽くす人になってほしいという願いを持っていた。	金山は日本一小さい町だ。だからこそ, 子供たちには, 広い世界に出て, 社会に尽くせる人になってほしいと言っていた。しかし, どうすればよいか分からない。	小さな世界にとどまることなく, 広い世界に出て社会のために尽くす人に育ててほしいと願った泰三郎の考えを捉えさせたい。	○泰三郎はなぜ図書館をつくらうと考えたのでしょうか。
次々に教え子たちが戦地へと旅立ち, 終戦を迎える。	図書館で学ぶことの楽しさを知った教え子たちだったが, 次々に戦地へと旅立った。終戦を迎えた日に教え子たちの顔が次々に浮かび, 自分はこれからどのように生きるべきか悩んだ。	目を輝かせて本を読んでいた教え子たちの中には, 戦争で亡くなった子もいた。	○戦争が終わった日, 青空を見上げた泰三郎の心に教え子の顔が次々に浮かんだのはなぜでしょうか。
教師を辞め, 金山に戻った泰三郎は, 地域のために道路の掃除をした。その泰三郎を再び地域の人々は図書館長として迎え入れる。	多くの卒業生がこの戦争で命を落とすことになってしまった。生き残った自分にできることは何だろう。図書館長として迎え入れてくれた地域の人たちやこれからの時代を築く子供たちのためにも, 本をたくさん読んでもらいたい。		
思いがけず, 泰三郎にお金を贈ってくれた人がいた。そのお金を全額町に寄付した。	図書館が建てて40年が過ぎようとしていて, 本を収めるスペースも狭くなってしまった。頂いたお金を町に寄付し, 新しい図書館建設の資金の一部にしてもらおう。		
新しい図書館ができ, 図書館の仕事が再び忙しくなる。いつの間にか利用する子供たちが手伝いをするようになっていた。	図書館の仕事が再び忙しくなり, また以前のように図書館がにぎやかになった。忙しいが, 子供たちが喜ぶ様子がうれしい。頑張ろう。手伝う子供も現れて, うれしい。自分は年をとってしまったが, やれるところまで頑張ろう。	これまでの泰三郎の生き方を捉え, 泰三郎にとって図書館を開くことはどのような意味を持っているかを考えさせたい。	◎再び館長になった泰三郎は, どんな気持ちで一日も休まず図書館を開け続けたのでしょうか。

		泰三郎と自分の生き方を対比させ、人間としての生き方や社会の在り方について深く考えさせたい。	○人のために頑張ったことや良いことをした経験、そしてこれから自分はどうな生活をしていきたいか発表しましょう。
--	--	---	--

(3) 志教育との関連

- ・ 教師として働いていた泰三郎がいつも子供たちに言っていた言葉を通して、社会に尽くす人になってほしいという願いがあったことに気付かせる。【もとめる】
- ・ 39年の長きに渡って一日も休まずに図書館を開館し続けた泰三郎の姿から、勤労が自分のためだけでなく社会生活を支えるものであることを捉えさせる。【はたす】

(4) 学習指導過程

段階時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 星 泰三郎の胸像の写真を見て、関心を持つ。</p> <p>○ 地域の人たちがこの胸像を図書館の前に建てたのはなぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館に関わりのある人だから。 ・ 図書館のためになることをした人だから。 <p>○ この時間は、この人物がどのように生きた人なのかを知り、この人物の生き方を考えましょう。</p>	<p>◆ なぜ胸像が図書館の前に建てられたのかを考えさせることで、本時の人物についての興味を持たせる。</p> <p>◆ この人物がどのような生き方をしたのかを考えることを伝え、意欲付けを図る。</p>
展開前段 25分	<p>2 本時の資料「一星 泰三郎」を読む。</p> <p>3 泰三郎の生き方について考え、話し合う。</p> <p>○ 泰三郎はなぜ図書館をつくろうと考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学ぶことの楽しさを知ってほしい。 ・ 自ら学ぶ子供のためには、本を読むことが必要である。 <p>○ 戦争が終わった日、青空を見上げた泰三郎の心に教え子の顔が次々に浮かんだのはなぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本が好きだった子供たちはどうなっただろう。 ・ 戦争で、教え子が亡くなってしまいうんてくやしい。 ・ もっと子供たちに学ばせたかった。 ・ 子供たちのためにできることをしよう。 <p>◎ 再び館長になった泰三郎は、どんな気持ちで一日も休まず図書館を開け続けたのでしょうか。</p>	<p>◆ 資料は教師が音読し、児童にとって難しい言葉を補足するなどして、話の筋をつかませるようにする。</p> <p>◆ 当時の時代背景(本が高価だったことや、入手するのが困難)に触れる。</p> <p>◆ 泰三郎がいつも子供たちに言っていたことから、社会のために尽くす人になってほしいと考えていたことを捉えさせる。【もとめる】</p> <p>◆ 戦争が終わった日に、亡くなった教え子の顔が浮かんだのはなぜだったのかを考えさせる。</p> <p>◆ 社会のためとは何か、みんなのためとは何かについて考えさせる。</p> <p>◆ 人間が働くことの意義とは何かについて</p>

<p>展開前段 25分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちのため、地域の人たちのために役立ちたい。 ・ 自分を支えてくれる地域のためにできることを続けよう。 ・ 自分に期待してくれている人たちの思いに応えたい。 ・ この地域の人たちに本で夢を与えたい。 	<p>でも考えさせ、自分の言葉で表現させる。 【はたす】</p> <p>* 泰三郎の思いを考えながら書くことができているか。(ワークシート、観察)</p>
<p>展開後段 15分</p>	<p>4 泰三郎と自分の生き方を対比させ、今後の自分に生かそうと考えたことについて話し合う。</p> <p>○ この人の生き方から学んだことや今後の生活に生かしたいことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミが落ちて困っている時に拾ってくれた友達がいた。 ・ 廊下に水がこぼれていた時に拭いてくれた人がいた。 ・ 自分のためだけでなく、社会のためになる生き方をしていきたい。 	<p>◆ 泰三郎の生き方から、これまでの自分の経験やこれからの生き方について考えたことを発表させる。</p> <p>* 泰三郎の生き方から、自分がどのように生きるべきかまで考えることができているか。 (ワークシート、発言、観察)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p> <p>(参考) アンドリュー・カーネギー「図書館を心から愛した男」(絵本)を読み、アメリカにも社会のために尽くした人がいたことを知る。</p>	<p>◆ 子供たちから出てきた考えや望ましい振る舞いなどを織り交ぜ、社会参画や公共の精神を持った生き方についての話を聞かせて締めくくる。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 39年間一日も休まずに図書館を開け続けた泰三郎の生き方を通して、社会に役立つ生き方をしようという思いや志を持つことができる。

(6) 板書計画

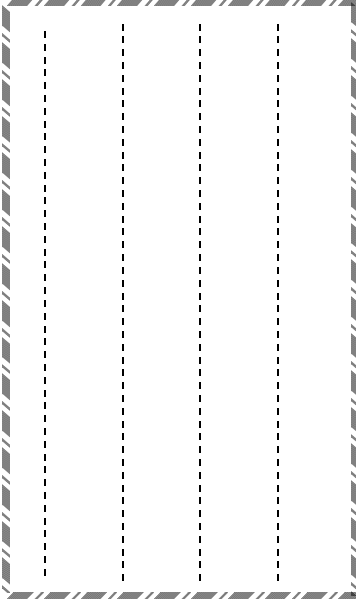
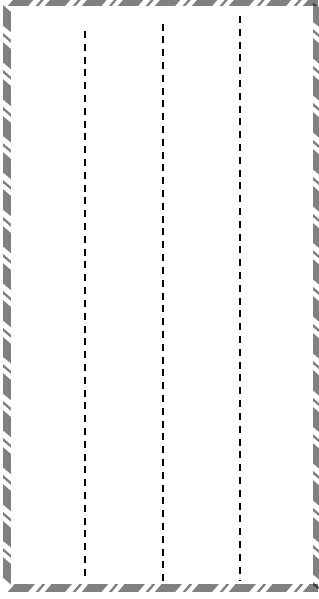
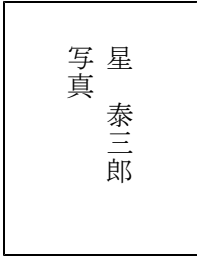
<p>○なぜ図書館をつくろうと考えたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学ぶことの楽しさを知ってほしい ・ 自ら学ぶ子供のため <p>○戦争が終わった日、泰三郎の心に教え子の顔が次々かんだのはなぜだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦争で亡くなってしまい悲しい ・ 本が好きだった子供たちはどうなったのだろう ・ これから子供たちのために何ができるだろう <p>○泰三郎はどんな気持ちで一日も休まず図書館を開け続けたのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちのため ・ 地域の人たちのため ・ 自分を支えてくれる地域のためにできることを続けよう <p>○泰三郎の生き方から考えたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大勢の人のため、地域の人のために生きた 	<p>星 泰三郎 (一日も休まない図書館長)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>星 泰三郎 胸像写真</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一八九三年 ・ 丸森町(金山) ・ 教師 ・ 図書館長
--	--

4 指導上のポイント

- ・ 胸像の写真から、人物への興味を高める。
- ・ 本が高価な物だったことなど、時代背景について補足するようにする。
- ・ 泰三郎が一日も休まずに図書館を開館し続けたことや、多額のお金を寄付するなど、子供たちのために力を尽くしたのはどのような思いからだったのかを深く考えさせる。
- ・ ワークシートを用いて、泰三郎の生き方と自分の生き方を対比させ、学んだことを考えさせ、意見を述べさせたい。

5 参考資料

ワークシートの例

	○ 泰三郎の生き方から学んだことを書こう。		○ 泰三郎はどんな気持ちで、一日も休まず図書館を開
		け続けたのでしょうか。	
			みやぎの先人集「星 泰三郎（ほし たいさぶろう）」 年（ ） 現在の丸森町金山に生まれた。 校長として勤務した後、図書 館長として三十九年間一日も 休まずに、図書館を開けた。

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 希望と勇気を持って ○A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
・C-(14) 勤労, 公共の精神

- 2 資料 「牧野 富三郎 — 元年者を支えるために —」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.105 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

多くの困難を乗り越え、努力を続けた「牧野 富三郎」の生き方に触れることを通して、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
富三郎は、ハワイへの出稼ぎの話聞き、自分も異国の地で仕事をしたいと切望していた。	異国の地、ハワイで仕事をしたい。 駐日総領事に協力するために、船の総代を引き受けよう。		
富三郎は、総代として船に乗り、船旅で起こる問題を解決し、人々の信頼を得た。	無事にハワイに着くまで、人々を支えていこう。 ハワイに着けば、新しい仕事、豊かな生活が待っている。 もう少しで、楽になる。	ハワイでの新しい生活を夢見て、何とか人々を支えていこうとする富三郎の前向きな姿勢を捉えさせる。	○船内で、多くの問題が起こる中、富三郎はどんなことを考えたでしょうか。
富三郎は、ハワイでの日本人労働者のため、働き掛けたが、解決されず人々の信頼を失った。その後も諦めずに明治政府に手紙を送り続けたが、返信は無かった。	このまま、苦しい生活が続くのだろうか。 どうして返信が来ないんだ。 何とか、人々を助けたい。 誰か助けてくれ。 これ以上、どうすることもできないのか。	人々のために働き掛けるが解決できず、最後の手段として明治政府に手紙を書き続けるが、返信は来ない。挫折しそうになる富三郎の気持ちについて考えさせ、意見を交流させる。	○返信が来ない中、明治政府に手紙を書き続ける富三郎は、どんなことを考えていたでしょうか。
日本人の厳しい生活が改善されたことで、富三郎は満足感を得た。	言葉が通じなくても、諦めなくてよかった。 みんな生き生きと働いている。本当によかった。 これでみんなも安心して働ける。	生き生きと働く日本人の姿を見て、誰かのために働くことのすばらしさや希望を持つことの大切さを実感する富三郎の心情に共感させる。	◎生き生きと働く日本人の姿をじっくりと見つめながら、富三郎はどんなことを考えたでしょうか。
富三郎は、総代としての役目を終えた後も、そのままハワイに移住した。	これまで自分が取り組んできたことは間違いではなかった。 様々な困難があったが、ハワイで頑張ってきてよかった。		

(3) 志教育との関連

- ・ ハワイでの様々な困難にも負けず、何か自分にできることをしたいという富三郎の心の動きに共感させる。【もとめる】
- ・ 困難に負けずに日本人労働者の生活を改善しようとする富三郎の姿から、人々のために自分の力を尽くすことのすばらしさを実感させる。【はたす】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 今、身の回りで頑張っている人について話し合う。</p> <p>○ 今、身の回りで頑張っている人はいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○さんが漢字練習を頑張っている。 ・ ○○さんがスポ少の練習を頑張っている。 	<p>◆ 身の回りで頑張っている人について想起させ、何人か意図的に指名、発表させ、本時の価値への方向付けを図る。</p>
展開前段 25分	<p>2 本時の資料の範読を聞く。</p> <p>3 牧野富三郎の生き方について考え、話し合う。</p> <p>○ 船内で、多くの問題が起こる中、富三郎はどんなことを考えていたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何とか、みんなが無事に着くまで、支えていかなければならない。 ・ ハワイに着けば、新しい仕事、豊かな生活が待っている。 ・ もう少しで、楽になる。 <p>○ 返信が来ない中、明治政府に手紙を書き続ける富三郎は、どんなことを考えていたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このまま、ずっと苦しい生活が続くのだろうか。 ・ どうして、返事が来ないんだ。 ・ 何とか、人々を助けたい。 ・ もう、どうすることもできないのか。 <p>◎ 生き生きと働く日本人の姿をじっくりと見つめながら、富三郎はどんなことを考えたでしょうか。ワークシートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉が通じなくても、諦めなくてよかった。 ・ あの頃とは、みんなが違って見える。生き生きと働いている。自分も頑張らないと。 ・ この人たちは、ハワイでの仕事を楽しみにして来たんだ。自分の役目をやり遂げた。 ・ これでみんなも安心して働ける。 	<p>◆ 主人公の心の変化を考えさせながら聞かせる。発問を取り上げる場面は、児童が心の動きを考えられるように間をとって範読する。</p> <p>◆ 範読後、難解な語句や時代背景を押さえた上で授業を行うようにする。</p> <p>◆ 当時は幕末で国内では混乱が続いていたため、ハワイ国王からの親書が届いても、交流は進んでいなかったことなどを補足する。</p> <p>◆ ハワイへの出稼ぎの話聞き、自分も異国の地で仕事をしたい、同じ思いの人々を支えていきたいとハワイへの新しい仕事や豊かな生活に希望を持っていたことを押さえてから発問する。</p> <p>◆ 自分自身の生活も大変だったのに、苦勞する日本人のために、できることはないかと考え、雇い主との交渉を続けたこと、それでも諦めずに政府に手紙を書き続けたが返信が来ず、挫折しそうになる心の葛藤を感じ取らせる。</p> <p>◆ 人々を支えるのに、挫折しそうになりながらもくじけなかったのは、初めにハワイでの新しい生活への希望や夢があったからということに気付かせる。</p> <p>◆ 書く活動を取り入れることで、富三郎の心情に迫り、自分の思いをまとめさせる。</p> <p>◆ 手紙を1年以上送り続けてきたこと、言葉が通じなくても諦めずに働き掛けてきたことで、人々の生活が安定して、140人中約100人がハワイへ残ることになったことを押さえてから発問する。</p> <p>◆ 1年以上も返信が来ない中、富三郎が困難に立ち向かうことができたのはどんな気持ちからか、富三郎を支えたものは何だったのかという補助発問をすることで、価値に迫らせる。</p>

		<p>* 富三郎の姿から、人々のために行動することのすばらしさや希望を持つことの大切さを実感することができたか。(発言、ワークシート)</p>
展開後段 10分	<p>4 これまでの自分の生活を振り返る。</p> <p>○ 自分の目標や夢に向かって、努力していることはありますか。それは、どんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上の大会に向けて、自己新記録を出せるように毎日練習に励んでいる。 ・ ピアノの先生になりたいので、ピアノの練習を頑張っている。 ・ 将来の夢はまだはっきり決まっていないけど、今はしっかり勉強を頑張っている。 	<p>◆ もし、目標や夢に向かって努力していることが思い出せない場合は、途中でくじけそうになっている経験はないか思い出させる。</p> <p>* これまでの自分の生活を振り返り、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力しようとする意欲を高めることができたか。(表情、発言)</p>
終末 5分	<p>5 教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を持って諦めずに努力し続けた経験を話す。 	<p>◆ 途中に感じた苦しさ、辛さ、挫折しそうになった気持ちについても触れ、やり遂げたときの達成感、満足感を話す。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 多くの困難を乗り越え、努力を続けた「牧野 富三郎」の生き方に触れることを通して、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力しようとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画

<p>元 年 者 が 建 て た 住 居 の 写 真</p>	<p>生き生きと働く人々を見つめる富三郎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉が通じなくても、諦めなくてよかった ・ みんなが生き生きと働いている。よかった ・ これでみんなも安心して働ける。自分もがんばらな 	<p>困難を乗り越える人間の強さ</p>	<p>政府へ助けの手紙を書き続ける富三郎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなを支えたい ・ このまま苦しい生活が続くのか… ・ どうして返事が来ないんだ ・ もう、どうすることもできないのか 	<p>船内での様々な問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハワイに着くまでみんなを支えていかなければ ・ ハワイに着けば、新しい生活が待っている ・ もう少しで、楽になる 	<p>サイオト号 の 写 真</p>	<p>異国の地、ハワイで仕事をしたい</p> <p>ハワイに向けて出航</p>	<p>牧野 富三郎 — 元年者を支えるために —</p>
--	--	----------------------	--	---	--------------------------------	---	------------------------------

4 指導上のポイント

- ・ 授業をする前に、資料を読ませたり、ハワイ移民百年の新聞記事などを紹介したりしておき、難解な語句や時代背景を押さえた上で授業を行うようにする。
- ・ 児童が内容を理解できるように、教師が範読を行う。その際、発問を取り上げる場面は、心の動きを考えられるように、間をとって読む。
- ・ 生き生きと働く日本人の姿を見て、これまでの努力が報われ喜んだであろう富三郎の心の動きに十分に触れさせることで、誰かのために働くことのすばらしさや希望を持つことの大切さを実感させたい。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

<p>牧野 富三郎 — 元年者を支えるために —</p> <p>名前 ()</p> <p>○ 生き生きと働く日本人の姿をじっくりと見つめながら、富三郎はどんなことを考えたでしょう。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>○ 自分の目標や夢に向かって、努力していることはありますか。それはどんなことですか。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

(2) 掲示用資料の例

- ・ 労働者を輸送したサイオト号の写真 (みやぎの先人集第2集 p. 105)
- ・ 元年者の一人がハワイに建てた住居の写真 (みやぎの先人集第2集 p. 107)

中学校第1学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 かけがえのない命 ○D-(19) 生命の尊さ
 ・B-(6) 思いやり, 感謝
- 2 資料 「松山 京子 - 無医村を救った慈愛の医師 -」
 (出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.109 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

全ての人の命を慈しみ, 労をいとわず尽力した「松山 京子」の生き方から, 慈愛の精神とかけがえのない命の大切さを感じ, 自他の生命を尊重し, よりよく生きようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
無医村金ヶ瀬に待望の医院開業。目の回るような毎日。	こんなにも多くの人が医者が必要としていたのか。 多くの人の命を救い, 力になりたい。		
単身で村に残り, 往診料をとらない慈愛の精神。	愛する家族のそばにいたい。しかし, 自分を必要としている患者のために力を尽くさなければならない。 治療費や薬代はあとでもよい。まずは目の前の困っている人たちを救いたい。 最新の医療を患者のために学び, 多くの命を助けたい。	自分のことよりも患者のために働くことが容易ではないことに気付かせる。 必要とされることが大きな力になることに気付かせる。	○家族と離れ, 一人金ヶ瀬村に残ったのはどうしてでしょうか。
誰もが諦めた難病の生後4ヶ月の赤ん坊を救う京子。	絶対に助けたい。 この子を救うこの時のために今まで努力してきたのだから, 今やらなければ。 今まで学んだ知識と技術で助けられるかもしれない。	命を救うことへの強い思いを感じ取らせる。 諦めずに救う命の大切さに気付かせる。 思いだけではない京子のこれまでの努力に気付かせる。	◎京子が危篤に陥った難病の赤ん坊に対し, 手を止めなかったのはどのような気持ちからでしょうか。
家族のように温かく頼れる存在。(講演・遊具や本の寄贈)	金ヶ瀬の方々は家族と同じ 謝礼をいただくよりも金ヶ瀬の子供たちに健康でたくさんの学びを得てほしい。		
金ヶ瀬の人々の手で『慈愛』という本を制作。	金ヶ瀬の人々の京子への特別な思いを形にしたい。		
98歳まで信念を全う。	すべての人の命を大切に守りたい。	すべての人の命を守る ことについて考えさせる。	○「すべての人のいのちを慈しみ, 大切に守る」とは, どういうことでしょうか。

(3) 志教育との関連

- 無医村に来て, 地域の人々の多くの命を救い, 慈愛の精神で精力的に地域医療に尽くした京子の姿から生命や人々を思う気持ちに気付かせ, 地域社会に貢献しようとする意欲と志を高める。
【かかわる】
- 人々のために最新の医療を学び続け, 信頼される確かな技術を身に付ける京子の不撓不屈の

精神に気付かせ、向上心を持って生きることの大切さに気付かせる。【もとめる】【はたす】

(4) 学習指導過程

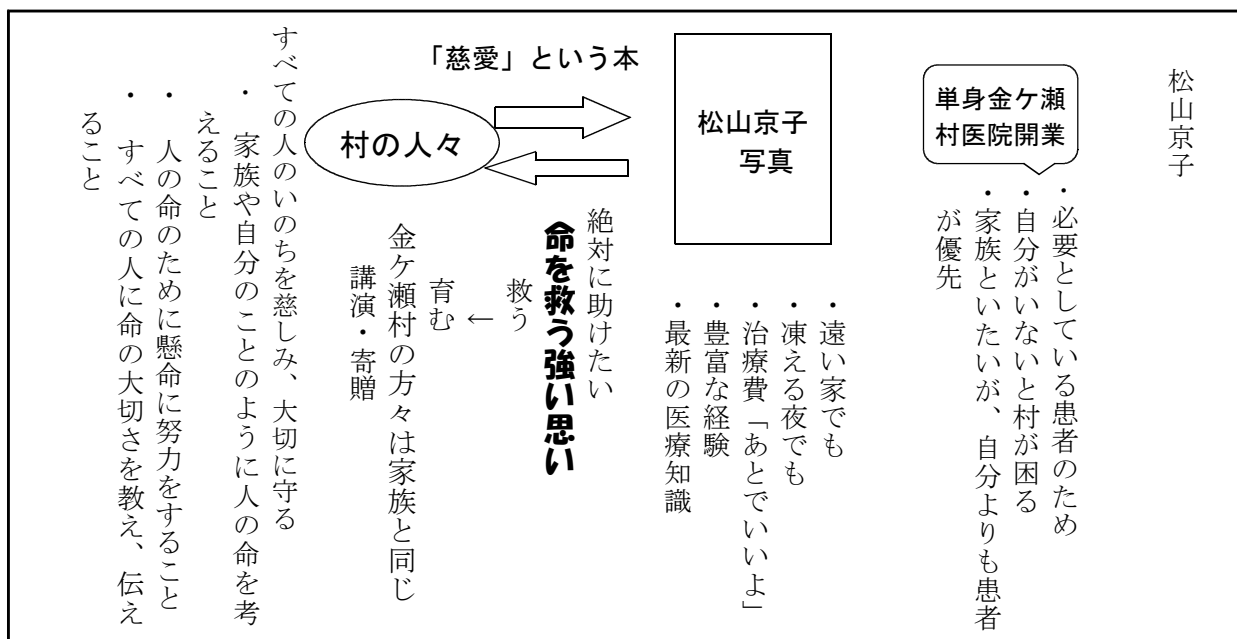
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 最初(現在)の自分の考えを確認する。</p> <p>○ あなたは「命を守る人」と聞いて、どのような人をイメージしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人のために働く人 ・ 優しい人 ・ 度胸のある人 ・ 知識のある人 <p>2 京子のいた時代を理解し、京子について学ぶことを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の考えを書かせて、学習前の自分を確認させる。 ◆ 命について触れ、価値への方向付けを図る。 ◆ ワークシート1に一言で書かせる。
展開 前段 20分	<p>3 教材を読んで、京子の行動と気持ちを考え、話し合う。</p> <p>○ 家族と離れ、一人金ヶ瀬村に残ったのはどうしてでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を必要としている患者を救うため。 ・ 毎日たくさんの患者がいたので、自分がいなくなったら困ると思ったから。 ・ 幼い娘もいるので本当は家族といたい、自分が我慢することで村の人々は救われると思った。 <p>◎ 京子が危篤に陥った難病の赤ん坊に対し、手を止めなかったのはどのような気持ちからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諦めたくない。 ・ 絶対に助きたい。 ・ 新薬できっと助けられることができる。 ・ 今まで学んだ知識と技術を今生かさなければ。 <p>○ 「すべての人のいのちを慈しみ、大切に守る」とは、どういうことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や自分のことのように人の命を考えること。 ・ 人の命のために懸命に努力をすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 京子のいた時代と今いる自分の状況との違いをつかませる。 ◆ 「松山京子」について学ぶことを告げる。 ◆ 京子の略歴を紹介する中で、京子は金ヶ瀬村出身ではないことを押さえる。 ◆ 京子の本音(毎日手紙を書いていたことなど)にも触れさせ、自分のことよりも患者を救うことを選んだ京子の姿勢やその状況が容易ではないことに気付かせる。 ◆ 全体で考えを共有する。 ◆ 京子の医師としての様子を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠い家でも、凍える夜でも往診したこと。 ・ 往診料は取らず、治療費も取らないこともあったこと。 ・ 豊富な経験と最新医療の知識があったこと。 ◆ 「珍しく険しい表情」や「赤ん坊の頭から大量の血うみ」などの文から誰もがもうだめだと思ふ状況を把握させる。 ◆ 自分の考えをワークシート2に記入させる。 * 赤ん坊が危篤で、周りは諦めていた状況を把握した上で、京子の気持ちを考えることができたか。(ワークシート・観察) ◆ 自分の書いた考えをもとにグループで話し合うことで、多様な考えに触れさせる。 ◆ 京子が患者のために、最新医療を学び続けてきた姿にも触れる。 ◆ グループで出た意見を全体で共有する。 ◆ 診察・往診といった救う活動の他にも地域の健康を育む医療に尽くした京子の活動や気持ちについて確認する。 ◆ 村の人々によって「慈愛」という本が作られたことを確認する。 ◆ 京子の信念に触れ、命や命に対する思いについて考えさせる。 ◆ 全体で考えを共有する。

	<ul style="list-style-type: none"> すべての人に命の大切さを教え、伝えること。 	
展開後段 20分	<p>4 京子の生き方から、これからの自分について考える。</p> <p>○ 京子の生き方に触れ、自分のこれからについて学んだことや感じたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 命を救うために努力しているところがすごい。自分も人のために尽くせる人になりたい。 京子が守った命を私も大切にしたい。 諦めずに命を救った京子のように諦めずに努力をしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本時の学習を振り返って、京子の生き方に対する考えを自分のこれからの在り方と関連させてワークシートに書かせる。 * 本時の学びを生かして、自分のこととして考えることができたか。また、最初の自分より考えを深めることができたか。(ワークシート・観察)
終末5分	<p>5 慈愛の本から文を紹介する。</p>	

(5) 本時の評価

- 全ての人の命を慈しみ、労をいとわず尽力した「松山 京子」の生き方から、慈愛の精神とかけがえのない命の大切さを感じ、自他の生命を尊重し、よりよく生きる意欲を持つことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- 授業の初めに命に対する自分の意識を確認させ、授業の終わりに教材や他の意見から自分の考えが深まったかどうかを確認できるようにする。
- 主人公以外の登場人物の心情も考えることで多面的・多角的に考えさせる。
- 個からグループ、グループから全体へと話し合い活動を展開していくことで、全員に考えを持たせるとともに、自分の考えを伝え、多様な意見を聞くことができるようにする。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

特別の教科書 1学年

「松山京子」

年 組氏名

1 自分の考え
「曲を守る人」と聞いて、どのような人をイメージしますか。

松山京子
写真

2 「しかし、京子は手を止めませんでした」
なるほどと思った意見をメモしましょう。

3 自分の考え

(2) 資料

「慈愛」より 松山京子先生を語る本「慈愛」刊行委員会
文部大臣賞受賞のお祝い
金ヶ瀬小学校 六年 大槻 美佐子

私たちが住むここは 小さな町の金ヶ瀬
東京などの大都市とは比べても比べられぬほど
小さな小さな町だ

この小さな町に住む 私たちは 幸せだ
それは いつも私たちの健康を 守ってくれる
先生がいるからだ 松山先生だ

内科の先生だと言ってしまえば それまでだが
先生はちがう 私たちが元気であるのも先生のおかげだ
先生がまだホヤホヤの若い医師の時代から
今の年月まで 何人 いや 何万人もの人が
先生の手を守られてきた

私たちが具合が悪いときに、その手がさしのべられて
何十倍ものぬくもりになって体に伝わってくる
病気なんか プイツと消えてしまうのだ
その先生の手のぬくもりの中に しっかりと
素晴らしい賞が かがやいている
先生 おめでとう 先生 おめでとう
これからも何年も私たちを守ってください

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 強い意志を持って ○A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
 ・C-(17) 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度

- 2 資料 「水上 不二 『海と子どもを愛した詩人』」
 (出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.113 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

戦争という困難な状況に置かれながらも、詩への熱い思いを持ち続けて行動した「水上 不二」の生き方から、自分の夢や目標に向かい、強い意志を持って、くじけないで努力しようとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
気仙沼大島亀山にある詩碑に思いを込める。	たくさんの恵みをもたらしてくれた海への感謝とふるさと大島への祈り。		
高校に進学した不二が、運命の一冊「赤い鳥」と出会う。	大島の自然が大好き。詩に人を感動させる力があるなんて。詩を作りたい。	文学の道を歩むきっかけになった出来事を大事にし、それが強い意志となって、生涯、文学に情熱を燃やすことにつながったことを押さえさせる。	○「赤い鳥」と出会った時、不二はどんなことを思いましたか。
地元の学校で教師生活を送りながら、詩の投稿に情熱を注ぐ。 上京し、教師生活を続けながら新しい技法に挑戦する。 運命の人「北原白秋」に出会い、更に文学への情熱を注ぐ。	子供たちを感動させる作品をつくりたい。 もっと詩の勉強をするために東京に行くしかない。 初めて出した詩集が売れなくても、夢は諦めない。 自分が憧れていた白秋に出会えて嬉しい。もっともっと、よい詩を書きたい。	自分が味わった感動を、子供たちにも味わってほしい一心で、前を向いて進む不二の気持ちを考えさせる。	
戦争という困難な状況の中、地元に戻り、その惨状に絶望しながらも、詩への熱い思いを持ち続けて行動する。	私は何のために詩を書いていたんだ。自分に嘘をつく教師、文学者などにはなりたいくない。 必ず戻ってくる。いつか詩の力が必要になる、そのときまで…。 子供たちの笑顔を取り戻したい。私の信じた詩の力で笑顔をいっぱいになりたい。	困難な中でも、前向きに頑張ろうとした不二がとった行動と、その気持ちを捉えさせる。 不二の努力を生涯支えたものが強い意志や情熱、信念であったことを考えさせる。	○国中が戦争による暗い時代へ進む中、不二はどんな気持ちで詩を書き続けたのですか。 ◎不二は、どのように考えて生涯を通して努力し続けたのでしょうか。
「童謡詩人」として、詩をつくり続ける。	子供たちにたくさんの希望の種をまき続けたい。		

(3) 志教育との関連

- ・ 困難に打ち勝ち、強い意志を持って諦めずに努力している姿を捉えさせることにより、より高い目標に向かって粘り強くやり通そうとする意欲や志を高める。【もとめる】
- ・ 子供たちが希望を持って生きていくために、自分ができることを考え、その役割を果たそうという志を持った不二の生き方について考えさせる。【はたす】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 将来の夢について語り合う。</p> <p>○ 夢や目標を持つことが大切なのは、どうしてですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分になりたい(目指す)ものになれるから。 ・ あると(何度でも)頑張れるから。 ・ 人それぞれが持っていて、大切なものだから。 ・ あこがれや希望、願いだから。 ・ やり遂げたい目標だから。 <p>○ あなたの将来の夢は何ですか。また、その夢を持ったのは、なぜですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バレーボール選手。バレーが好きだから。 ・ 保健の先生。優しくされて嬉しかったから。 ・ 料理人。作った料理でみんなを笑顔にした。 	<p>◆ 事前に児童にアンケート調査を行い、「夢や目標とは」「将来の夢」「夢を持った理由」について把握しておく。</p> <p>◆ アンケート結果を提示し、多様な考えがあることに気付かせる。</p> <p>◆ 本時の価値への方向付けを図ることができるように、「将来の夢」と「夢を持った理由」について意図的指名をし、互いに聞き合い称賛する。</p>
展開 前段 25分	<p>2 資料を読んで話し合う。</p> <p>○ 「赤い鳥」と出会った時、不二はどんなことを思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩には人を感動させる力がある。 ・ 詩の力はすごい。 ・ 人を感動させるような詩を自分もつくってみたい。 <p>○ 国中が戦争による暗い時代へ進む中、不二はどんな気持ちで詩を書き続けたのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が味わった感動を、子供たちにも味わわせたい。 ・ 自分が信じた道を進むだけだ。自分に嘘はつきたくない。 ・ 詩は、戦争のために使われるものであってはならない。 ・ 子供たちの笑顔を取り戻したい。 ・ 詩の力で笑顔をいっぱいになりたい 	<p>◆ 資料は事前にプリントで配布し、概要を捉えさせておく。また、朝の会等で教師が範読し、大まかな内容を確認する。</p> <p>◆ 写真等の資料を提示し、水上不二について簡単に紹介する。</p> <p>◆ 不二が文学の道を歩もうとしたきっかけになった出来事を大事にし、それが強い意志となって、生涯、文学の道に情熱を燃やすことにつながったことを押さえさせる。</p> <p>◆ 地元や東京で教師生活を続けながらも、文学者として、必ずしも順調ではなかったことを捉えさせる。</p> <p>◆ 国中が戦争による暗い時代へと進む中で、不二がとった行動を資料から確認する。</p> <p>◆ 不二のとった行動が、詩の力を信じる心と強い意志に支えられていたことを考えさせる。</p> <p>◆ 戦争中の日本の社会情勢について、社会科で学習したことを振り返らせる。</p> <p>◆ 戦後第1作「ハナノタネ」を提示し、不二の子供たちに対する気持ちを考えさせる。</p>

<p>展開前段 25分</p>	<p>◎ 不二は、どのように考えて生涯を通して努力し続けたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩の持つ力はすばらしい。 ・ 詩は、宝物だ。 ・ 詩の力で子供たちを笑顔にしたい。 ・ 困難に負けてられない。自分の詩をつくりたい。 ・ 自分の進む道を信じたい。 ・ 夢を諦めたくない。 	<p>◆ ワークシートを活用し、書く活動を取り入れることで、不二の気持ちとじっくり向き合うことができるようにする。</p> <p>* 困難な状況であっても、生涯を通して努力し続けた不二を支えたものについて考えることができたか。</p> <p>(ワークシート, 発言)</p> <p>◆ グループで意見を交流させた後、全体で共有する。</p> <p>◆ 板書で、生涯を通して不二を支えたものは、強い意志や信念、情熱や原動力であったことを確認する。</p>
<p>展開後段 13分</p>	<p>3 これまでの自分を振り返る。</p> <p>○ これまでの生活の中で、くじけたり諦めたりすることなく頑張れたことは、どんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上大会で、最後の最後まで走りきった。 ・ 難しいと思う勉強も、自主学习等で取り組んだらできるようになった。 ・ 委員会の仕事が、何度もやっているうちに自信を持ってできるようになった。 <p>○ それができしたのは、どうしてですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1位になりたいという強い気持ちがあったから。 ・ できるようになりたい、負けたくないという気持ちがあったから。 ・ みんなのために役に立ちたいという気持ちがあったから。 <p>○ 夢に向かって頑張っている「未来の自分」へメッセージを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つらいことがあっても頑張る。大丈夫だよ。 ・ 今の頑張りが未来へつながるよ。 ・ 復興も少しずつ進んでいることでしょう。新しい未来をつくっていくのはあなたたちですよ。 	<p>◆ どの児童の考えも肯定的に受け止め、児童が、これまでの自分を素直に振り返ることができるようにする。</p> <p>◆ 身近なことでも、「こうなりたい」「こうでありたい」という気持ちが、努力することにつながっていることを実感させる。</p> <p>* これまでの自分を振り返り、夢や目標に向かって努力しようとする意欲を高めることができたか。</p> <p>(ワークシート, 発言)</p> <p>◆ 本時の価値に迫るために、自分の意志やくじけない気持ちについて書いた意見を意図的に取り上げる。</p> <p>◆ 本時の学習感想としてワークシートにまとめる。</p>
<p>終末 2分</p>	<p>4 「いま、君たちの頬にそよいでる風は、世界を廻ってきた風ですよ。」の意味について考える。</p>	<p>◆ 晩年の不二が、子供たちに贈った言葉の意味について考えさせ、余韻を持たせて終わる。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 戦争という困難な状況に置かれながらも、詩への熱い思いを持ち続けて行動した「水上 不二」の生き方から、自分の夢や目標に向かい、強い意志を持って、くじけないで努力しようとする気持ちを持つことができる。

(6) 板書計画

<p>「いま、君たちの頬にそよいでる風は、世界を廻ってきた風ですよ。」</p>	<p>水上不二の生涯</p>	<p>強い意志を持って 水上 不二</p>
<p>不二は、どのように考えて生涯を通して努力し続けたのだろうか</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が信じた道だ ・ 自分にうそはつきたくない ・ 詩は、戦争のために使われるものであってはならない ・ 子どもたちの笑顔を取り戻したい ・ 詩の力で笑顔をいっばいにしたい </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「赤い鳥」との出会い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩には人を感動させる力がある ・ 人を感動させるような詩を自分も作ってみたい </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">国中が戦争による暗い時代へ進む中、不二はどんな気持ちで詩を書き続けたのか</p> <p style="text-align: center;">自分が味わった感動を、子どもたちにも味わわせたい</p>	<p>写真 大島出身 詩人 校歌の作詞</p>
<p>努力を支えたもの=強い意志, 信念, 情熱, 原動力</p>		
<p>詩碑の写真</p>		

4 指導上のポイント

- ・ 事前に資料を読ませたり、教師が範読したりすることで、資料の内容を十分に理解させた上で児童に話し合わせる。
- ・ 展開前段前半では、文学の道を歩もうとしたきっかけになった出来事を大事にし、人生の節目ごとに不二の気持ちを捉えさせる。
- ・ 展開前段後半では、困難な状況下であっても、生涯を通して不二の努力を支えたものが、強い意志や信念、情熱や原動力であったことを押さえさせる。
- ・ 展開後段では、児童自身が日常的な生活の中で、自分の意志によって行動を起こしたり、継続して努力したりしていることに気付かせ、更に将来の夢や目標へつなげる。
- ・ 展開後段では、「未来の自分」へのメッセージを書く時間を設定し、未来の自分へ視線を向けさせる。

5 参考資料

ワークシートの例

<p>★今日の学習を振り返ろう。</p> <p>◎夢に向かって頑張っている「未来の自分」へメッセージを書きましょう。</p>	<p>★自分のことについて考えよう。</p> <p>◎これまでの生活の中で、くじけたりあきらめたりすることなく頑張れたことはどんなことですか。</p>	<p>★水上不二のことについて考えよう。</p> <p>◎不二は、どのように考えて生涯を通して努力し続けたのでしょうか。</p>
<p>六年 道徳ワークシート 「水上不二―海と子どもを愛した詩人―」</p>		

中学校第1学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 努力と強い意志 ○A-(4) 希望と勇気, 克己と強い意志
・C-(12) 社会参画, 公共の精神

- 2 資料 「宮城 新昌 - 新しいかき養殖を求めて - 」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.117 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

大規模なかき養殖を成功させ、地域の発展に尽くした宮城新昌の生き方を通して、自分の夢や目標に向かって、様々な困難を乗り越えながら、粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
「世界で活躍したい」という夢を持ち、明治38年に渡米する。 かき養殖をカナダで成功させ、その経験を基に神奈川県でかき養殖を始める。	アメリカで勉強して、世界で活躍したいという夢。かきの味わいと栄養価は世界中の人々に受け入れられるはずだ。 バンクーバーで成功したことで自信がつく。「とる漁業から育てる漁業」の時代がくるはずだ。日本でもかき養殖と販売を始める。	夢を持ち、その夢に向かって突き進む新昌の姿から本時の価値の方向性をつかませる。	
アメリカのかき養殖の危機を救うために尽力する。新たな困難に遭遇するが、それを乗り越えて成功する。	かつて許可を与えてくれなかったアメリカ、助ける必要はないのではないか。しかし、ここで成功すれば、かき養殖・販売を日本から世界へ広げる大きなチャンスになるかもしれない。	いずれ日本でのかき養殖業につながるという、広い視野と先見の明を持っていることに気付かせる。	○「アメリカを助ける必要はない」と言われたが、どのような思いからアメリカのために努力したのでしょうか。
宮城県石巻の万石浦でのかき養殖業を始めるが、次々に困難がやってくる。 その一つ一つを克服しながら、ついに「垂下式養殖法」を成功させる。	全国の人にかきを食べてもらいたい。養殖に最も適した万石浦で成功すれば、世界中にかきのすばらしさを広める願いをかなえられるはずだ。しかし現実には、お金もかかるし協力も得られない…やはり無理かもしれない。でも、必ず何かよい方法があるはずだ。カナダで成功したのだから、希望を持とう。	失敗や困難ばかりが続いていても諦めずに努力し続ける新昌の心情から、目標を達成させるための強い意志の大切さに気付かせる。	◎万石浦でかき養殖を成功させるために努力しているとき、新昌はどのようなことを考えていたのでしょうか。
石巻のかき養殖場で働く人々とその様子を見つめる新昌の姿がそこにあった。	かき養殖は「垂下式養殖法」のおかげで成功した。石巻の水産業はもとより石巻全体の発展へとつながった。	強い意志、目標を貫いたことで石巻や地域の人々の役に立てた満足感や達成感に共感させる。	○働く人々を「目を細めながら見つめていた」とき、新昌はどのようなことを考えていたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- 宮城新昌の生き方から、困難に負けずに乗り越え希望を持って努力する姿勢が目標の実現に必要なであることを捉えさせる。【もとめる】

(4) 学習指導過程

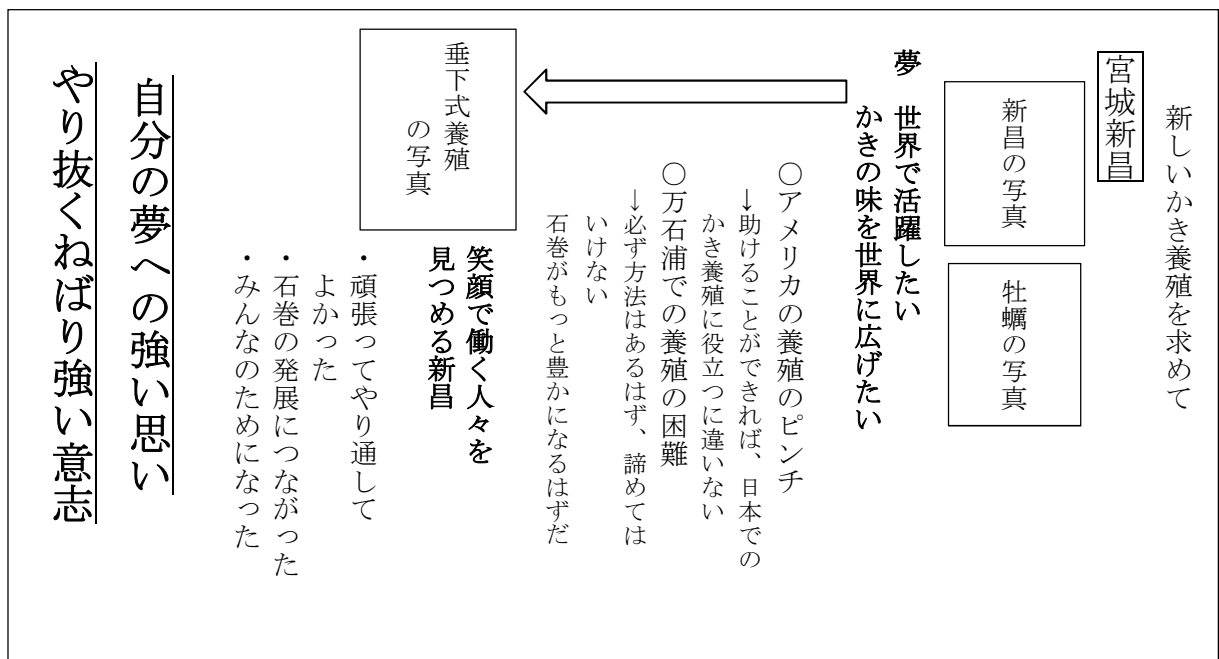
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価 (方法)
導入 10分	<p>1 自分の「将来の夢」について考える。 ○ 事前アンケートの結果を知らせる。さらにその夢を叶えるために必要なことは何か話し合う。</p> <p>2 「かき養殖」と宮城新昌について知る。 ○ なぜ宮城県で「かき養殖」が盛んなのか。 ○ かきに関する写真を見て、石巻の「かき養殖」に深く関連した人物だということを知る。</p>	<p>◆ 「夢を叶えるために必要なことは何か」という視点から何人か意図的に指名、発表させる。</p> <p>◆ 石巻の「かき養殖」に大きく貢献した人物だということを知らせる。</p> <p>◆ 「かき養殖」関連の写真を見せ、視覚的な部分から、本時の授業への関心・意欲を持たせる。</p>
展開 前段 25分	<p>3 資料「宮城新昌－新しいかき養殖を求めて－」を読んで話し合う。</p> <p>【資料前半】</p> <p>○ 「アメリカを助ける必要はない」と言われたが、どのような思いからアメリカのために努力したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大変なことだが、成功すれば世界への第一歩につながるはずだ。 日本から世界への輸出に役立つはずだ。 <p>【資料後半】</p> <p>◎ 万石浦でかき養殖を成功させるために努力しているとき、新昌はどのようなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 必ず、よい方法があるはずだ。 諦めてはいけない。 カナダでも成功したのだから、きつとうまくいくはずだ。 石巻の人々のためだ。石巻がもっと豊かになるはずだ。 	<p>◆ 資料を前後半で分割提示することで、次々におとずれる困難を一つ一つ懸命に乗り越えていく姿を捉えやすくする。</p> <p>◆ ワークシートと資料前半を配付。</p> <p>◆ 教師の範読 p. 118 の 19 行目まで。</p> <p>◆ 発問の前に、新昌の夢やかきの養殖を始めたきっかけなどについて大まかな内容を押さえさせる。</p> <p>◆ かつて自分に許可を与えてくれなかった国の危機に対し「助ける必要はない」という周囲の声に胸を痛めるが、それ以上に、大きな夢を持って、アメリカのために苦難の道を乗り越えようとする努力に気付かせる。</p> <p>◆ 資料後半を配付。</p> <p>◆ 教師の範読 p. 118 の 20 行目～p. 120 の 6 行目まで。</p> <p>◆ 新昌の強い意志に迫るために、ワークシートに記入させる。その際、以下の点を押さえながら意図的に指名、発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 断られても決して諦めず、希望を持ち続けたこと。 「石巻の発展のために」という、地域の人々への深い思いがあったこと。 <p>◆ 記入できない生徒には「何度も何度も断られても諦めなかったのはなぜだろうか」という補助発問で支援する。</p>

	<p>○ 働く人々を「目を細めながら見つめていた」とき、新昌はどのようなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが笑顔で生き生きと働いている。 ・ 諦めずにやり遂げてよかった。 ・ 自分の努力が石巻の役に立った。 	<p>◆ 強い意志、目標を貫いたことで石巻や地域の人々の役に立てた満足感や達成感に共感させたい。</p> <p>* 新昌の生き方から、粘り強く、諦めずにやり遂げることの大切さを実感することができたか。(発言, ワークシート)</p>
展開後段 10分	<p>4 宮城新昌の生き方から、これからの自分の生き方を考える。</p> <p>○ これからどんなことに取り組んでいきたいですか。</p>	<p>◆ 夢や目標を達成するために、大切なことは何かということに気付かせ、自身の今後の生活に結び付けて考えをまとめさせる。</p> <p>* 自分の夢や目標を叶えるために、困難に打ち勝ち、努力し続ける意欲を持つことができたか。(発言, ワークシート)</p>
終末 5分	<p>5 新昌が築いた万石浦のかき養殖や関連する水産業の現在の様子を知る。</p>	<p>◆ 新昌に関連する記念碑や加工品などを紹介し、新昌の思いが現在も受け継がれていることを知らせる。</p>

(5) 本時の評価

- ・ 宮城新昌の生き方を通して、自分の夢や目標に向かって、粘り強くやり遂げようとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画



4 指導上のポイント

- ・ 宮城県石巻の特産品「牡蠣」に関する様々な写真資料を提示して、自分たちの身近な地域の歴史という認識を持たせ、学習への意欲を喚起する。
- ・ 資料を前後半で分割提示することで、困難が次々に訪れることや、それらを一つ一つ懸命に乗り越えていく姿を捉えやすくする。

- ・ 新たな困難にも決して諦めずに立ち向かう新昌の気持ちを考えワークシートに記入させることで、強い意志と粘り強く取り組むことが、自己有用感の醸成や地域の発展に寄与することにつながったことに気付かせる。
- ・ 自分の夢や目標について、それを実現するために何が大切かを、宮城新昌の生き方と重ねて考えさせ、価値の内面化や今後の実践意欲につなげたい。

5 参考資料

(1) ワークシートの例

これからどんなことに取り組んでいきたいですか。

働く人々を見つめる新昌

宮城県万石浦での養殖業

新昌の写真

牡蠣の写真

垂下式養殖の写真

宮城新昌

新しいかき養殖を求めて

氏名 ()

(2) 掲示用資料の例

- ・ 宮城新昌の人物写真 (みやぎの先人集第2集 p.117)
- ・ 万石浦湾の景色写真 (三養水産株式会社より)
- ・ 生牡蠣の写真 (三養水産株式会社より)
- ・ 垂下式養殖法の海中写真 (三養水産株式会社より)

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

- 1 主題名 働く喜び ○C-(14) 勤労, 公共の精神
・A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志

- 2 資料 「谷津 はつね — 生命の誕生を見守る — 」
(出典: みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.121 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

「谷津はつね」の生き方について考えることを通して、働くことや社会に奉仕することの意義を理解し、人のために役立とうとする心情を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
はつねは、成長するに従い、人の役に立つ仕事をしたいと考えようになった。	自分が生まれ育った村で、人の役に立つ仕事をしたい。	故郷の人の役に立ちたいというはつねの志を捉えさせる。	○はつねは、どのような思いで耕野村に助産院を開業したのでしょうか。
15歳で親元を離れ、助産師になるための勉強を続けた。	良い助産師になるために、できる限りの努力をしよう。		
24歳の時、故郷の耕野村に帰って助産院を開業した。	ついに、故郷の村の人のために働ける日が来た。		
ある夜、妻が産気付いたことを知らせるために、男が駆け込んできた。男の案内で山奥の家に着くと、産婦が難産で苦しんでいた。	一刻も早く産婦のところに駆け付けて、新しい生命の誕生を助けよう。	恐怖と不安を乗り越え、自分の仕事に最善を尽くそうという前向きな気持ちを取り戻したはつねの心情を捉えさせる。	
お産の進行が遅く、母子に命の危険が迫る。不安と恐怖に襲われるはつねの耳に、妻子の無事を一心に祈る男の声が聞こえてきた。	出産の危機に際して不安だが、家族みんなが新しい命の誕生を待っているのだから、ひるんではいけない。		
はつねは、勇気を取り戻し、懸命にお産を助けた。	できる限りのことをして守ろう。		
無事に赤ちゃんが誕生した。はつねは、生命の誕生を助けるという助産師の仕事に対する誇りを改めて感じた。	新しい生命の誕生を家族みんなが喜んでいる。自分は何とすばらしい職業についたのだろう。	助産師の仕事に対する誇りを感じているはつねの心情を捉えさせる。	◎出産を見届けたはつねは、虹を見上げながら、どんなことを考えたのでしょうか。
37年間にわたって4000人の赤ちゃんを取り上げ、人の役に立ちたいという志を生涯貫いた。	助産師の仕事を通して人の役に立てることは、自分の喜びであり、生きがいでもある。	人の役に立つことが働く喜びにつながっていることを捉えさせる。	○はつねは、なぜ、人の役に立ちたいという志を貫き通すことができたのでしょうか。

(3) 志教育との関連

- ・ 人の役に立ちたいという志を貫いた谷津はつねの生き方から、勤労を通して人の役に立つことが社会生活を支え、自分の喜びにもつながることを捉えさせる。【もとめる】【かかわる】
- ・ 谷津はつねの生き方について学んだことを自分の生活にどう役立てていくか、自分自身との関わりから考えさせる活動を通して、人や社会のために役に立とうとする態度を育てる。
【もとめる】【はたす】

(4) 学習指導過程

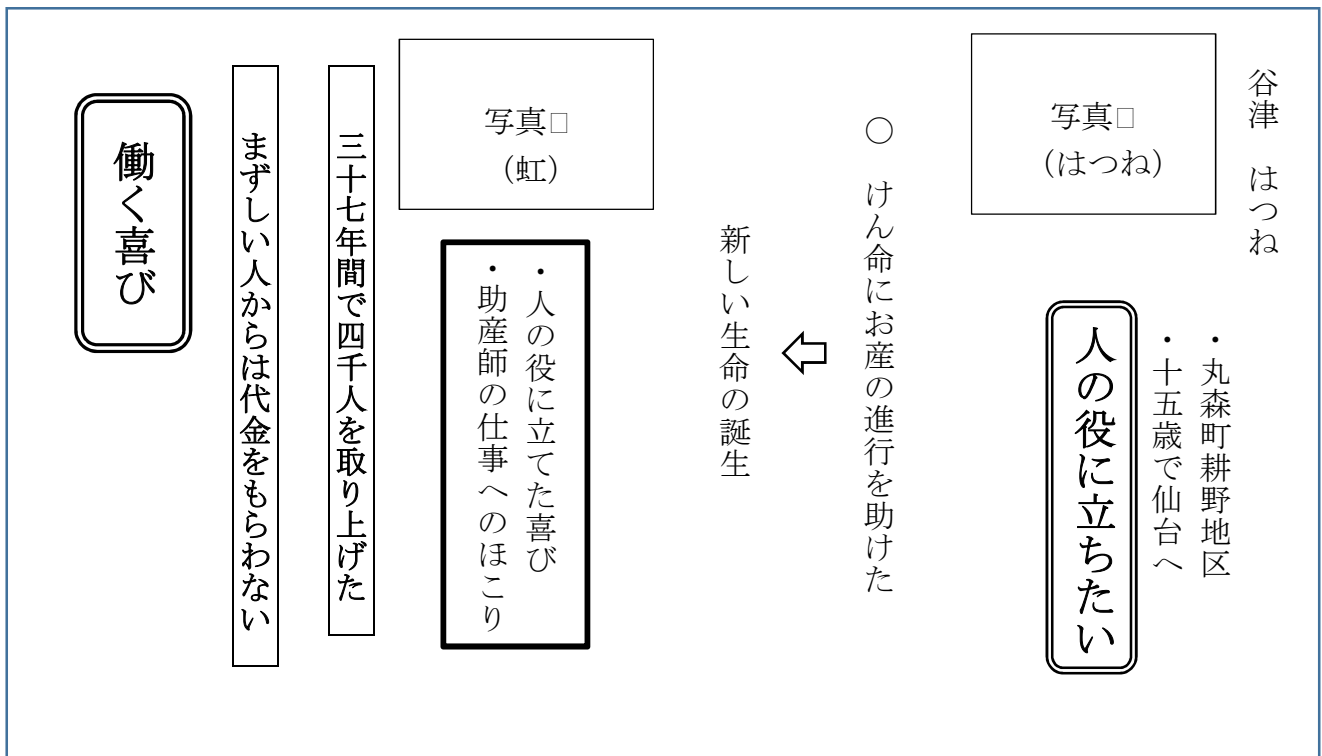
段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 谷津はつねの生い立ちと業績について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>はつねは、15歳で助産師を志した。24歳で故郷の耕野村に帰り、助産院を開業した。以来37年間にわたって助産師を続け、4000人の赤ちゃんの誕生を見守ったほか、産婦や新生児の健康に関する指導を行い、人々から絶大な信頼を得た。</p> </div> <p>2 谷津はつねの生き方を通して、「働く喜び」について考えることを伝える。</p>	<p>◆ 谷津はつねの生い立ちを写真と短冊で提示し、業績を簡単に振り返ることで、資料への関心を高める。</p> <p>◆ 本時は、「働く喜び」について考えることを伝え、価値への方向付けを図る。</p>
展開 30分	<p>3 教材を読んで、はつねの行動と気持ちについて話し合う。</p> <p>○ はつねは、どのような思いで耕野村に助産院を開業したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が助産師になって、村の尊い生命を守りたいと思った。 ・ 自分が生まれ育った村で人の役に立ちたかった。 <p>◎ 出産を見届けたはつねは、虹を見上げながら、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尊い生命を守ることができて良かった。 ・ 助産師は、人の役に立つすばらしい仕事だ。 ・ これからも、自分が選んだ助産師の仕事に打ち込んでいこう。 <p>○ はつねは、なぜ、人の役に立ちたいという志を貫き通すことができたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人の役に立つことがうれしかったから。 ・ 自分の仕事に誇りを持っていたから。 ・ 村の人々に頼りにされたから。 ・ つらいこともあるが、喜びも大きかったから。 	<p>◆ 当時は自宅出産が一般的だったことや、現代より新生児が命を落とすことが多かった点について補足し、はつねが故郷の村の人の役に立ちたいという志を持つようになった理由を捉えさせる。</p> <p>◆ ワークシートに自分の考えを書かせる。机間指導をしながら教師が取り上げて広めることで、多様な考えを全体で共有する。</p> <p>◆ 37年間にわたり責任を持って仕事をやり遂げたこと、村の人々に信頼されていたことを確認し、勤労を通して人の役に立つことが社会生活を支え、自分の喜びにもつながることを捉えさせる。</p>

<p>終末 10分</p>	<p>4 働く喜びについて考えを深める。</p> <p>○ 谷津はつねの生き方を学んで感じたことや、これからの自分に役立てていきたいと思ったことを書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助産師の仕事は大変だが、人のためになる。自分も将来は、人の役に立つ仕事がしたい。 ・ 働くことで、誰かが喜んで笑顔になったりすると自分もうれしくなることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 働くことや社会に奉仕することの意義について、自分自身との関わりから考えさせ、実践への意欲を高める。 ◆ 机間指導をしながら、児童の考えを見取り、全体に紹介する。 * 勤労を通して人の役に立つことで、働く喜びを味わうことができるという価値に気付くことができたか。(ワークシート)
-------------------	--	--

(5) 本時の評価

- ・ 人の役に立ちたいという志を貫いた「谷津 はつね」の生き方に触れ、働くことの喜びや充実感に気付き、社会に貢献しようとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画

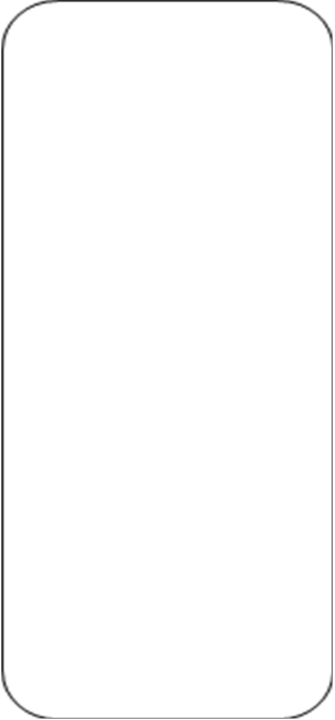



4 指導上のポイント

- 山間地での助産師の仕事がいかに激務であったかを理解することで、はつねの決意に感動したり、仕事に対する充実感に共感したりすることができる。当時の道路事情や、多岐にわたる仕事内容などについて資料を用いて説明し、資料内容への理解を促す。
- 終末の段階で、谷津はつねの生き方を学んで感じたことやこれからの自分に役立てていきたいと思ったことをワークシートに書く活動を通して、自分自身との関わりを考えさせ、実践への意欲を高める。
- 当時の写真や効果音等を利用するなどして、場面へのイメージを持たせる。
- 授業参観等の機会に、親子で話し合いながら学習を進める展開例も考えられる。

5 資料

ワークシートの例

	<p>○ 谷津はつねの生き方を学んで感じたことや、これからの自分に役立てていきたいと思ったことを書きましよう。</p>	<p>○ 出産を見届けたはつねは虹を見上げながら、どんなことを考えていたでしょう。</p>  <p>働く喜び</p> <p>道徳 ワークシート 氏名)</p> <p>谷津はつね ～ 生命の誕生を見守る～</p> <p>)</p>
--	---	--

小学校第6学年 特別の教科道徳学習指導略案

1 主題名 正しいことを追い求めて ○A-(6) 真理の探究

2 資料 「吉野 作造 — 本当の幸せを求めて —」
(出典：みやぎの先人集第2集「未来への架け橋」p.125 宮城県教育委員会)

3 本時の指導

(1) 本時のねらい

人の幸せのために、常により正しいことを追い求めた吉野作造の生き方に触れることを通して、生活を改善していこうとする態度を育てる。

(2) 資料分析と活用

筋の流れ	登場人物の心の動き等	発問の意図	主な発問
明治11年大崎市古川十日町に生まれる。			
宮城県尋常中学校(仙台一高)時代に学問の面白さを学び、第二高等学校(東北大)でキリスト教の教えに共感する。	学ぶことは楽しい。 国民はみな自由であり誰もが平等であるべきだ。		
留学先で学んだ政治学を基に「民本主義」を唱える。	政治は民衆のために行うもので、民衆が政治に参加することが大事だ。		
東京市街地の貧しい人たちが住む地域に賛育会を立ち上げ、病院や託児所の運営に当たる。	この子供たち、貧しい大人たちはこれからどうやって生きていくのだろう。この人たちのために、何かできないだろうか。	貧困に苦しむ人々のために立ち上がり、自分の力を生かそうとする作造の強い信念を捉えさせる。	○賛育会を立ち上げた作造は、どんな思いを強く持っていたのだろうか。
賛育会に集まるたくさんの母親に、無料で子育ての相談に乗る。	これで、たくさんの人の命を救うことができるだろう。		
関東大震災後に、被災者を助ける活動と、復興のための支援を始めるが病院の運営の仕方に疑問を感じる。	大切な薬を捨てるなんて考えられない。薬を無料で渡してよかったのか。	薬を捨てる、寄附に感謝を求める等の行為に戸惑う作造の思いを考えることで、自分なりの考えを持たせる。	○患者たちと寄附をしている人たちの思いも寄らない言動が、自分の願いとかけ離れていった作造は、どんなことを考えたのだろうか。
悩んだ末、無料の治療を有料に変えた。	困っている人たちのために、自分たちがしていることは本当に正しいのだろうか。	作造の考える本当の意味での人々の救済とはどんなことなのかを捉えさせる。	◎とても悩んだ末に、無料の治療を有料に変えたのは、作造のどんな思いからなのだろうか。
その後も作造は困っている人々のために力を尽くした。	今現在、正しいとされることを守り続けるより、常により正しいことを追い求めよう。		

(3) 志教育との関連

- ・ 人の幸せのために尽くした作造の生き方から学んだことを自分の生活にどう役立てていくか、自分自身との関わりから考えさせ、これからの生活に生かすことができるようにする。
【もとめる】

(4) 学習指導過程

段階 時間	学習活動と主な発問	◆指導上の留意点 *評価(方法)
導入 5分	<p>1 資料をもとに、前半部分(p. 125 1行目から p. 125 9行目)の作造の考えや行動について知る。</p> <p>○ 作造の行ったことについて知りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「民本主義」「大正デモクラシー」を唱えた政治を研究した学者なんだ。 ・ 古川出身の郷土の大先輩。 <p>○ 多くの人が生活に困っている時代に、人々のために活躍した作造の生き方について考えてみましょう。</p>	<p>◆ 事前に資料を読ませておく。さらに導入で、作造について簡単に紹介することで、作造の気持ちや業績を深く考えようとするきっかけとする。</p>
展開 前段 25分	<p>2 資料を読み作造の考えや行動について話し合う。</p> <p>○ 賛育会を立ち上げた作造は、どんな思いを強く持っていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ このままでは、この人たちはどうやって生きていくのだろうか。 ・ 病気の人や貧しい人たちのために、自分が力になりたい。 ・ 貧しい人たちから、お金をもらうわけにはいかないから無料で診察してあげよう。 <p>○ 患者たちと寄附をしている人たちの思いも寄らない言動が、自分の願いとかけ離れていた作造は、どんなことを考えたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大切な薬を捨てるなんて考えられない。 ・ 薬を無料で渡してよかったのか。 ・ 寄附は善意であるはずなのに、感謝を求められても困ってしまう。 <p>◎ とても悩んだ末に、無料の治療を有料に変えたのは作造のどんな思いからなのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助けられるのが当たり前になってきている。本当にこれでいいのだろうか。 ・ “助ける側” “助けられる側” の関係が続くようでは、いつまでも自立できない。 ・ ただ助けてもらうだけでは、この人たちが幸せになっているとは思えない。 ・ いつまでも人に頼らないで、自分一人でしっかり働いて生きていってほしい。 ・ 寄附をくれたり助けてくれたりした人たちと対等な人になって、立ち上がってほしい。 	<p>◆ 資料(p. 125 10行目から p. 128 12行目)を教師が範読し、作造の気持ちや言動に気を付けながら聞かせる。</p> <p>◆ 政治学者として働く一方で、困っている人や貧しい人たちを救いたいと願う作造の気持ちを捉えさせる。</p> <p>◆ 「病院で人を助けること」で、作造は何を目指しているのかを捉えさせる。</p> <p>◆ 「薬を捨てる」「施設を渡り歩く」「寄附に感謝を求める」行為に戸惑う作造の思いを考えることで、自分なりの考えを持たせる。</p> <p>◆ 考えをワークシートの吹き出しに書かせ、グループで伝え合わせることで多様な考えに触れ、考えを深める。</p> <p>◆ 単に身体的な面での救済だけではなく人々の内面、心の自立も目指していることに気付かせるようにする。</p> <p>◆ 「自分たちで生活できるように」住居や仕事を斡旋することが、人々の自立・本当の幸せにつながっていると考える作造の思いを捉えさせる。</p> <p>* 自分なりに、作造の悩んでいる姿に共感することができたか。 (ワークシート・発表)</p>

<p>展開後段 10分</p>	<p>3 本時の学習を基に、今までの自分を振り返る。</p> <p>○ 作造のように、自分の生活をよくするために工夫・努力したことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活の中で感じる疑問や、授業で分からなかったところをそのままにしないで、本で調べたり先生や友達に聞いたりして、解決できた。 代表委員会の議題で学級ごとの意見を考えるときに、前年と同じでいいのか、もっといい方法はないか考えた。 将来の夢をかなえるために、宿題だけでなく自主勉強にも進んで取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 今までの自分の生活と作造の行動を比べながら、今よりもっと自分の生活をよくしていこうと工夫・努力していることを話し合わせる。 ◆ 学校生活や地域の中にも目を向けさせる。その際、今後できそうなことでもよいこととする。 <p>* 常により正しいと思うことを追い求める作造の姿勢に共感し、今までの自分を見詰めたり、今後の生活について考えることができたか。</p> <p>(ワークシート・発表)</p>
<p>終末 5分</p>	<p>4 吉野作造の生き方を知り、自分のこれからの生活について考える。</p> <p>○ 作造の生き方から、あなたはどのようなことを学びましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分だけが幸せになればいいと考えたくなるけど、作造はみんなの幸せを願って行動していたところがすごい。 作造のように、何が正しいことなのかを考えて行動できるような人になりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本全体の幸せと、困っている一人一人の本当の幸せの実現のために、真理を探究し続けた作造の行動を、自分の生き方と重ね合わせられるようにする。

(5) 本時の評価

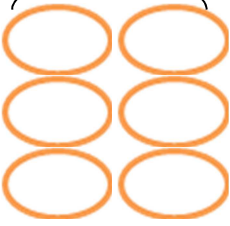
- 吉野作造の生き方から、人の幸せのために常により正しいことを追い求め、生活を改善していこうとする意欲を持つことができる。

(6) 板書計画

自分の生活をよくするための工夫や努力

- もつといい方法はないものか、と考えてみる
- 分からないことをそのままにしない
- 将来の夢をかなえるためにできることを頑張る

考えの吹出し



無料の診療を有料に変えた!

■薬を捨てるなんて考えられない

■感謝を求められても困ってしまう

○貧しい人たちからお金をもらえない

無料で診察してあげよう

このままでいいのだろうか?

吉野作造の顔

吉野作造 写真

「賛育会」(大正7年)ー今から百年前

○病气の人や貧しい人たちのために 自分が力になりたい

「政治家(古川出身)

「民本主義」

「大正デモクラシー」

日本の選挙制度をつくる

本当の幸せを求めて 吉野作造

人の幸せのために、正しいことを追い求めた作造の生き方について考えよう

4 指導上のポイント

- ・ 本資料は、6年社会科で、吉野作造の政治学者としての業績、歴史的背景を学習後の2学期後半に扱うとより理解が深まる。
- ・ 資料は事前に読ませ、難解な語句や時代背景を押さえた上で授業に入るようにする。
- ・ 資料は、作造の政治学者としての業績を伝える前半と、賛育会を立ち上げ困っている人々の救済に尽力する様子を伝える後半に分かれている。後半部分を中心に取り上げ価値に迫りたい。
- ・ 患者たちの思いがけない行動や、寄附をしている人の患者たちへの言動に疑問を感じ、考え悩んだ末に無料の治療を有料に変えた作造の思いに気が付くよう、ペアまたはグループで話し合う時間を確保する。

5 参考資料

ワークシートの例

道徳科 ワークシート 「 吉野作造 」

本当の幸せを求めて 吉野作造

① とても悩んだ末に、無料の治療を有料に変えたのは、作造のどんな思いからなのだろうか。

吉野作造の顔

② 自分の生活をよくしていこうと考えたことはありますか。
(これからやってみたいことでもよい)

【作成委員（50音順・敬称略）】

阿部美智子	加藤 裕樹	佐藤 愛子	渋谷 和彦	千葉 有希
市村 博	菊田 淳	佐藤 朱美	神野 真理	中里 ゆり
内海 泉	木村 美恵	佐藤 千寿	鈴木 操	林 智美
大槻 史	熊谷 浩	佐藤 仁	高橋奈穂美	皆川 浩之
小野寺美和	後藤 祥	佐藤 有華	多田 晃子	森 あすか
加藤 英紀	咲間 弓絵	鳴原 薫	谷口 達也	山口 沙織